

『未来の横浜』を一緒に描いていきましょう！

～「未来の横浜」アンケート～

日ごろから、横浜市の取組にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。これは、平成 30 年度からの4年間の市の中期計画の考え方や骨子をお示したもので、今年の秋ごろの計画策定に向けて、検討を進めてまいります。

この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、「新たな中期計画の基本的方向」の未来のまちの姿やこれから必要となる取組などについて皆さまの考えをおたずねします。

回答は 10 分程度で終わる簡潔なものですので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

横浜市政策局

<記入にあたってのお願い>

- ① このアンケートは市内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為抽出した 1 万人の方にお送りしています。
- ② アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
- ③ このアンケートは、封筒の宛名のご本人様にご回答ください。（ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。）
- ④ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向」概要版や、**横浜市のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向」**も必要に応じてご覧ください。（<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2018-/>）
- ⑤ 回答の統計的結果や自由回答で記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。
- ⑥ 個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理します。
- ⑦ ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、**平成 30 年 2 月 19 日(月)**までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

◆調査主体：横浜市 政策局 政策部 政策課（〒231-0017 横浜市中区港町 1 丁目 1 番地）
電 話 671-2197（平日 8：45～17：15）

◆調査実施：一般社団法人輿論科学協会（〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4 丁目 8 番 6 号）
電 話 0120-279-939 [担当：松岡]（平日 10：00～17：30）
電子メール matsuoka@yoron-kagaku.or.jp

未来の横浜は、どんなまちになったらいいと思いますか？

問1 『新たな中期計画の基本的方向』では、以下の8つの「未来の横浜の姿」をお示ししています。
それぞれのまちのすがたについて「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。(いくつでも)

○はこの欄に記入してください。

1 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち

記入欄

力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現

企業集積の強みやオープンイノベーションの推進、文化芸術、観光・MICE(国際会議、展示会などのビジネスイベント)、スポーツの力により、新たな価値・産業・賑わいを創出します。

2 豊かな自然が身近に感じられるまち

記入欄

花と緑にあふれる環境先進都市

花と緑あふれるガーデンシティ横浜を市民・企業との連携により展開するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)やパリ協定(地球温暖化対策に関する国際的な協定)の視点を踏まえた環境政策で世界をリードし、自然共生と経済発展を実現します。

豊かな暮らしのためには、中小企業を含め、元気な横浜経済でなければいけないね。花やみどりがあふれる風景、身近なところで農体験ができたり、きれいな川や海があるなど、豊かな環境を将来に引き継いでいくことも大切だね。



5 国内外から魅力的と感じられるまち

記入欄

成長と活力を生み出す都心部のまちづくり

横浜の成長をけん引するエリア(都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等)の魅力をより一層向上させ、国内外から人や企業が集い活力を生み出す都心部を実現します。

6 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち

記入欄

誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部のまちづくり

駅周辺の機能強化、自然豊かで良好な住環境、それらをつなぐ地域交通の充実などにより、誰もが愛着を持ち、「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部を実現します。

横浜の顔である美しい港や、緑あふれる住宅地など、地域の特色をいかして、世界中から人や企業が集まるまち、暮らしたいと思われるまちになるといいな。



3 いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち

記入欄

超高齢社会への挑戦

超高齢社会への挑戦として、いつまでも健康で生きがいを実感し、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる地域社会を実現します。

4 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち

記入欄

未来を創る多様な人づくり

子育て・教育環境の充実や、女性・シニア・若者の活躍支援など、横浜の未来を創るあらゆる人への投資を推進し、ポテンシャルを存分に発揮できる都市を実現します。



少子高齢化が進むなかでは、女性・若者・シニアの活躍がまちを元気にするんだね。そのためには、市民一人ひとりが健康でいきいきと暮らせる地域づくりが重要になるね。

7 災害に強い安全で安心なまち

記入欄

災害に強い安全で安心な都市の実現

防災・減災機能を備えた都市づくり、災害に強い人づくり・地域づくりを進め、市民の生命と財産を守る、災害に強い安全で安心な都市を実現します。

8 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち

記入欄

市民生活と経済活動を支える都市基盤の実現

道路・鉄道・港湾などの都市インフラの充実、公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新を進め、将来にわたり市民生活と経済活動を支える都市基盤を実現します。



新しい道路や鉄道を整備すると便利になるけど、これまでに整備した公共施設を保全することも大切なんだ。それと、大きな災害に負けない都市をつくるのとあわせて、みんなが防災・減災に取り組んでいくことが、安心と安全につながるんだ。

『新たな中期計画の基本的方向』の表現を一部変更しています。

1 未来のまちの姿について

問2 前ページの未来のまちの姿について、もう少し詳しくお伺いします。以下のそれぞれの中から、具体的に「そうなってほしい」と思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

数字に○をつけてください。

【企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち】

- 1 市内企業が成長・発展し、戦略的な企業誘致を進めている
- 2 文化芸術により、魅力・賑わいがある
- 3 観光・MICE、スポーツにより観光客が集まり、地域経済が活性化している

【豊かな自然が身近に感じられるまち】

- 4 豊かな自然環境と暮らしが共存している
- 5 経済活動を支える低炭素・循環型の都市になっている
- 6 横浜ならではの環境プロモーションを展開し、国内外に発信している

【いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち】

- 7 地域で互いに支え合っている
- 8 健康で自立した生活を継続している
- 9 必要な時に医療や介護サービスを利用できる

【国内外から魅力的と感じられるまち】

- 10 都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等の魅力が向上している
- 11 人や企業が集まり、活躍できる環境になっている
- 12 人々の交流や回遊性を促す賑わいあるまちになっている

【住環境に優れた潤いのある住みやすいまち】

- 13 駅及び駅周辺の機能が強化されている
- 14 住宅地が活性化し、魅力が向上している
- 15 市民に身近な交通ネットワークの維持・充実が図られている
- 16 戦略的な土地利用誘導・まちづくりを進めている

【子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち】

- 17 子ども・教育、子育て支援に関する施策が充実している
- 18 女性・シニア・若者が活躍できている
- 19 誰もが自分らしく活躍できる社会になっている

【災害に強い安全で安心なまち】

- 20 地震や地震火災等に強い都市になっている
- 21 局地的な大雨等に強い都市になっている
- 22 災害等に強い「人づくり」「地域づくり」が進んでいる

【都市基盤が充実し便利に暮らせるまち】

- 23 市民生活や横浜経済を支える都市基盤施設が充実している
- 24 国際競争力のある港になっている
- 25 公共施設が計画的かつ効果的に保全・更新されている

- 26 その他（具体的に： _____）

2 未来のまちを実現するために必要な取組について

問3 前ページまででお答えいただいた「なっほしい未来のまち」を実現するために、横浜市が取り組んでいくといいと思うものは次のうちのどれですか。以下の「新たな中期計画の基本的方向」の38の政策のうち、取り組むべきだと思うものすべてに○をつけてください。

数字に○をつけてください。

問3-1 【力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現】

- 1 中小企業の経営革新と経営基盤の強化
- 2 経済のグローバル化に対応したイノベーション創出と戦略的な企業誘致
- 3 海外ビジネス支援とグローバル人材の育成・確保
- 4 グローバル都市横浜の実現
- 5 文化芸術創造都市による魅力・活力の創出
- 6 観光・MICEの推進
- 7 スポーツで育む地域と暮らし
- 8 大学と連携した地域社会づくり

問3-2 【花と緑にあふれる環境先進都市】

- 9 花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進
- 10 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造
- 11 持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの実現
- 12 環境にやさしいライフスタイルの実践と定着
- 13 活力ある都市農業の展開

問3-3 【超高齢社会への挑戦】

- 14 参加と協働による地域福祉保健の推進
- 15 健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保
- 16 地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり
- 17 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進
- 18 地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進

問3-4【人が、企業が集い躍動するまちづくり】

- 19 魅力と活力あふれる都心部の機能強化
- 20 市民に身近な交通機能等の充実
- 21 コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり
- 22 多様な居住ニーズに対応した住まいづくり

問3-5【未来を創る多様な人づくり】

- 23 すべての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援
- 24 乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援
- 25 未来を創る子どもを育む教育の推進
- 26 子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり
- 27 女性が働きやすく、活躍できるまち
- 28 シニアが活躍するまち
- 29 子ども・若者を社会全体で育むまち
- 30 児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実
- 31 障害児・者福祉の充実
- 32 暮らしを支えるセーフティネットの確保
- 33 参加と協働による地域自治の支援

問3-6【未来を創る強靱な都市づくり】

- 34 災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策）
- 35 災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進）
- 36 交通ネットワークの充実による都市インフラの強化
- 37 国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり
- 38 公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新

問4 あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿や、その他未来に向けて横浜市が取り組んでいく必要があると思う取組があればご自由にお書きください。

.....
.....
.....
.....

3 あなたご自身についてお伺いします。

最後に、あなたご自身についてお伺いします。調査結果を分析する際に用いますので、ご協力よろしくお願ひします。答えにくい質問は答えなくて結構です。

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1 18～19 歳	4 40～49 歳	7 70 歳以上
2 20～29 歳	5 50～59 歳	
3 30～39 歳	6 60～69 歳	

F 3 あなたは、現在どちらの区にお住まいですか。(○は1つ)

1 鶴見区	7 保土ヶ谷区	13 青葉区
2 神奈川区	8 旭区	14 都筑区
3 西区	9 磯子区	15 戸塚区
4 中区	10 金沢区	16 栄区
5 南区	11 港北区	17 泉区
6 港南区	12 緑区	18 瀬谷区

F 4 今のお住まいにはいつごろから住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

1 1970 年以前 (昭和 45 年以前)	5 2001～2010 年 (平成 13～22 年)
2 1971～1980 年 (昭和 46～55 年)	6 2011～2015 年 (平成 23～27 年)
3 1981～1990 年 (昭和 56～平成 2 年)	7 2016 年以降 (平成 28 年以降)
4 1991～2000 年 (平成 3～12 年)	

F 5 あなたが通勤・通学以外のお出かけや移動でよく使う交通手段は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 徒歩のみ	3 車・バイク	5 その他
2 自転車	4 電車・バス	

F 6 最寄りの鉄道駅からご自宅までの時間は、徒歩にしてどのくらいになりますか。次のうちから選んでください。(○は1つ)

1 5分未満	2 5分～15分未満	3 15分以上
--------	------------	---------

F 7 お住まいの最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれですか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、ふだん利用している路線名でお答えください。(○は1つ)

注：どの路線に含まれるのか判断がつかないようなターミナル駅（例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など）が最寄り駅の場合は、ふだん利用している路線名でお答えください。それでもわからない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。

1 東海道線・横須賀線	9 市営地下鉄線（ブルーライン・グリーンライン）
2 横浜線（東神奈川～長津田）	10 南武線
3 東横線	11 金沢シーサイドライン
4 田園都市線・こどもの国線	12 鶴見線
5 京浜東北線（横浜～鶴見）	13 みなとみらい線
6 根岸線（横浜～大船）	14 その他・駅名 (具体的に)
7 京浜急行線	15 わからない
8 相鉄線（本線・いずみ野線）	

F 8 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

F 8-1 F 8で「2」と答えた方のみお答えください。

あなたのお生まれは次のどちらですか。(○は1つ)

1 横浜市以外の神奈川県	2 神奈川県以外
--------------	----------

F 9 あなたは現住所の前に住んでいたところがありますか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

F 9-1 F 9で「1」と答えた方のみお答えください。

あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 今お住まいの区内の別の場所 | 4 東京都区部 |
| 2 横浜市内の別の区 | 5 東京都区部を除く東京都内 |
| 3 神奈川県内の他市町村 | 6 その他 |

F 9-2 F 9で「1」と答えた方のみお答えください。

あなたが、今のお住まいに引っ越した主な理由は何ですか。

(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 進学・独立など自分の転機のため | 4 自宅の購入や住み替えのため |
| 2 結婚・出産・介護など家族のため | 5 特別な理由はない |
| 3 就職・転職・転勤など仕事のため | 6 その他 |

F10 あなたは、今住んでいるまちにこれからも住み続けたいと思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 住み続けたい | 4 どちらかといえば転居したい |
| 2 どちらかといえば住み続けたい | 5 転居したい |
| 3 わからない | |

F10-1 F10で「4」または「5」と答えた方のみお答えください。

もし、今のお住まいから転居するとしたら、横浜市内ですか。

(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 横浜市内 | 2 横浜市外 | 3 わからない |
|--------|--------|---------|

F10-1-1 F10-1で「1」と答えた方のみお答えください。

もし、今のお住まいから転居するとしたら、現在のお住まいの近くを希望しますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|---------|
| 1 希望する | 2 こだわらない | 3 わからない |
|--------|----------|---------|

F10-2-1 F10-1で「2 横浜市外」と答えた方のみお答えください。

転居したい主な理由は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 進学・独立など自分の転機のため | 4 自宅の購入や住み替えのため |
| 2 結婚・出産・介護など家族のため | 5 特別な理由はない |
| 3 就職・転職・転勤など仕事のため | 6 その他 |

F10-2-2 **F10-1で「2 横浜市外」と答えた方のみお答えください。**

もし、横浜市外に転居する場合、どこに転居したいですか。
(○は1つ)

1 川崎市	4 東京都区部を除く東京都内
2 川崎市を除く県内の他市町村	5 そのほかの道府県
3 東京都区部	6 わからない

F11 あなたは現在、結婚していますか。(○は1つ)

1 している	2 していない
--------	---------

F11-1 **F11で「1」と答えた方のみお答えください。**

あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

1 している	2 していない
--------	---------

F12 あなたに18歳以下のお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの年齢にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、お答えください。(○はいくつでも)

1 子どもはいない	4 13～15歳 (中学生)
2 0～5歳 (小学校入学前)	5 16～18歳
3 6～12歳 (小学生)	

F13 あなたの家族形態は、次の中のどれにあたりますか。同居している方のみで当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

1 ひとり暮らし	4 3世代
2 夫婦のみ	5 その他
3 親と子 (2世代)	

F14 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

1 一戸建て (持家)	3 マンション・共同住宅 (持家)	5 その他
2 一戸建て (借家)	4 マンション・共同住宅 (借家)	

F14-1 **F14で「1 一戸建て (持家)」と答えた方のみお答えください。**

2030年頃までにお住まいを建て替える予定はありますか。

(○は1つ)

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

F15 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものを1つお答えください。(○は1つ)

1 自営業	(農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)
2 管理職	(会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)
3 専門技術職	(勤務医師、研究所研究員、技師など)
4 事務職	(事務職、営業職、教員など)
5 現業職	(生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)
6 学生	→ F16におすすみください。 勤務地・通学先などの質問があります。
7 専業主婦・主夫	→ アンケートは以上です。 ご協力ありがとうございました。
8 その他	

F16からF18は、F15で「1 自営業」「2 管理職」「3 専門技術職」「4 事務職」「5 現業職」「6 学生」と答えた方にお聞きします。それ以外の方は、回答は不要です。

F16 あなたの勤務地・通学先は横浜市内にありますか。複数ある場合は、主な勤務地・通学先でお答えください。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

F16-1 F16で「2」と答えた方にお聞きします。

あなたの勤務地・通学先はどこにありますか。複数ある場合は、主な勤務地・通学先でお答えください。(○は1つ)

1 神奈川県内の他市町村	3 東京都区部を除く東京都	5 埼玉県
2 東京都区部	4 千葉県	6 その他

F17 あなたの普段の通勤・通学時間(片道)はどのくらいですか。(○は1つ)

1 30分未満	2 30分～1時間30分未満	3 1時間30分以上
---------	----------------	------------

F18 あなたの普段の主な通勤・通学手段は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 徒歩のみ	3 車・バイク	5 その他
2 自転車	4 電車・バス	

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

『未来の横浜』を一緒に描いていきましょう！

～「未来の横浜」アンケート～

宛名のご本人様にご回答いただきますよう、お願いします。

保護者の方へ

日ごろから、横浜市のご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。これは、平成 30 年度からの4年間の市の中期計画の方向性をお示したものです。

この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の 3,000 名の方を無作為抽出して「新たな中期計画の基本的方向」の未来の横浜の姿についてアンケートを実施します。(18 歳以上の方から無作為抽出した 1 万人の方にも未来の横浜の姿に関するアンケートを実施しています。)

宛名の方に、ご回答いただきますよう、ご協力をお願いします。

ご本人様へ

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。ここで描いている未来の横浜の姿について、近い将来、社会で活躍する皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の 3,000 名の方にアンケートを実施します。

回答は 10 分程度で終わる簡潔なものですので、お忙しい中恐れ入りますが、ご協力をお願いします。

横浜市政策局

◆調査主体：横浜市 政策局 政策部 政策課（〒231-0017 横浜市中区港町 1 丁目 1 番地）

電話 671-2197（平日 8：45～17：15）

◆調査実施：一般社団法人輿論科学協会（〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4 丁目 8 番 6 号）

電話 0120-279-939 [担当：松岡]（平日 10：00～17：30）

電子メール matsuoka@yoron-kagaku.or.jp

◎ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、平成 30 年 2 月 19 日(月)までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

＜記入にあたってのお願い＞

- ① アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
- ② このアンケートは、封筒の宛名のご本人様にご回答ください。（ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。）
- ③ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向」概要版や、**横浜市のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向」**も必要に応じてご覧ください。（<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2018-/>）
- ④ 回答の統計的結果や自由回答で記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。
- ⑤ 個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理します。

1 あなたご自身についておたずねします。

あなたご自身についておたずねします。統計上、必要なものですので、ご協力をお願いします。

F 1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1 12歳 | 5 16歳 |
| 2 13歳 | 6 17歳 |
| 3 14歳 | 7 18歳 |
| 4 15歳 | |

→F 2-1 F 2で「4 15歳」とお答えの方にのみおたずねします。
あなたは、中学生ですか。（○は1つ）

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F 3 あなたは、どちらの区にお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 鶴見区 | 10 金沢区 |
| 2 神奈川区 | 11 港北区 |
| 3 西区 | 12 緑区 |
| 4 中区 | 13 青葉区 |
| 5 南区 | 14 都筑区 |
| 6 港南区 | 15 戸塚区 |
| 7 保土ヶ谷区 | 16 栄区 |
| 8 旭区 | 17 泉区 |
| 9 磯子区 | 18 瀬谷区 |

F 4 ご自宅の最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれですか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、ふだん利用している路線名でお答えください。(○は1つ)

注：どの路線に含まれるのか判断がつかないようなターミナル駅（例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など）が最寄り駅の場合は、ふだん利用している路線名でお答えください。それでもわからない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。

- | |
|--------------------------|
| 1 東海道線・横須賀線 |
| 2 横浜線（東神奈川～長津田） |
| 3 東横線 |
| 4 田園都市線・こどもの国線 |
| 5 京浜東北線（横浜～鶴見） |
| 6 根岸線（横浜～大船） |
| 7 京浜急行線 |
| 8 相鉄線（本線・いずみ野線） |
| 9 市営地下鉄線（ブルーライン・グリーンライン） |
| 10 南武線 |
| 11 金沢シーサイドライン |
| 12 鶴見線 |
| 13 みなとみらい線 |
| 14 その他・駅名（具体的に) |
| 15 わからない |

アンケートは、次のページに続きます。

未来の横浜は、どんなまちになったらいいと思いますか？

問1 『新たな中期計画の基本的方向』では、以下の8つの「未来の横浜の姿」をお示ししています。
それぞれのまちのすがたについて「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。(いくつでも)

○はこの欄に記入してください。

1 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち

記入欄

力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現

企業集積の強みやオープンイノベーションの推進、文化芸術、観光・MICE(国際会議、展示会などのビジネスイベント)、スポーツの力により、新たな価値・産業・賑わいを創出します。

2 豊かな自然が身近に感じられるまち

記入欄

花と緑にあふれる環境先進都市

花と緑あふれるガーデンシティ横浜を市民・企業との連携により展開するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)やパリ協定(地球温暖化対策に関する国際的な協定)の視点を踏まえた環境政策で世界をリードし、自然共生と経済発展を実現します。

豊かな暮らしのためには、中小企業を含め、元気な横浜経済でなければいけないね。
花やみどりがあふれる風景、身近なところで農体験ができたり、きれいな川や海があるなど、豊かな環境を将来に引き継いでいくことも大切だね。



5 国内外から魅力的と感じられるまち

記入欄

成長と活力を生み出す都心部のまちづくり

横浜の成長をけん引するエリア(都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等)の魅力をより一層向上させ、国内外から人や企業が集い活力を生み出す都心部を実現します。

6 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち

記入欄

誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部のまちづくり

駅周辺の機能強化、自然豊かで良好な住環境、それらをつなぐ地域交通の充実などにより、誰もが愛着を持ち、「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部を実現します。

横浜の顔である美しい港や、緑あふれる住宅地など、地域の特色をいかして、世界中から人や企業が集まるまち、暮らしたいと思われるまちになるといいな。



3 いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち

記入欄

超高齢社会への挑戦

超高齢社会への挑戦として、いつまでも健康で生きがいを実感し、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる地域社会を実現します。

4 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち

記入欄

未来を創る多様な人づくり

子育て・教育環境の充実や、女性・シニア・若者の活躍支援など、横浜の未来を創るあらゆる人への投資を推進し、ポテンシャルを存分に発揮できる都市を実現します。



少子高齢化が進むなかでは、女性・若者・シニアの活躍がまちを元気にするんだね。そのためには、市民一人ひとりが健康でいきいきと暮らせる地域づくりが重要になるね。

7 災害に強い安全で安心なまち

記入欄

災害に強い安全で安心な都市の実現

防災・減災機能を備えた都市づくり、災害に強い人づくり・地域づくりを進め、市民の生命と財産を守る、災害に強い安全で安心な都市を実現します。

8 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち

記入欄

市民生活と経済活動を支える都市基盤の実現

道路・鉄道・港湾などの都市インフラの充実、公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新を進め、将来にわたり市民生活と経済活動を支える都市基盤を実現します。



新しい道路や鉄道を整備すると便利になるけど、これまでに整備した公共施設を保全することも大切なんだ。それと、大きな災害に負けない都市をつくるのとあわせて、みんなが防災・減災に取り組んでいくことが、安心と安全につながるんだ。

『新たな中期計画の基本的方向』の表現を一部変更しています。

問2 あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿について、ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

平成 29 年度

横浜市政策基礎アンケート調査

報告書

横浜市政策局

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査仕様	3
3. 報告書の見方	3
4. 回収結果	4
II. 一般調査の結果	7
1. 未来の横浜の姿	9
2. 具体的に「そうなってほしい」と思うもの	30
3. 市が取り組むべきだと思うもの	48
III. 青少年調査の結果	69
1. 未来の横浜の姿	71
IV. 調査票・単純集計結果	81

I 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査目的

横浜市の目指すべき方向性について検討するため、横浜市民の抱える課題やニーズ等を把握し、今後の市政運営や政策立案の基礎資料として活用する。

2. 調査仕様

- | | |
|--------------|---|
| (1) 調査地域 | 横浜市全域 |
| (2) 調査対象 | ①一般調査：横浜市内に居住する満18歳以上の男女個人
②青少年調査：横浜市内に居住する中学生・高校生の年齢の男女個人 |
| (3) 標本数 | ①一般調査：10,000標本（うち、外国籍市民200標本）
②青少年調査：3,000標本（うち、外国籍市民60標本） |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |
| (6) 調査時期 | 平成30年2月8日～2月28日
※なお、集計は3月13日到着分までを集計対象とした |
| (7) 実査、集計、分析 | 一般社団法人輿論科学協会 |

3. 報告書の見方

- (1) nは質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 質問には、全員が1つの回答を選ぶもののほか、前問で特定の回答とした一部の回答者のみに対して続けて行う質問と1回答者が2つ以上の回答をすることができる質問がある。2つ以上を回答する質問では、回答者の合計を回答者数（n）で割った比率であり、通常その値は、100%を超える。
- (3) 結果数値は、表章単位未満（小数第二位）を四捨五入してあるので、内訳の合計が計（100.0%）に一致しないこともある。
- (4) 青少年調査における高校生の年代は「高校生」と表記している。

4. 回収結果

①全 体

アンケートの概要	送付数			
		全体	一般調査 (18歳以上)	青少年調査 (中高生世代)
調査期間：		13,000人	10,000人	3,000人
平成30年2月8日～	回答数	4,697人	3,620人	1,077人
2月28日	回答率	36.4%	36.6%	36.0%

②一 般 調 査：有効回収標本数 3,620 標本（回収率 36.6%）・宛所不明等による郵便不着数 98 件を除いた母数での回収率

居住区別	実数	割合 (%)
全 体	3,620	100.0
鶴見区	229	6.3
神奈川区	216	6.0
西区	84	2.3
中区	120	3.3
南区	178	4.9
港南区	216	6.0
保土ヶ谷区	200	5.5
旭区	245	6.8
磯子区	161	4.4
金沢区	196	5.4
港北区	347	9.6
緑区	175	4.8
青葉区	307	8.5
都筑区	217	6.0
戸塚区	299	8.3
栄区	128	3.5
泉区	161	4.4
瀬谷区	110	3.0
(無回答)	31	0.9

男女別	実数	割合 (%)
全 体	3,620	100.0
男 性	1,542	42.6
女 性	2,027	56.0
(無回答)	51	1.4

性・年齢別	実数	割合 (%)
全 体	3,620	100.0
男性 18～29 歳	110	3.0
30～39 歳	178	4.9
40～49 歳	272	7.5
50～59 歳	277	7.7
60～69 歳	296	8.2
70 歳以上	409	11.3
女性 18～29 歳	163	4.5
30～39 歳	276	7.6
40～49 歳	392	10.8
50～59 歳	386	10.7
60～69 歳	345	9.5
70 歳以上	457	12.6
(無回答)	59	1.6

*うち、外国籍市民の有効回収標本数

男女別	実数	割合 (%)
全 体	24	100.0
男 性	14	58.3
女 性	10	41.7
(無回答)	0	0.0

③青少年調査：有効回収標本数 1,077 標本（回収率 36.0%）・宛所不明等による郵便不着数 9 件を除いた母数での回収率

居住区別	実数	割合 (%)
全 体	1,077	100.0
鶴見区	69	6.4
神奈川区	58	5.4
西区	28	2.6
中区	39	3.6
南区	40	3.7
港南区	59	5.5
保土ヶ谷区	56	5.2
旭区	60	5.6
磯子区	36	3.3
金沢区	70	6.5
港北区	89	8.3
緑区	61	5.7
青葉区	132	12.3
都筑区	77	7.1
戸塚区	79	7.3
栄区	36	3.3
泉区	47	4.4
瀬谷区	32	3.0
(無回答)	9	0.8

男女別	実数	割合 (%)
全 体	1,077	100.0
男 性	539	50.0
女 性	527	48.9
(無回答)	11	1.0

学生区分別	実数	割合 (%)
全 体	1,077	100.0
中学生	550	51.1
高校生	518	48.1
(無回答)	9	0.8

*うち、外国籍市民の有効回収標本数

男女別	実数	割合 (%)
全 体	16	100.0
男 性	7	43.8
女 性	9	56.3
(無回答)	0	0.0

④アンケートにおける自由回答の記入状況

	一般調査 (18歳以上)	青少年調査 (中高生世代)	合計
全アンケート回答者数 (A)	3,620	1,077	4,697
自由回答の記入数 (B)	1,331	809	2,140
自由回答の記入率 (B) / (A)	36.8%	75.1%	45.6%

II 一般調査の結果

Ⅱ. 一般調査の結果

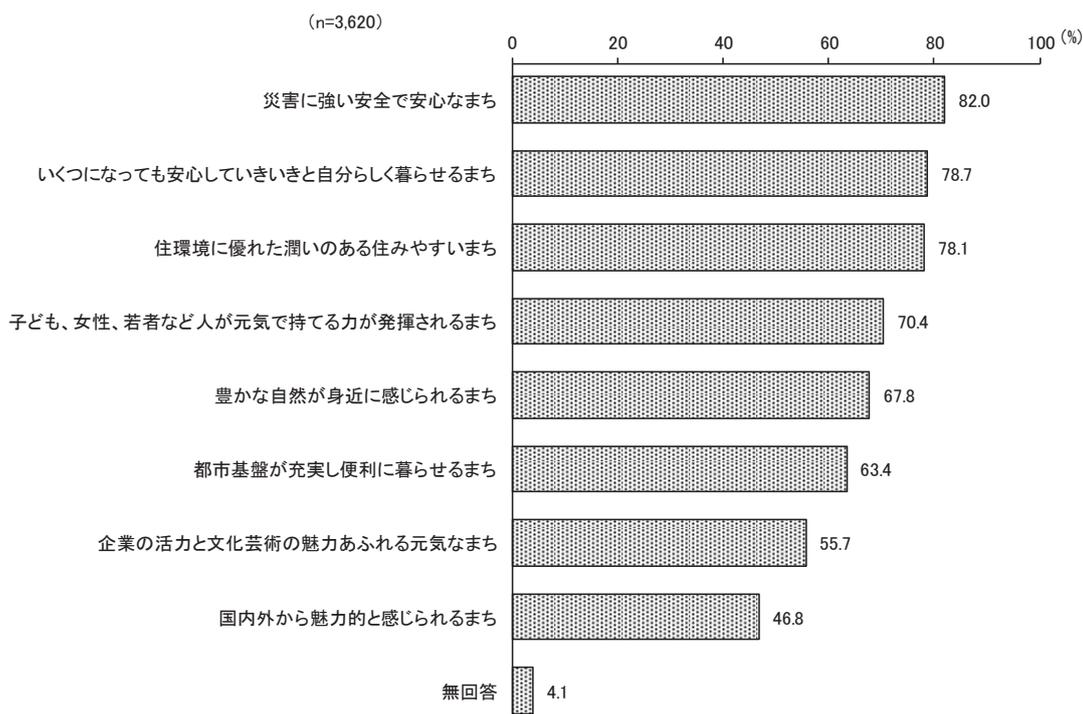
1. 未来の横浜の姿

問1 『新たな中期計画の基本的方向』では、以下の8つの「未来の横浜の姿」をお示ししています。それぞれのまちのすがたについて「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。（いくつでも）

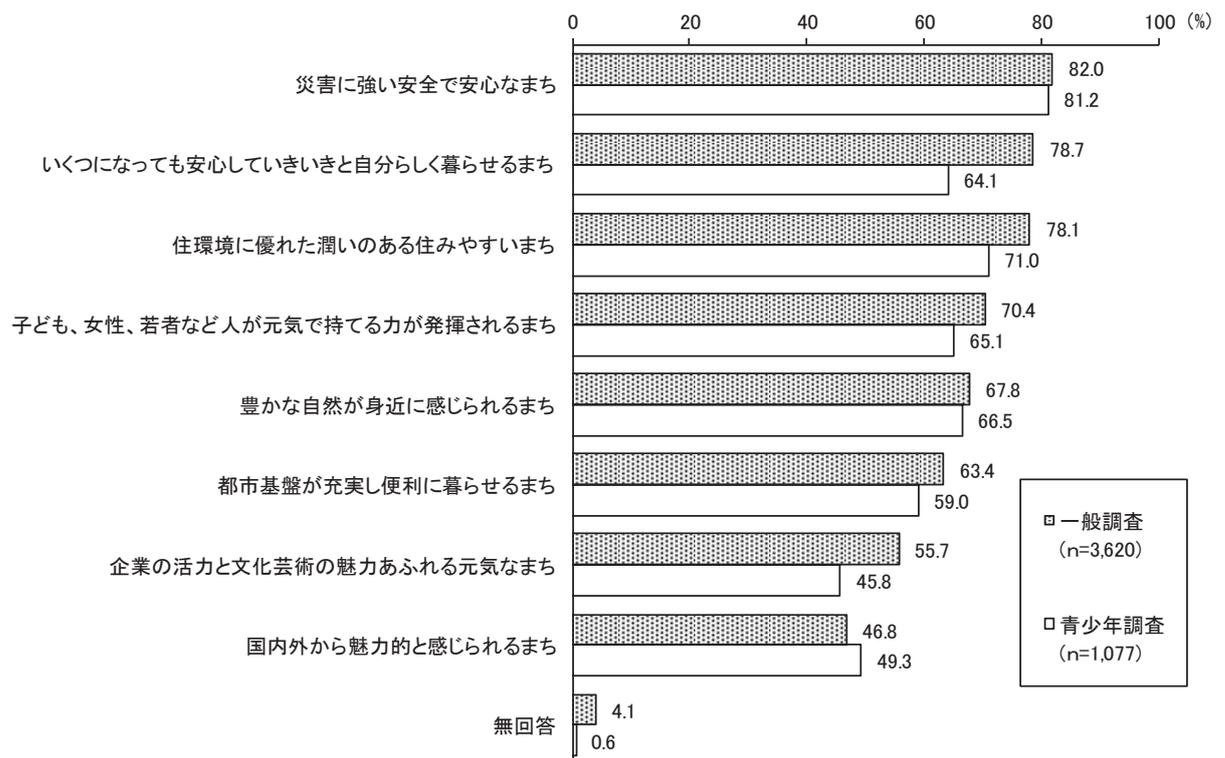
「災害に強い安全で安心なまち」が1位

「そうなってほしい」と思う未来の横浜の姿について聞いたところ、「災害に強い安全で安心なまち」（82.0%）が8割を超え最も高く、次いで「いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち」（78.7%）、「住環境に優れた潤いのある住みやすいまち」（78.1%）が8割弱となっている。4位以降は、「子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち」（70.4%）が7割台、「豊かな自然が身近に感じられるまち」（67.8%）、「都市基盤が充実し便利に暮らせるまち」（63.4%）が6割台で続き、以下、「企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち」（55.7%）、「国内外から魅力的と感じられるまち」（46.8%）となっている。

図1-1 未来の横浜の姿 [全体] (複数回答)



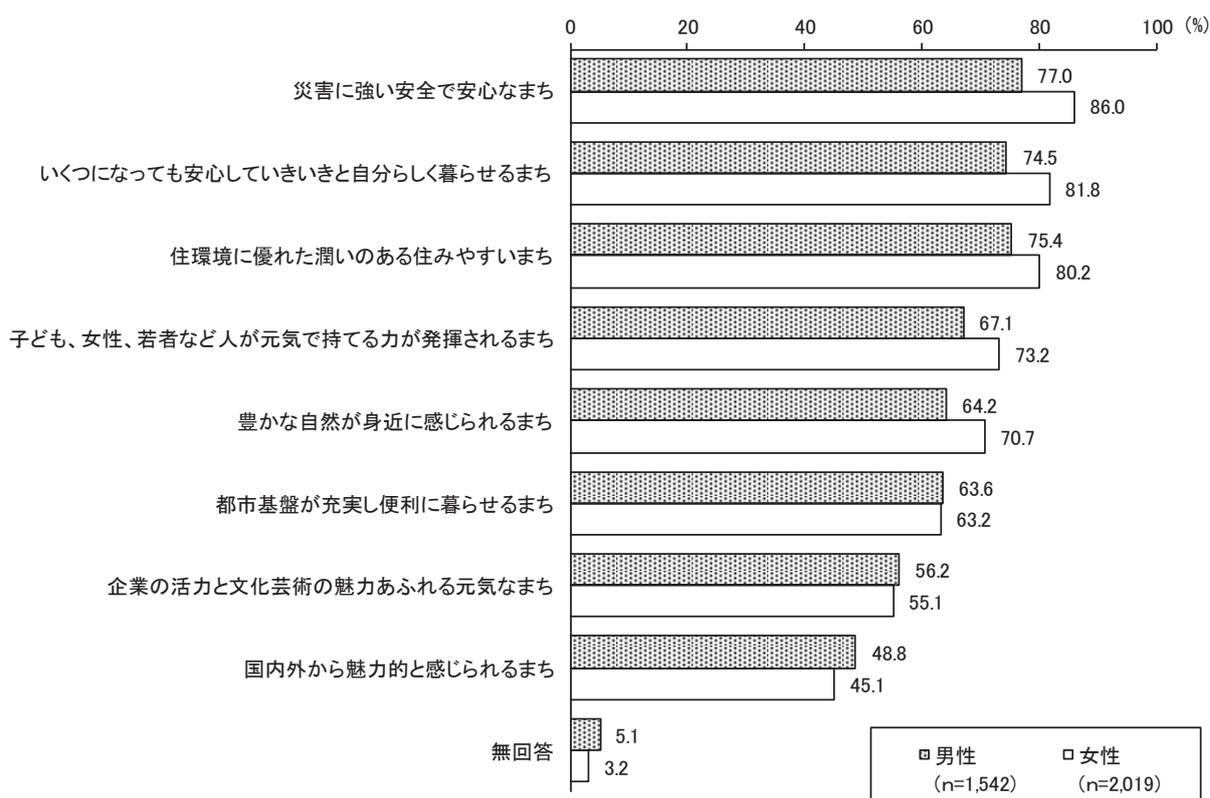
(参考) 青少年調査の結果との比較



「災害に強い安全で安心なまち」「いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち」
「住環境に優れた潤いのある住みやすいまち」などは女性の方が高い

男女別にみると、「災害に強い安全で安心なまち」、「いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち」、「住環境に優れた潤いのある住みやすいまち」、「子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち」、「豊かな自然が身近に感じられるまち」は、女性の方が高くなっている。一方、「企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち」、「国内外から魅力的と感じられるまち」は、男性の方が高くなっている。

図1-2 未来の横浜の姿 [男女別] (複数回答)

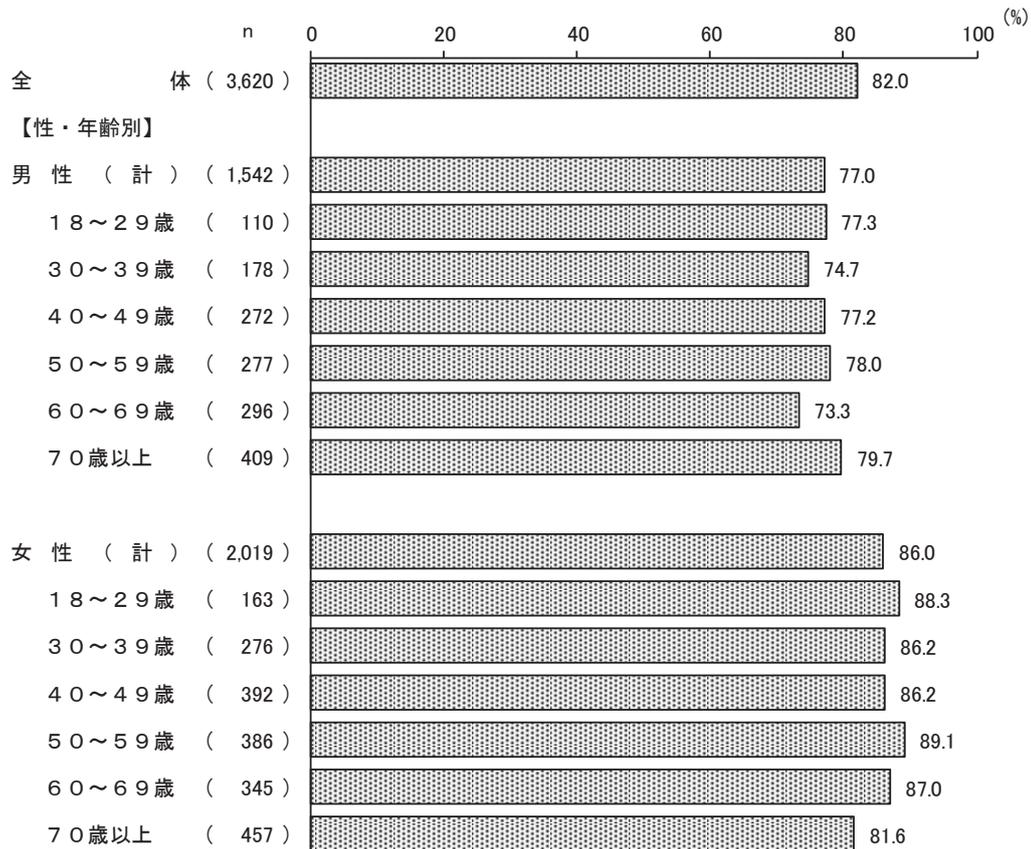


(1-1) 災害に強い安全で安心なまち [性・年齢別]

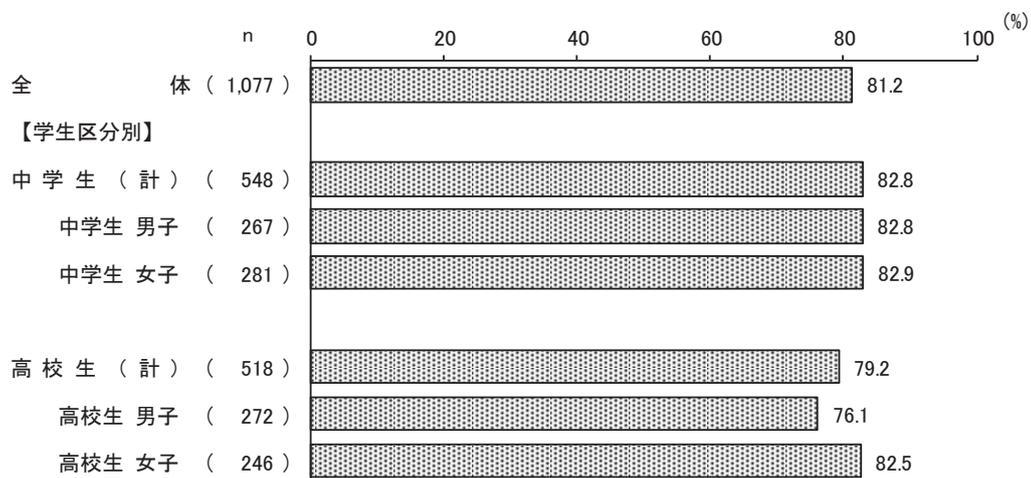
女性は各年代で8割を超える

「災害に強い安全で安心なまち」について、性・年齢別にみると、女性は各年代で8割を超え、女性50歳代(89.1%)が男女全年代を通じて最も高くなっている。男性は、各年代で7割台となっている。

図1-3 災害に強い安全で安心なまち [性・年齢別] (複数回答)



(参考) 青少年調査の結果

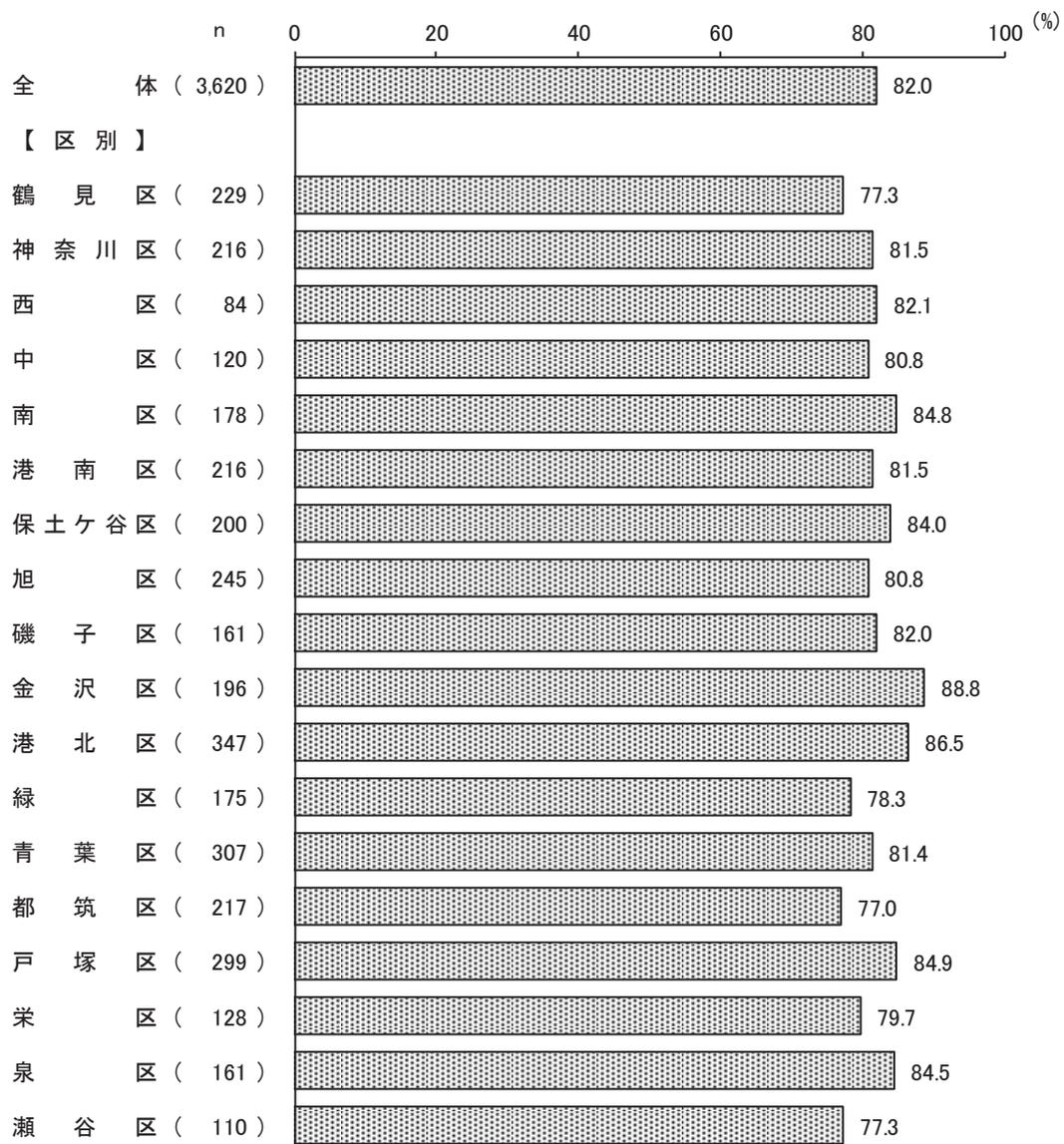


(1-2) 災害に強い安全で安心なまち [区別]

金沢区が最も高い

「災害に強い安全で安心なまち」について、区別にみると、金沢区（88.8%）が9割近くで最も高く、次いで港北区（86.5%）、戸塚区（84.9%）、南区（84.8%）、泉区（84.5%）、保土ヶ谷区（84.0%）となっている。

図1-4 災害に強い安全で安心なまち [区別] (複数回答)

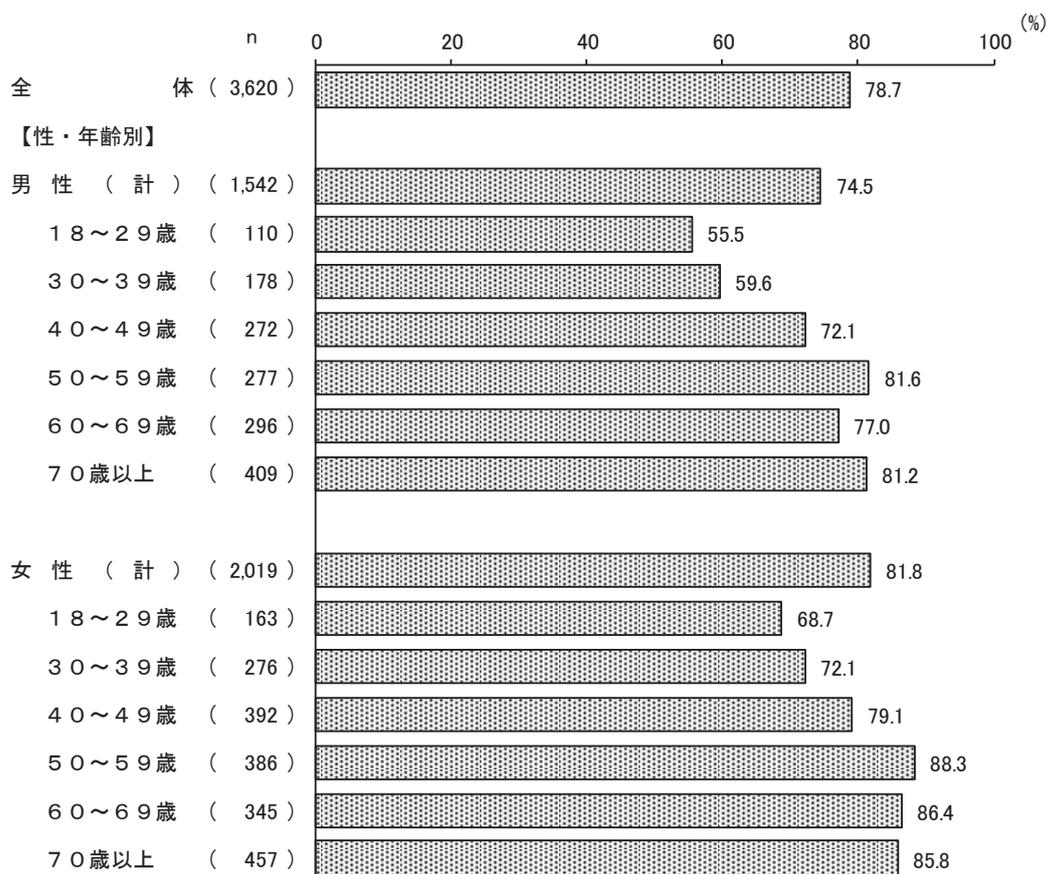


(2-1) いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち [性・年齢別]

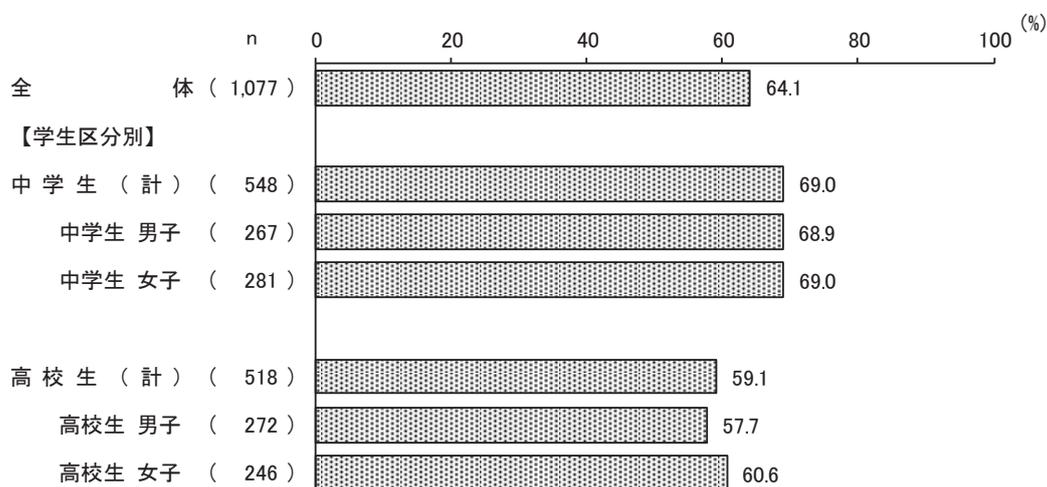
女性 50 歳代で 9 割近く

「いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち」について、性・年齢別にみると、女性 50 歳代 (88.3%) が 9 割近くで男女全年代を通じて最も高くなっている。男性は、18～29 歳 (55.5%)、30 歳代 (59.6%) で 5 割台と低くなっている。

図 1-5 いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち [性・年齢別] (複数回答)



(参考) 青少年調査の結果

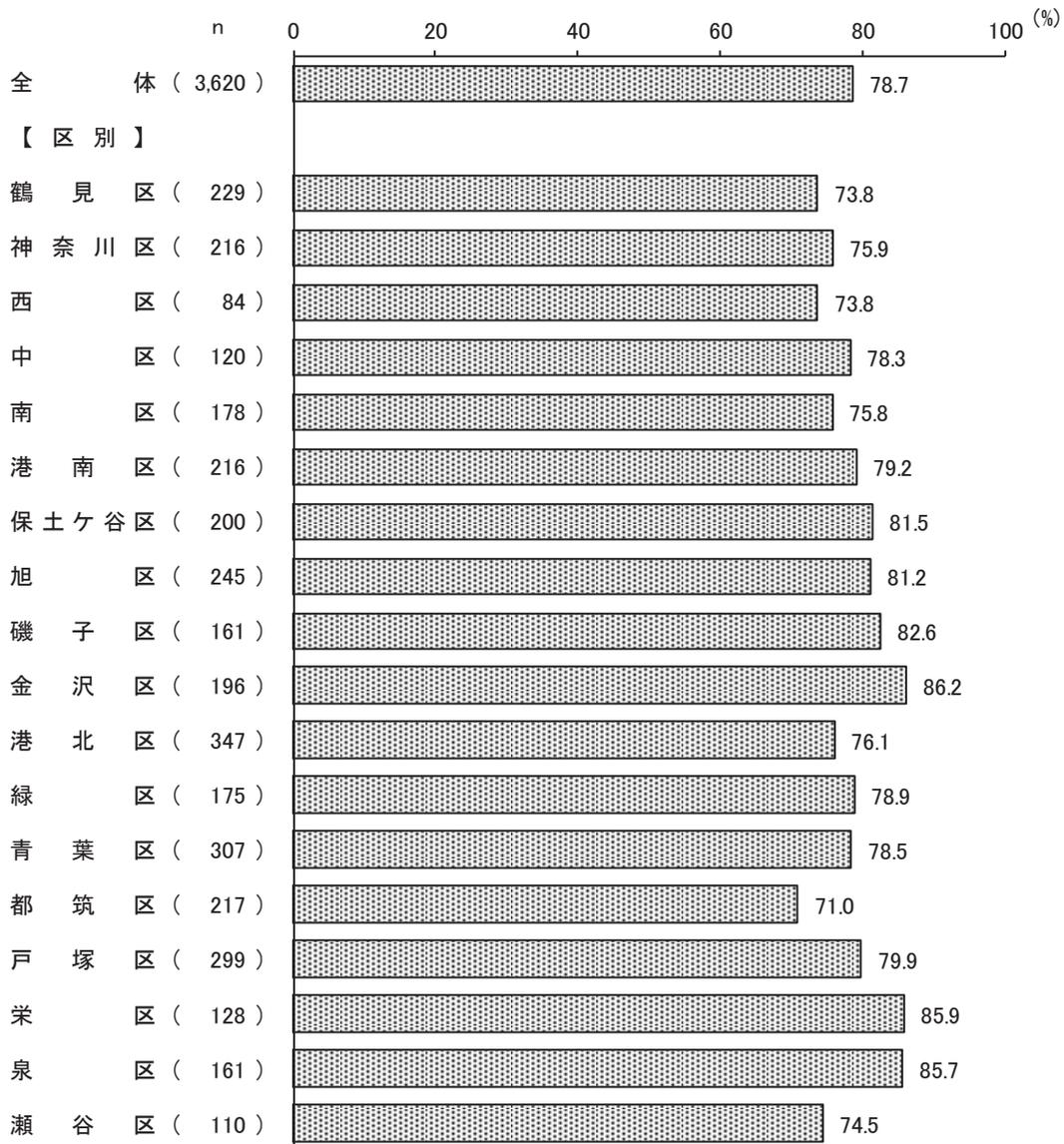


(2-2) いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち [区別]

金沢区、栄区、泉区、磯子区、保土ヶ谷区、旭区で8割を超える

「いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち」について、区別にみると、金沢区(86.2%)が最も高く、次いで栄区(85.9%)、泉区(85.7%)、磯子区(82.6%)、保土ヶ谷区(81.5%)、旭区(81.2%)となっている。

図1-6 いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち [区別] (複数回答)

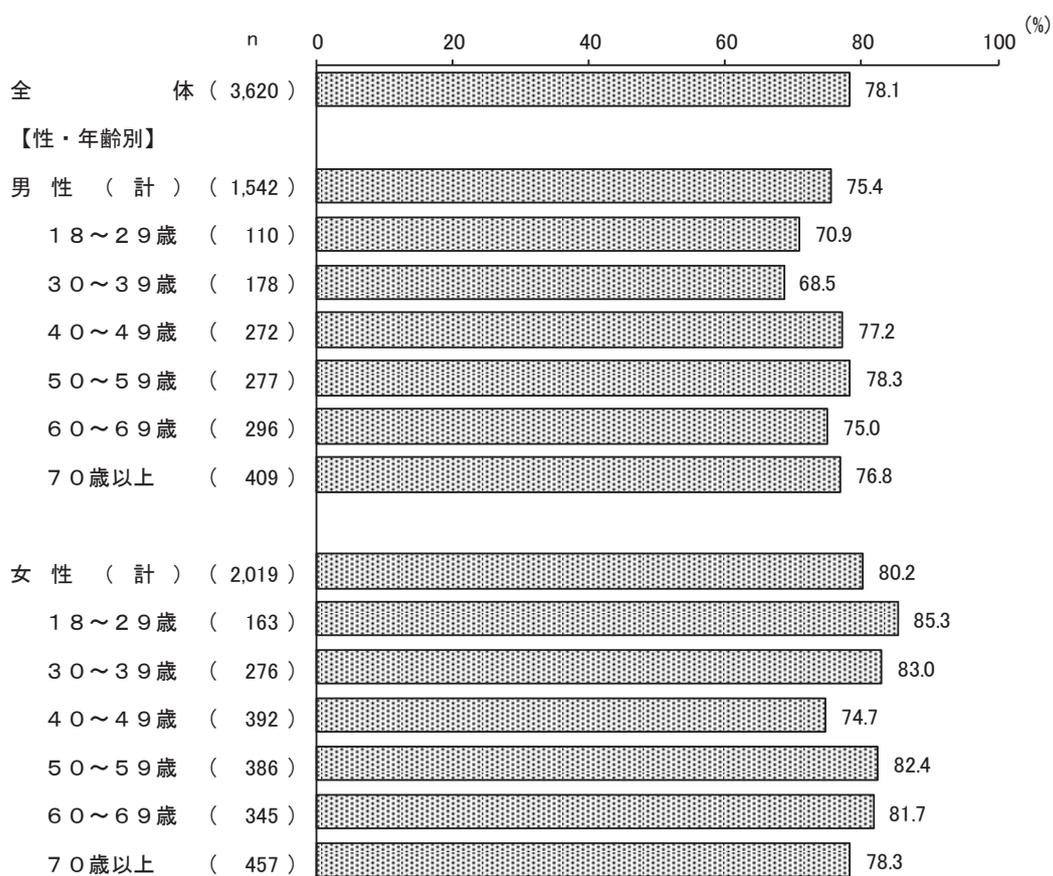


(3-1) 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち [性・年齢別]

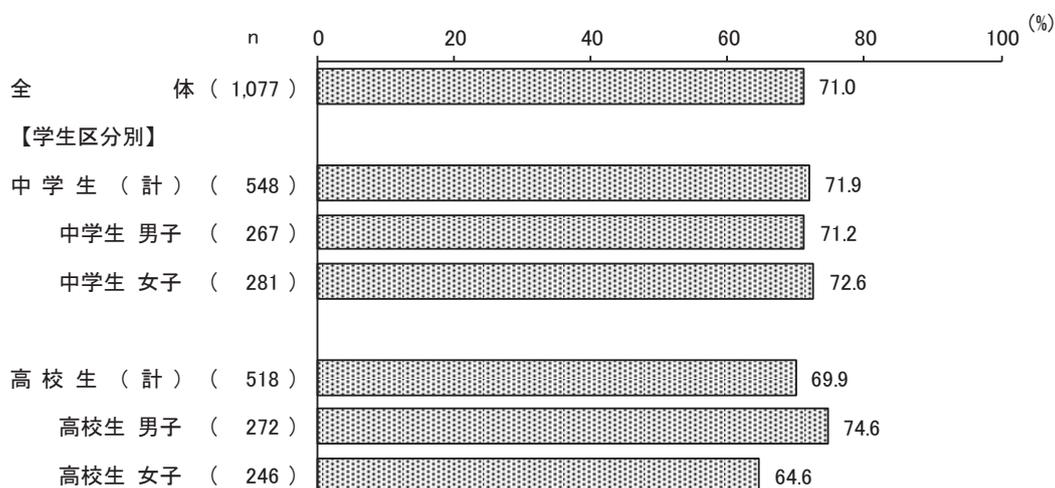
女性 18～29 歳が 8 割半ばで最も高い

「住環境に優れた潤いのある住みやすいまち」について、性・年齢別にみると、女性 18～29 歳 (85.3%) が 8 割半ばで男女全年代を通じて最も高くなっている。男性では、30 歳代 (68.5%) が他の年代に比べやや低くなっている。

図 1-7 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち [性・年齢別] (複数回答)



(参考) 青少年調査の結果

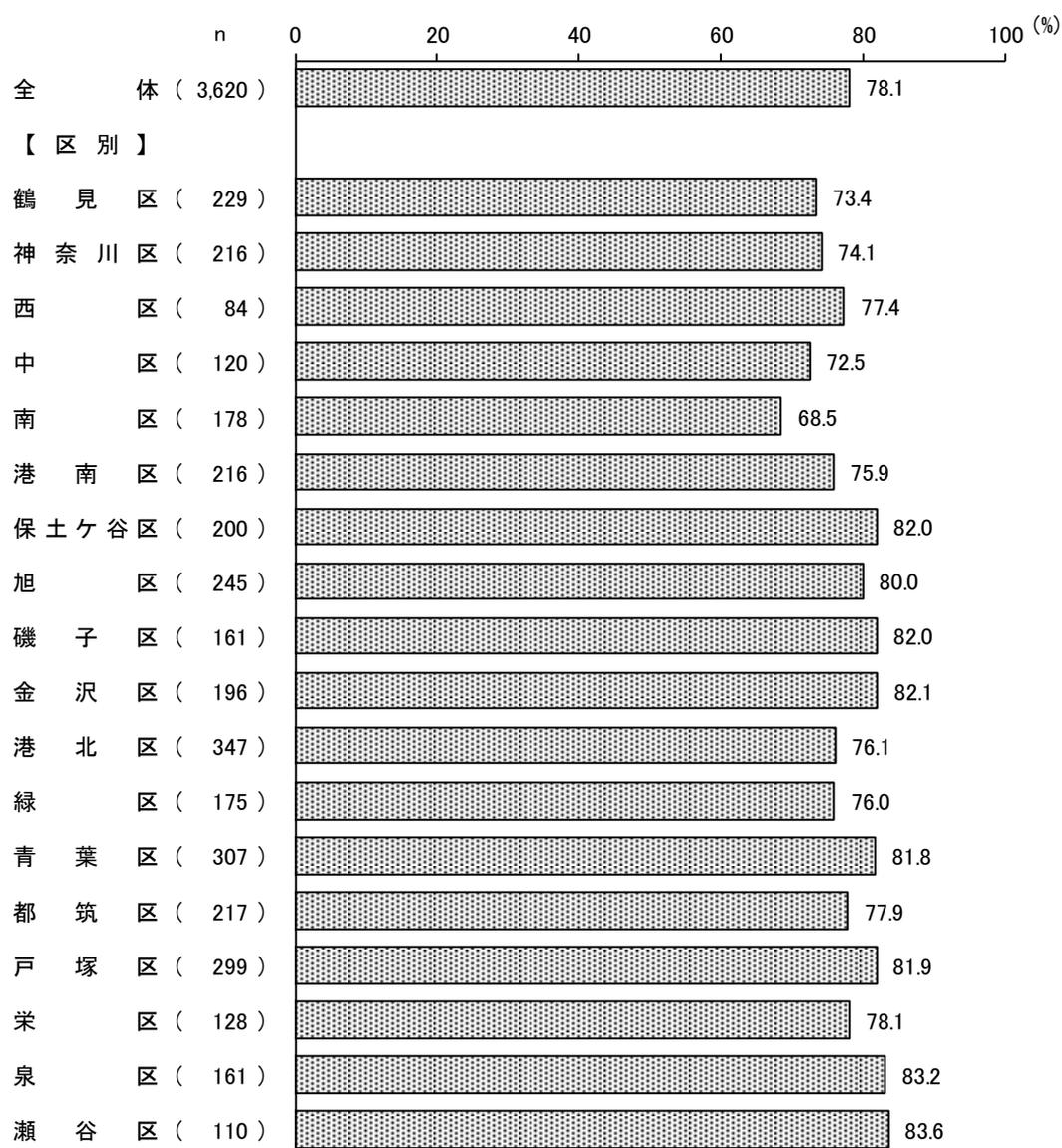


(3-2) 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち [区別]

瀬谷区が最も高い

「住環境に優れた潤いのある住みやすいまち」について、区別にみると、瀬谷区(83.6%)が最も高く、次いで泉区(83.2%)、金沢区(82.1%)、保土ヶ谷区・磯子区(ともに82.0%)となっている。

図1-8 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち [区別] (複数回答)

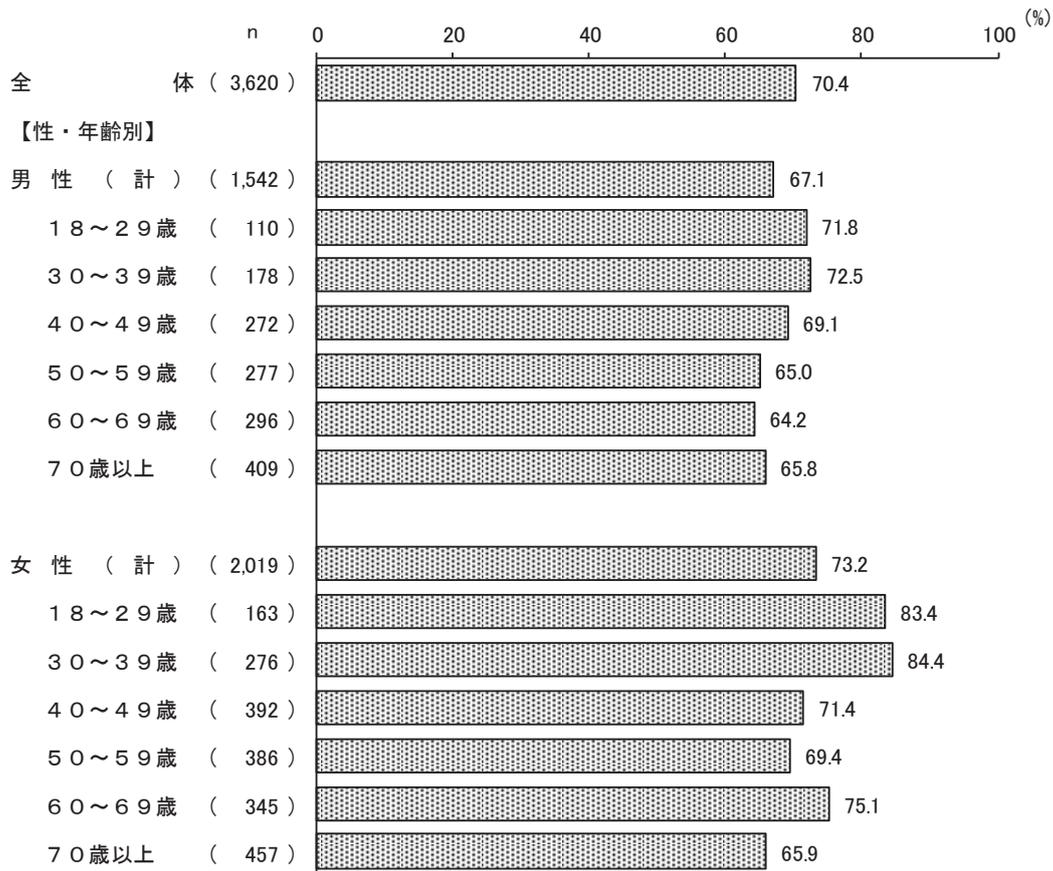


(4-1) 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち [性・年齢別]

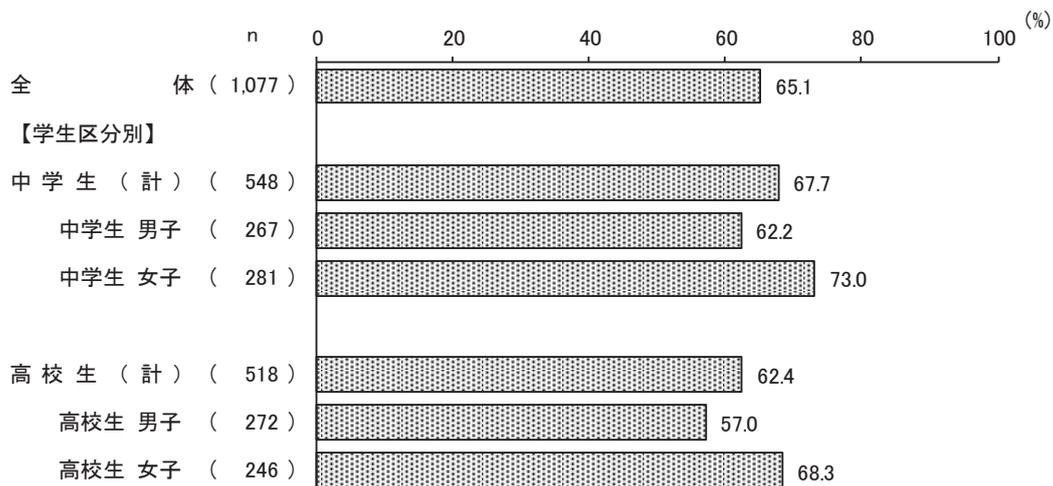
女性 30 歳代、18～29 歳が 8 割を超える

「子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち」について、性・年齢別にみると、女性 30 歳代 (84.4%)、18～29 歳 (83.4%) が 8 割を超えて高くなっている。各年代とも、女性が男性より高い割合を示している。

図 1-9 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち [性・年齢別] (複数回答)



(参考) 青少年調査の結果

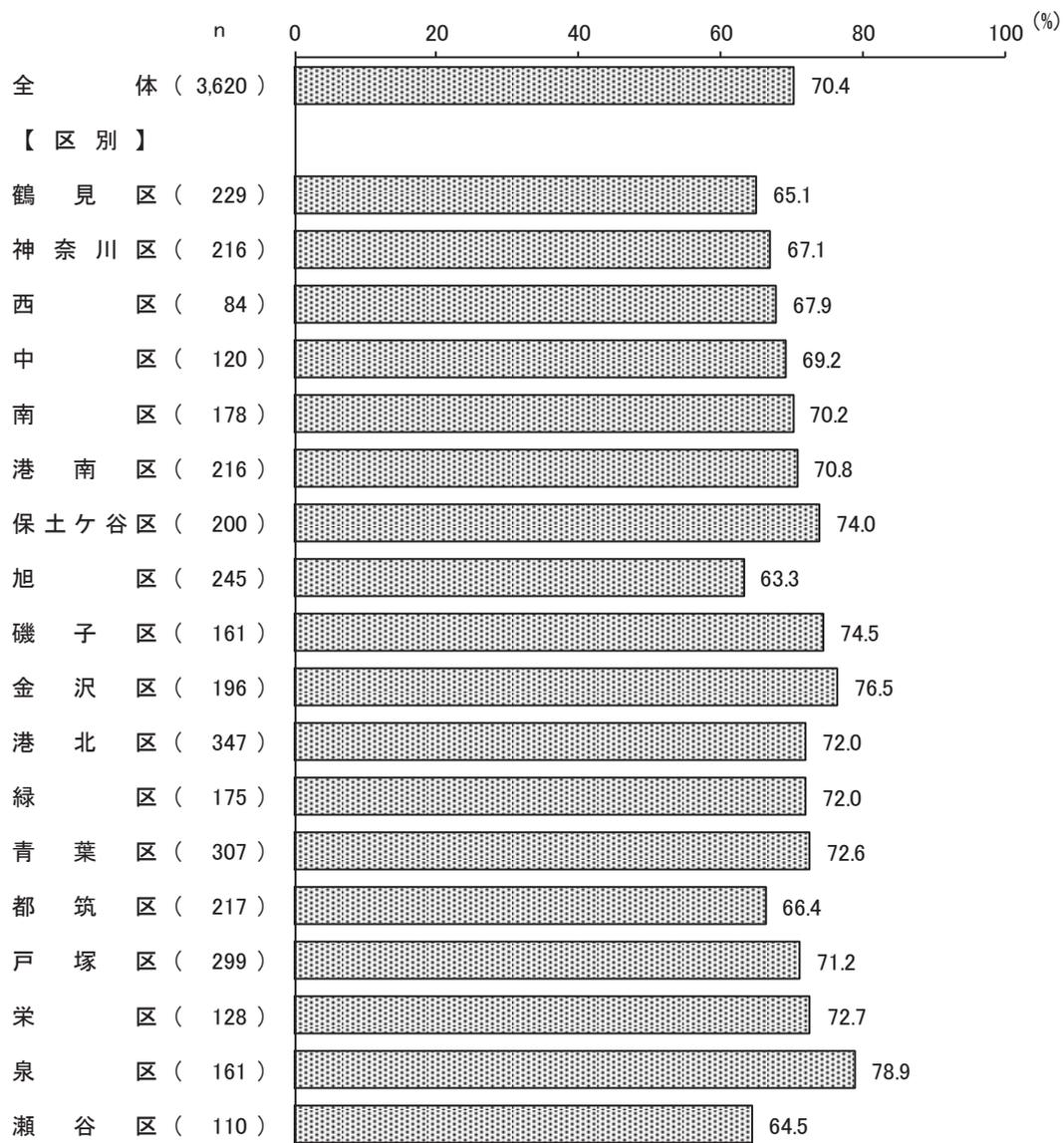


(4-2) 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち [区別]

泉区が8割近くで最も高い

「子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち」について、区別にみると、泉区(78.9%)が最も高く、次いで金沢区(76.5%)、磯子区(74.5%)、保土ヶ谷区(74.0%)となっている。

図1-10 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち [区別] (複数回答)

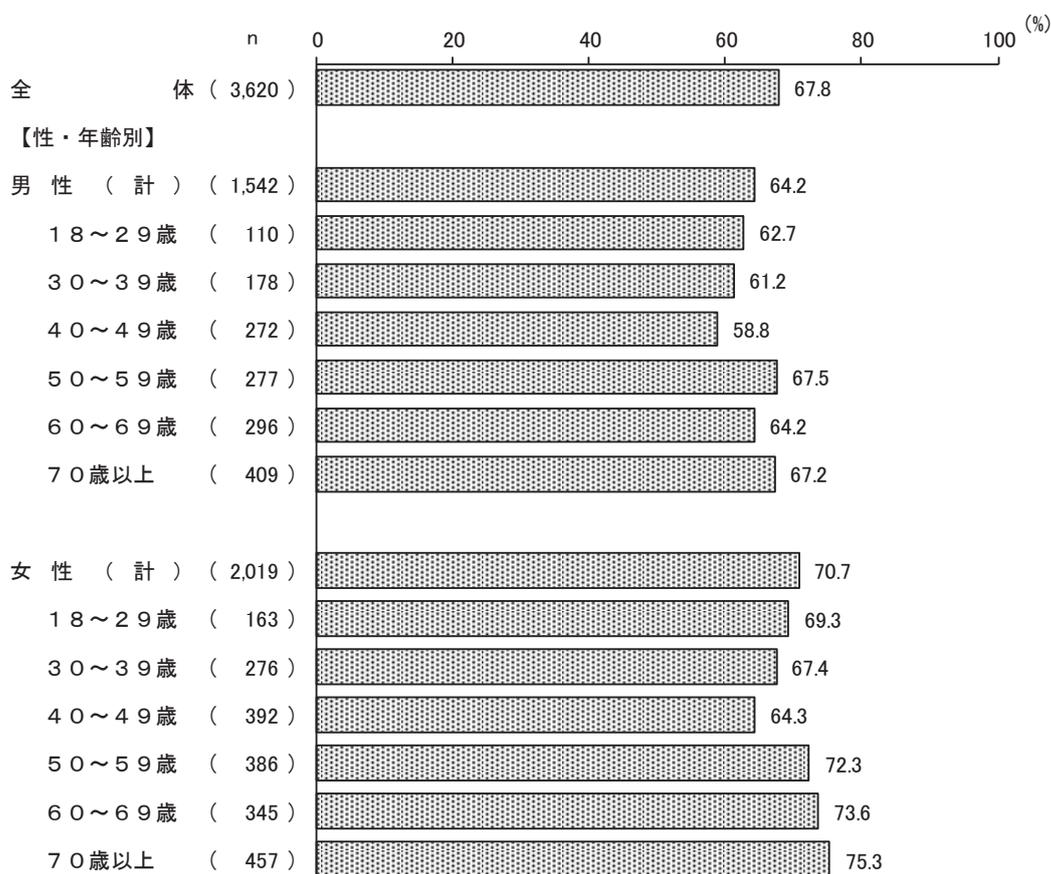


(5-1) 豊かな自然が身近に感じられるまち〔性・年齢別〕

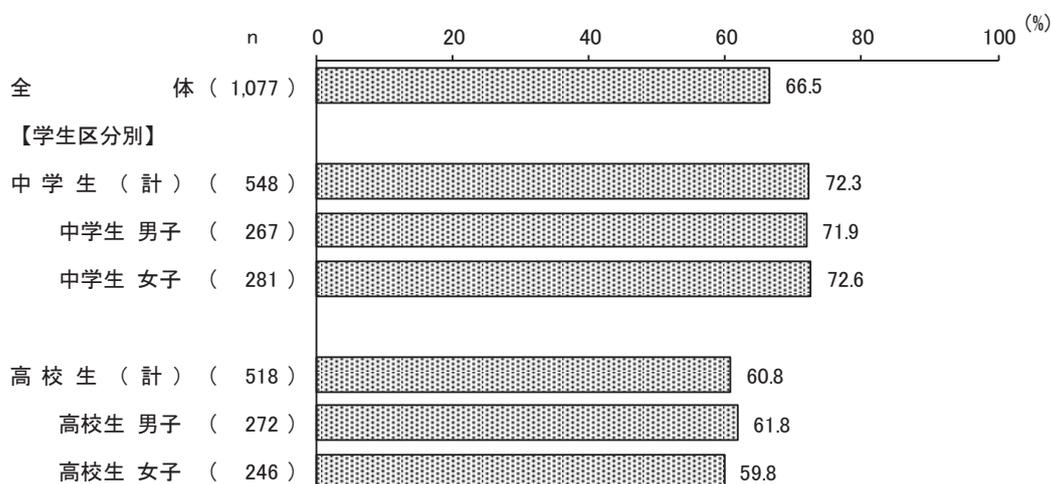
女性 70 歳以上が 7 割半ばで最も高い

「豊かな自然が身近に感じられるまち」について、性・年齢別にみると、女性では 70 歳以上 (75.3%) が 7 割半ばで最も高くなっている。男性では 40 歳代 (58.8%) が 5 割台と他の年代に比べやや低い。

図 1-11 豊かな自然が身近に感じられるまち〔性・年齢別〕 (複数回答)



(参考) 青少年調査の結果

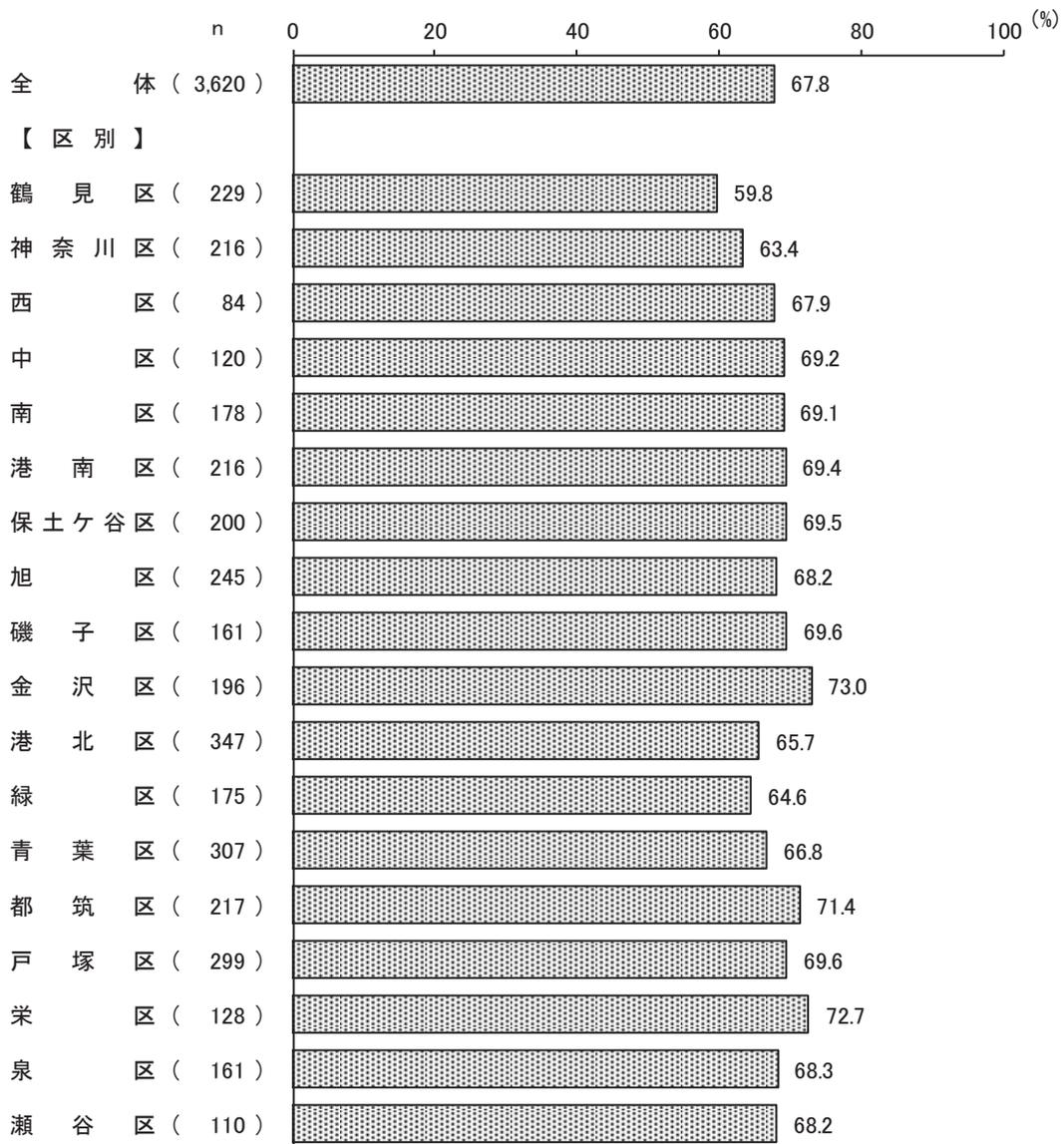


(5-2) 豊かな自然が身近に感じられるまち [区別]

金沢区が最も高い

「豊かな自然が身近に感じられるまち」について、区別にみると、金沢区 (73.0%) が最も高く、次いで栄区 (72.7%)、都筑区 (71.4%) となっている。

図 1-12 豊かな自然が身近に感じられるまち [区別] (複数回答)

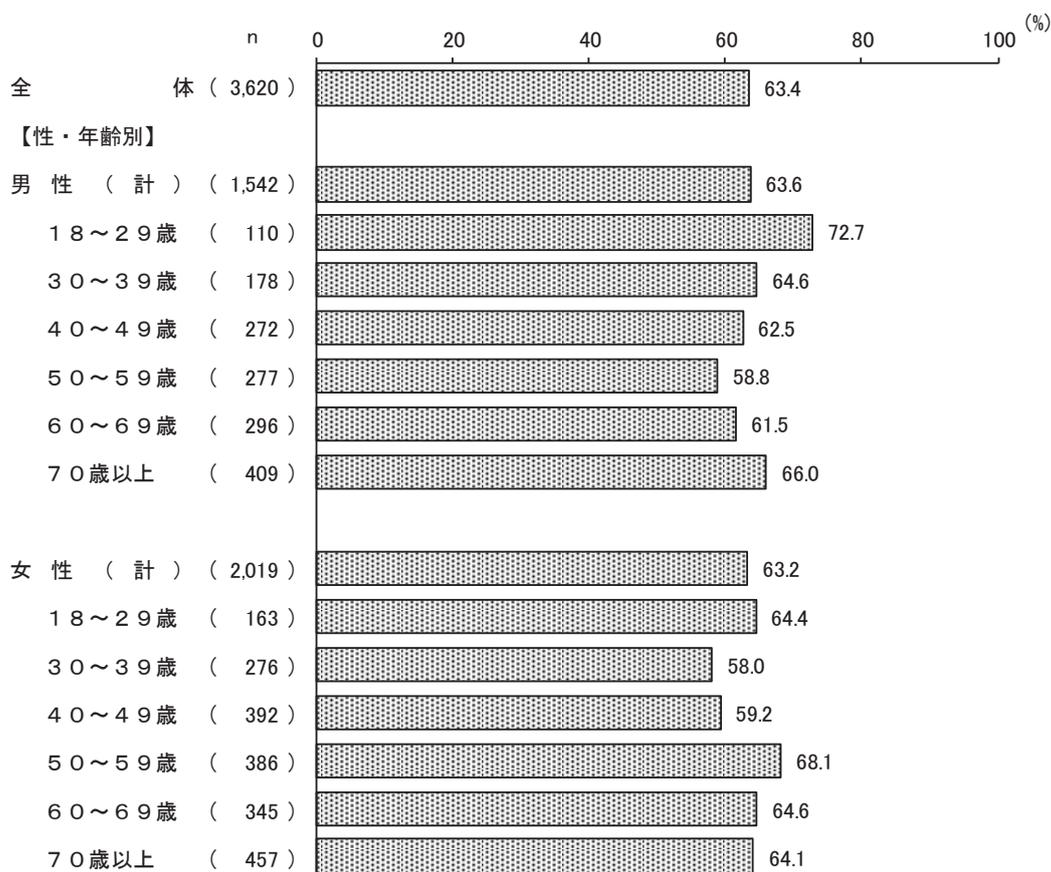


(6-1) 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち [性・年齢別]

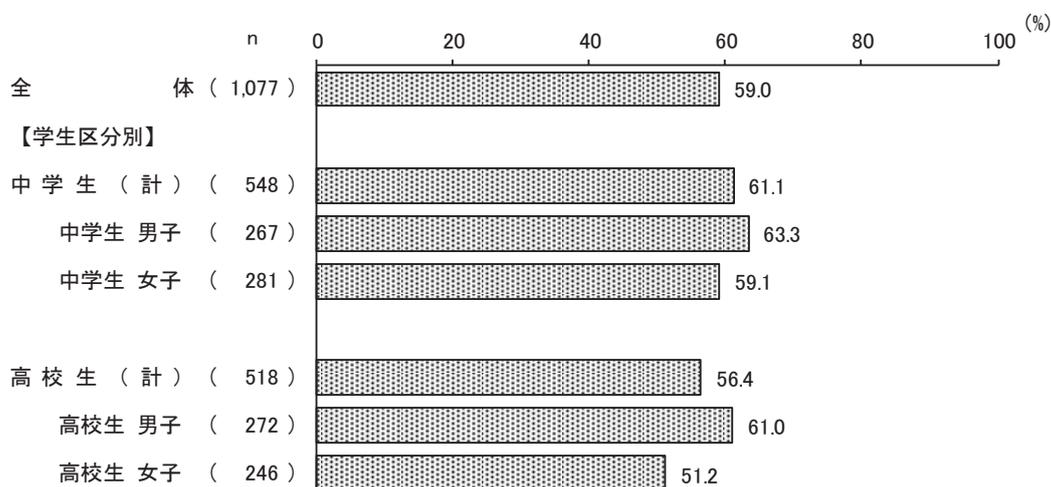
男性 18~29 歳が 7 割を超えて最も高い

「都市基盤が充実し便利に暮らせるまち」について、性・年齢別にみると、男性 18~29 歳 (72.7%) が 7 割を超え男女全年代を通じて最も高く、次いで女性 50 歳代 (68.1%) が 7 割近くとなっている。

図 1-13 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち [性・年齢別] (複数回答)



(参考) 青少年調査の結果

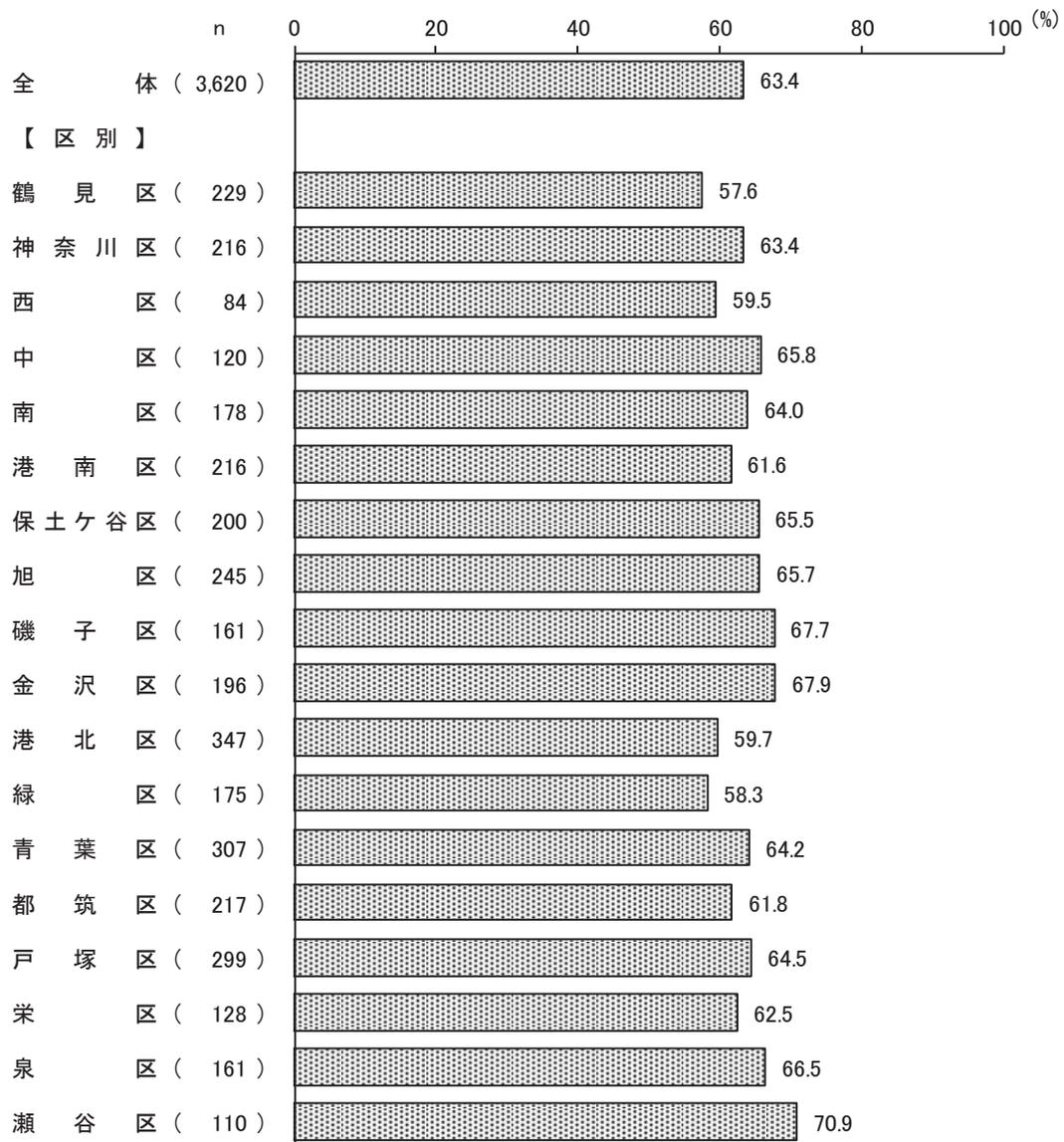


(6-2) 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち [区別]

瀬谷区が7割を超えて最も高い

「都市基盤が充実し便利に暮らせるまち」について、区別にみると、瀬谷区（70.9%）が7割を超えて最も高く、次いで金沢区（67.9%）、磯子区（67.7%）となっている。

図1-14 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち [区別] (複数回答)

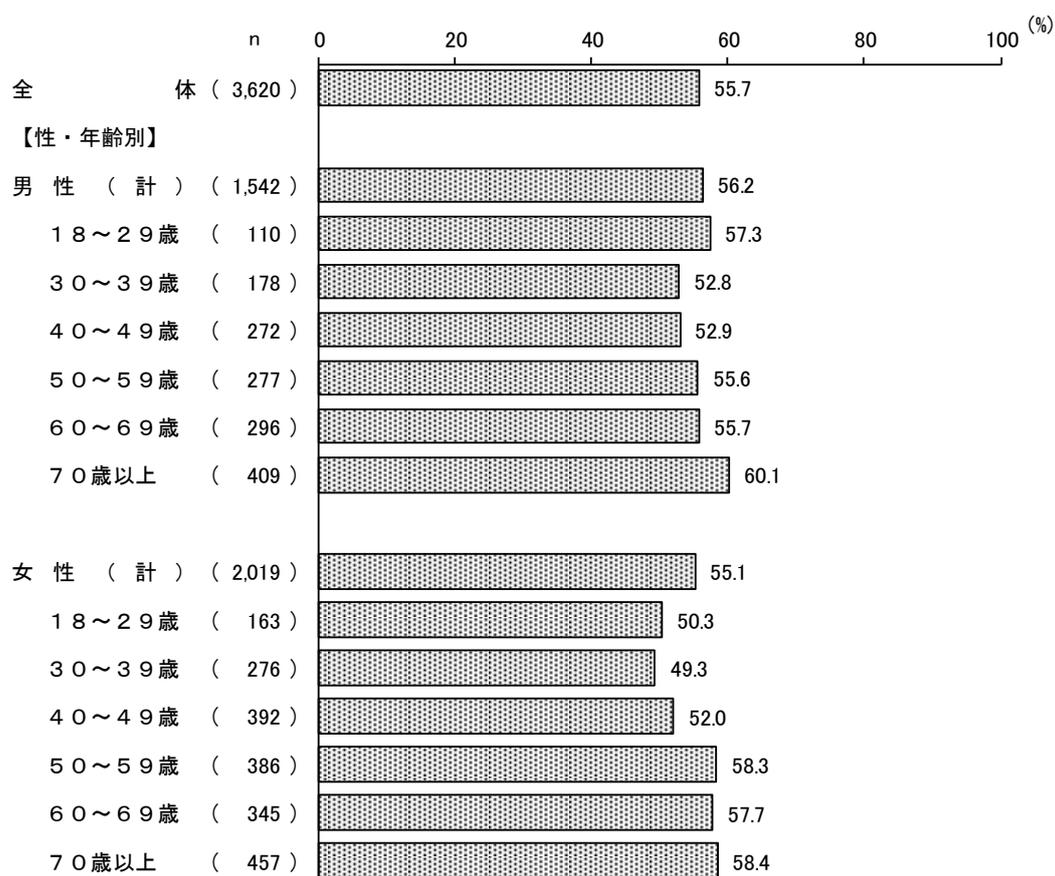


(7-1) 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち [性・年齢別]

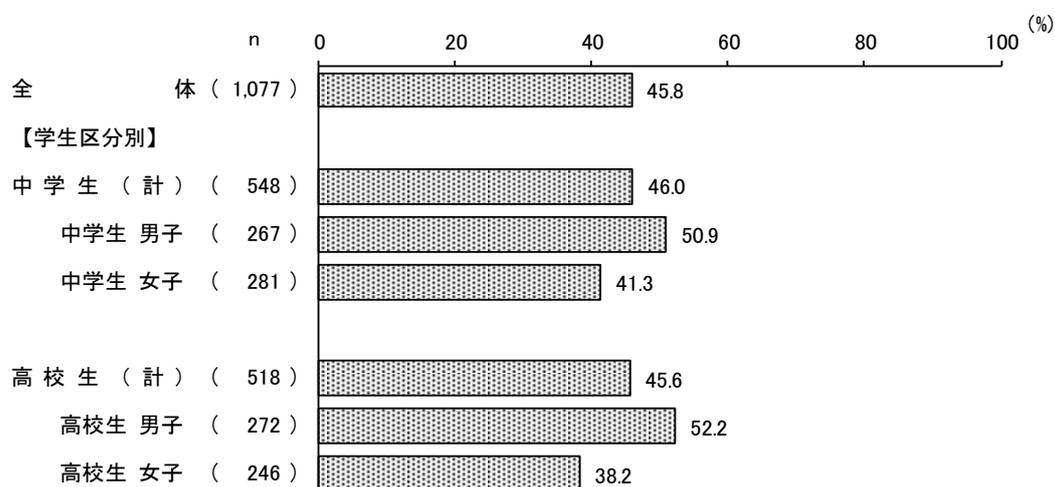
男性 70 歳以上が 6 割を超えて最も高い

「企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち」について、性・年齢別にみると、男性 70 歳以上 (60.1%) が 6 割を超えて男女全年代を通じ最も高くなっている。女性では、30 歳代 (49.3%) が 4 割台とやや低くなっている。

図 1-15 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち [性・年齢別] (複数回答)



(参考) 青少年調査の結果

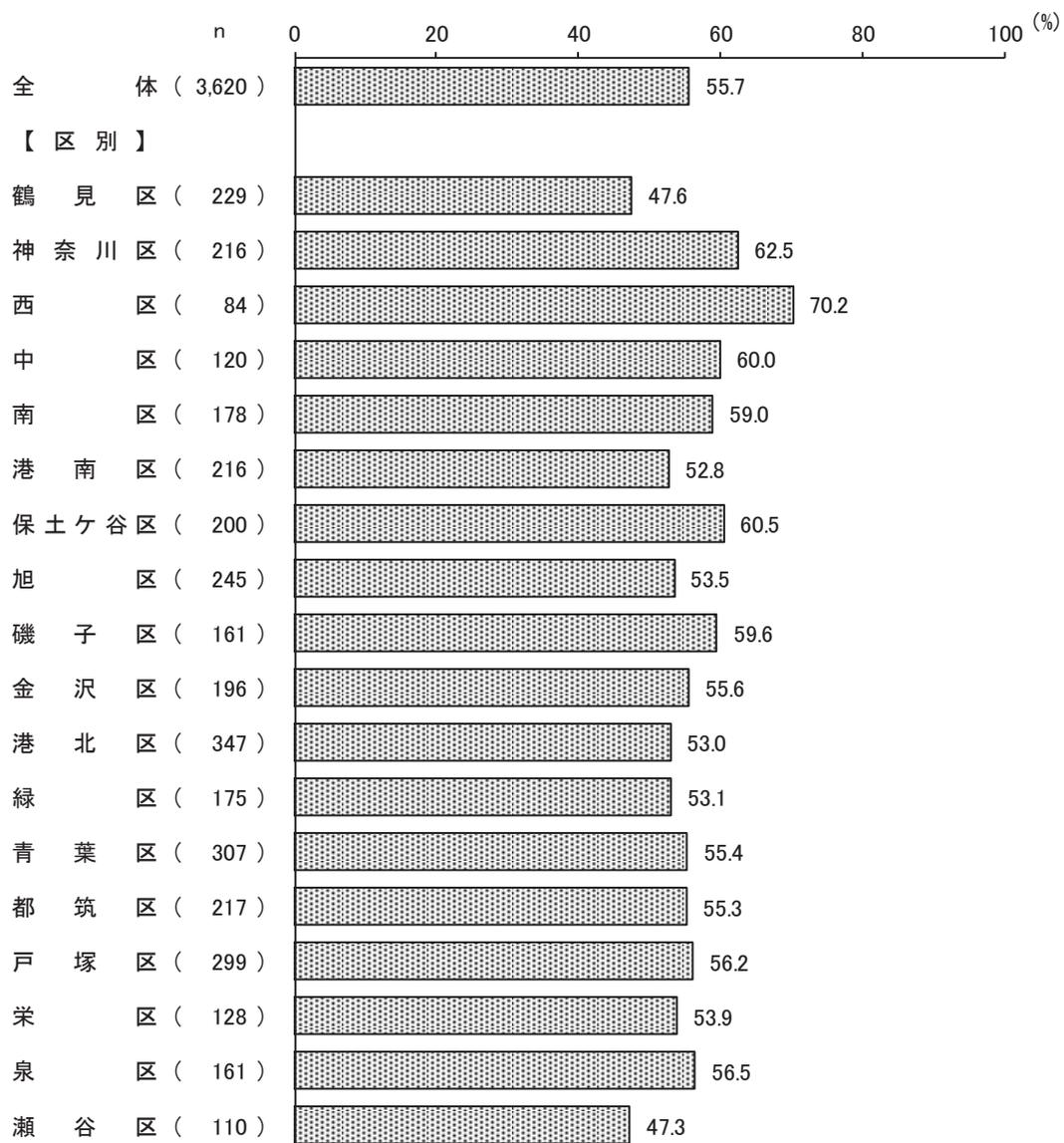


(7-2) 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち [区別]

西区が7割を超えて最も高い

「企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち」について、区別にみると、西区（70.2%）が7割を超えて最も高く、次いで神奈川区（62.5%）、保土ヶ谷区（60.5%）、中区（60.0%）となっている。

図1-16 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち [区別]（複数回答）

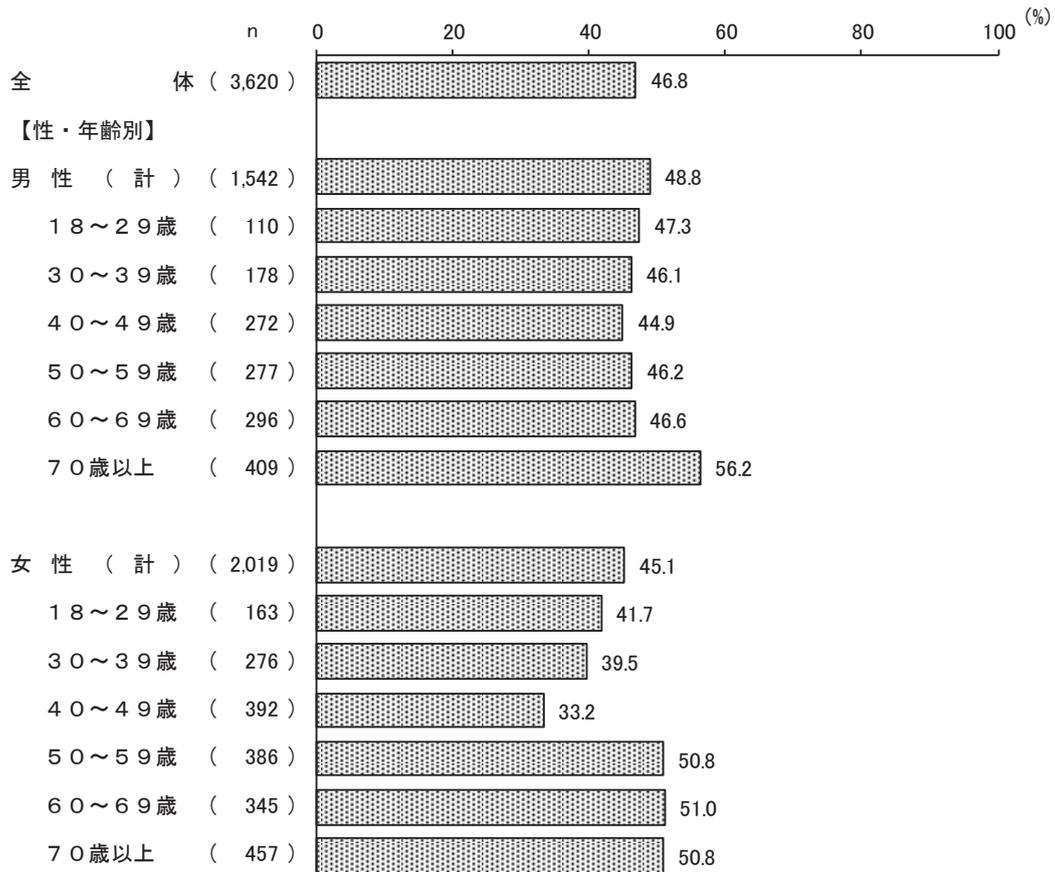


(8-1) 国内外から魅力的と感じられるまち [性・年齢別]

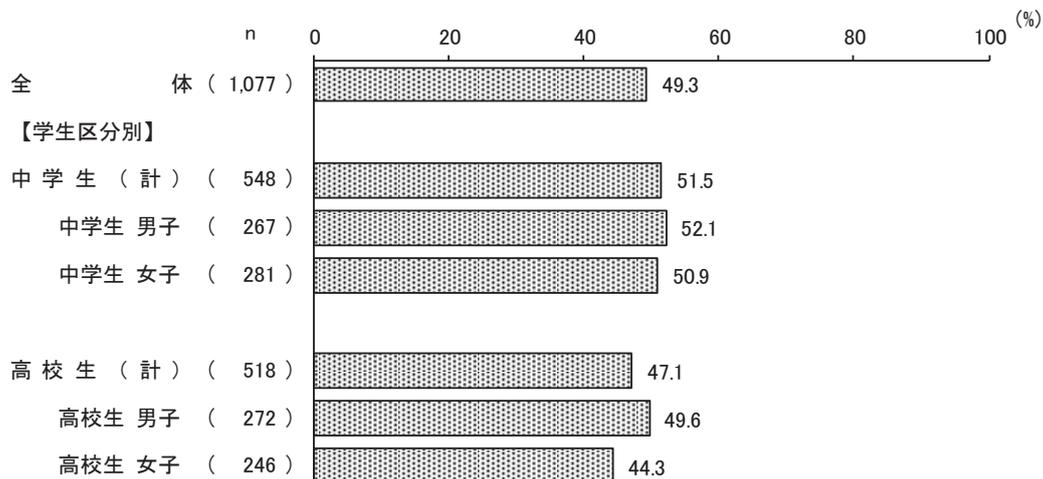
男性 70 歳以上が 5 割半ばで最も高い

「国内外から魅力的と感じられるまち」について、性・年齢別にみると、男性 70 歳以上 (56.2%) が 5 割半ばで男女全年代を通じ最も高くなっている。女性では、40 歳代 (33.2%) が 3 割前半と低くなっている。

図 1-17 国内外から魅力的と感じられるまち [性・年齢別] (複数回答)



(参考) 青少年調査の結果



(8-2) 国内外から魅力的と感じられるまち [区別]

中区が6割近くで最も高い

「国内外から魅力的と感じられるまち」について、区別にみると、中区（59.2%）が6割近くで最も高く、次いで栄区（53.1%）、保土ヶ谷区（50.5%）、磯子区（50.3%）、西区・金沢区（ともに50.0%）となっている。

図1-18 国内外から魅力的と感じられるまち [区別] (複数回答)

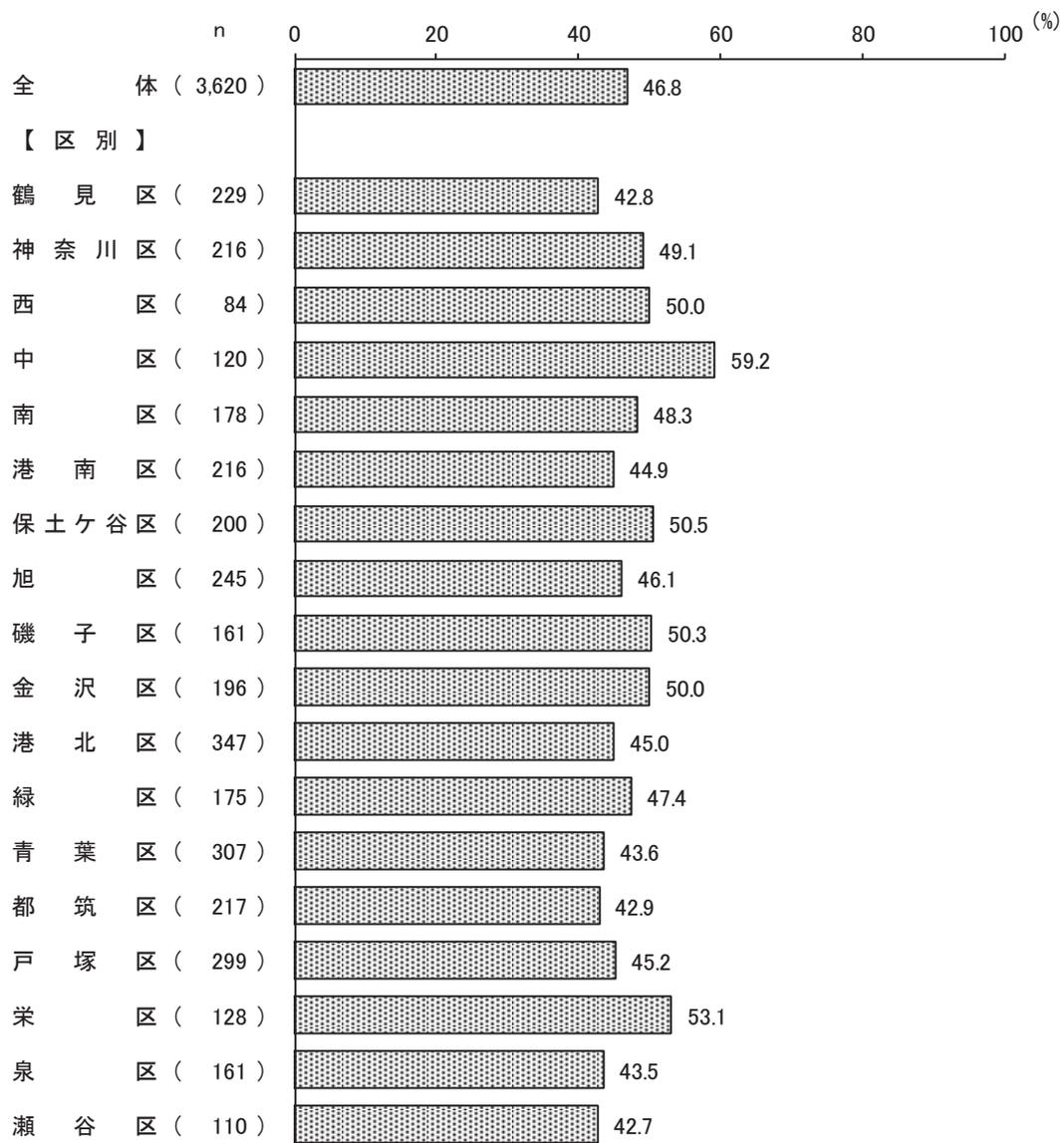


表 1-1 未来の横浜の姿 [性・年齢別、順位] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
全体	(n=3,620)	災害に強い安全で安心なまち 82.0	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 78.7	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 78.1	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 70.4	豊かな自然が身近に感じられるまち 67.8	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 63.4	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 55.7	国内外から魅力的と感じられるまち 46.8
男性計	(n=1,542)	災害に強い安全で安心なまち 77.0	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 75.4	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 74.5	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 67.1	豊かな自然が身近に感じられるまち 64.2	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 63.6	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 56.2	国内外から魅力的と感じられるまち 48.8
18～29歳	(n=110)	災害に強い安全で安心なまち 77.3	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 72.7	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 71.8	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 70.9	豊かな自然が身近に感じられるまち 62.7	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 57.3	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 55.5	国内外から魅力的と感じられるまち 47.3
30～39歳	(n=178)	災害に強い安全で安心なまち 74.7	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 72.5	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 68.5	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 64.6	豊かな自然が身近に感じられるまち 61.2	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 59.6	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 52.8	国内外から魅力的と感じられるまち 46.1
40～49歳	(n=272)	災害に強い安全で安心なまち/住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 77.2	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 77.2	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 72.1	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 69.1	豊かな自然が身近に感じられるまち 62.5	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 58.8	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 52.9	国内外から魅力的と感じられるまち 44.9
50～59歳	(n=277)	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 81.6	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 78.3	災害に強い安全で安心なまち 78.0	豊かな自然が身近に感じられるまち 67.5	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 65.0	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 58.8	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 55.6	国内外から魅力的と感じられるまち 46.2
60～69歳	(n=296)	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 77.0	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 75.0	災害に強い安全で安心なまち 73.3	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち/豊かな自然が身近に感じられるまち 64.2	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 61.5	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 55.7	国内外から魅力的と感じられるまち 46.6	
70歳以上	(n=409)	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 81.2	災害に強い安全で安心なまち 79.7	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 76.8	豊かな自然が身近に感じられるまち 67.2	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 66.0	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 65.8	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 60.1	国内外から魅力的と感じられるまち 56.2
女性計	(n=2,019)	災害に強い安全で安心なまち 86.0	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 81.8	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 80.2	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 73.2	豊かな自然が身近に感じられるまち 70.7	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 63.2	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 55.1	国内外から魅力的と感じられるまち 45.1
18～29歳	(n=163)	災害に強い安全で安心なまち 88.3	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 85.3	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 83.4	豊かな自然が身近に感じられるまち 69.3	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 68.7	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 64.4	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 50.3	国内外から魅力的と感じられるまち 41.7
30～39歳	(n=276)	災害に強い安全で安心なまち 86.2	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 84.4	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 83.0	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 72.1	豊かな自然が身近に感じられるまち 67.4	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 58.0	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 49.3	国内外から魅力的と感じられるまち 39.5
40～49歳	(n=392)	災害に強い安全で安心なまち 86.2	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 79.1	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 74.7	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 71.4	豊かな自然が身近に感じられるまち 64.3	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 59.2	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 52.0	国内外から魅力的と感じられるまち 33.2
50～59歳	(n=386)	災害に強い安全で安心なまち 89.1	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 88.3	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 82.4	豊かな自然が身近に感じられるまち 72.3	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 69.4	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 68.1	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 58.3	国内外から魅力的と感じられるまち 50.8
60～69歳	(n=345)	災害に強い安全で安心なまち 87.0	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 86.4	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 81.7	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 75.1	豊かな自然が身近に感じられるまち 73.6	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 64.6	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 57.7	国内外から魅力的と感じられるまち 51.0
70歳以上	(n=457)	いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち 85.8	災害に強い安全で安心なまち 81.6	住環境に優れた潤いのある住みやすいまち 78.3	豊かな自然が身近に感じられるまち 75.3	子ども、女性、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 65.9	都市基盤が充実し便利に暮らせるまち 64.1	企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち 58.4	国内外から魅力的と感じられるまち 50.8

(参考) 青少年調査の結果

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
全体 (n=1,077)		災害に強い安全 で安心なまち 81.2	住環境に優れた 潤いのある住み やすいまち 71.0	豊かな自然が身 近に感じられる まち 66.5	子ども、女性、 若者などが元 気で持てる力が 発揮されるまち 65.1	いくつになっても 安心していきい きと自分らしく暮 らせるまち 64.1	都市基盤が充 実し便利に暮ら せるまち 59.0	国内外から魅力 的と感じられる まち 49.3	企業の活力と文 化芸術の魅力あ ふれる元気なま ち 45.8
中学生計 (n=548)		災害に強い安全 で安心なまち 82.8	豊かな自然が身 近に感じられる まち 72.3	住環境に優れた 潤いのある住み やすいまち 71.9	いくつになっても 安心していきい きと自分らしく暮 らせるまち 69.0	子ども、女性、 若者などが元 気で持てる力が 発揮されるまち 67.7	都市基盤が充 実し便利に暮ら せるまち 61.1	国内外から魅力 的と感じられる まち 51.5	企業の活力と文 化芸術の魅力あ ふれる元気なま ち 46.0
中学生男子 (n=267)		災害に強い安全 で安心なまち 82.8	豊かな自然が身 近に感じられる まち 71.9	住環境に優れた 潤いのある住み やすいまち 71.2	いくつになっても 安心していきい きと自分らしく暮 らせるまち 68.9	都市基盤が充 実し便利に暮ら せるまち 63.3	子ども、女性、 若者などが元 気で持てる力が 発揮されるまち 62.2	国内外から魅力 的と感じられる まち 52.1	企業の活力と文 化芸術の魅力あ ふれる元気なま ち 50.9
中学生女子 (n=281)		災害に強い安全 で安心なまち 82.9	子ども、女性、 若者などが元 気で持てる力が 発揮されるまち 73.0	豊かな自然が身 近に感じられる まち/住環境に優 れた潤いのある 住みやすいまち 72.6	いくつになっても 安心していきい きと自分らしく暮 らせるまち 69.0	都市基盤が充 実し便利に暮ら せるまち 59.1	国内外から魅力 的と感じられる まち 50.9	企業の活力と文 化芸術の魅力あ ふれる元気なま ち 41.3	
高校生計 (n=518)		災害に強い安全 で安心なまち 79.2	住環境に優れた 潤いのある住み やすいまち 69.9	子ども、女性、 若者などが元 気で持てる力が 発揮されるまち 62.4	豊かな自然が身 近に感じられる まち 60.8	いくつになっても 安心していきい きと自分らしく暮 らせるまち 59.1	都市基盤が充 実し便利に暮ら せるまち 56.4	国内外から魅力 的と感じられる まち 47.1	企業の活力と文 化芸術の魅力あ ふれる元気なま ち 45.6
高校生男子 (n=272)		災害に強い安全 で安心なまち 76.1	住環境に優れた 潤いのある住み やすいまち 74.6	豊かな自然が身 近に感じられる まち 61.8	都市基盤が充 実し便利に暮ら せるまち 61.0	いくつになっても 安心していきい きと自分らしく暮 らせるまち 57.7	子ども、女性、 若者などが元 気で持てる力が 発揮されるまち 57.0	企業の活力と文 化芸術の魅力あ ふれる元気なま ち 52.2	国内外から魅力 的と感じられる まち 49.6
高校生女子 (n=246)		災害に強い安全 で安心なまち 82.5	子ども、女性、 若者などが元 気で持てる力が 発揮されるまち 68.3	住環境に優れた 潤いのある住み やすいまち 64.6	いくつになっても 安心していきい きと自分らしく暮 らせるまち 60.6	豊かな自然が身 近に感じられる まち 59.8	都市基盤が充 実し便利に暮ら せるまち 51.2	国内外から魅力 的と感じられる まち 44.3	企業の活力と文 化芸術の魅力あ ふれる元気なま ち 38.2

2. 具体的に「そうなってほしい」と思うもの

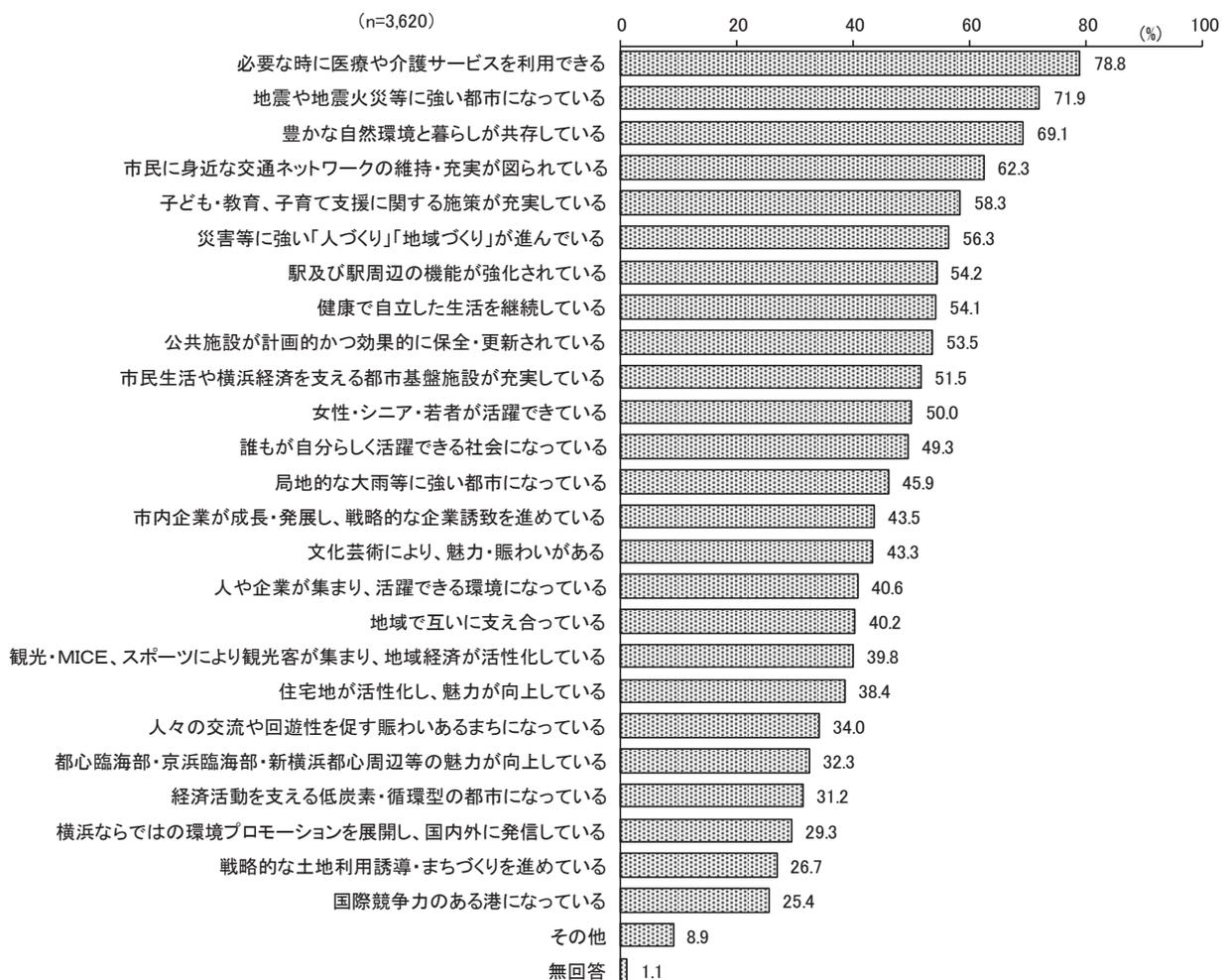
問2 前ページの未来のまちの姿について、もう少し詳しくお伺いします。以下のそれぞれの中から、具体的に「そうなってほしい」と思うものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「必要な時に医療や介護サービスを利用できる」が8割近くで最も高い

具体的に「そうなってほしい」と思う未来のまちの姿について聞いたところ、「必要な時に医療や介護サービスを利用できる」（78.8%）が8割近くで最も高く、次いで「地震や地震火災等に強い都市になっている」（71.9%）が7割強で続いている。

以下、「豊かな自然環境と暮らしが共存している」（69.1%）、「市民に身近な交通ネットワークの維持・充実が図られている」（62.3%）などの順となっている。

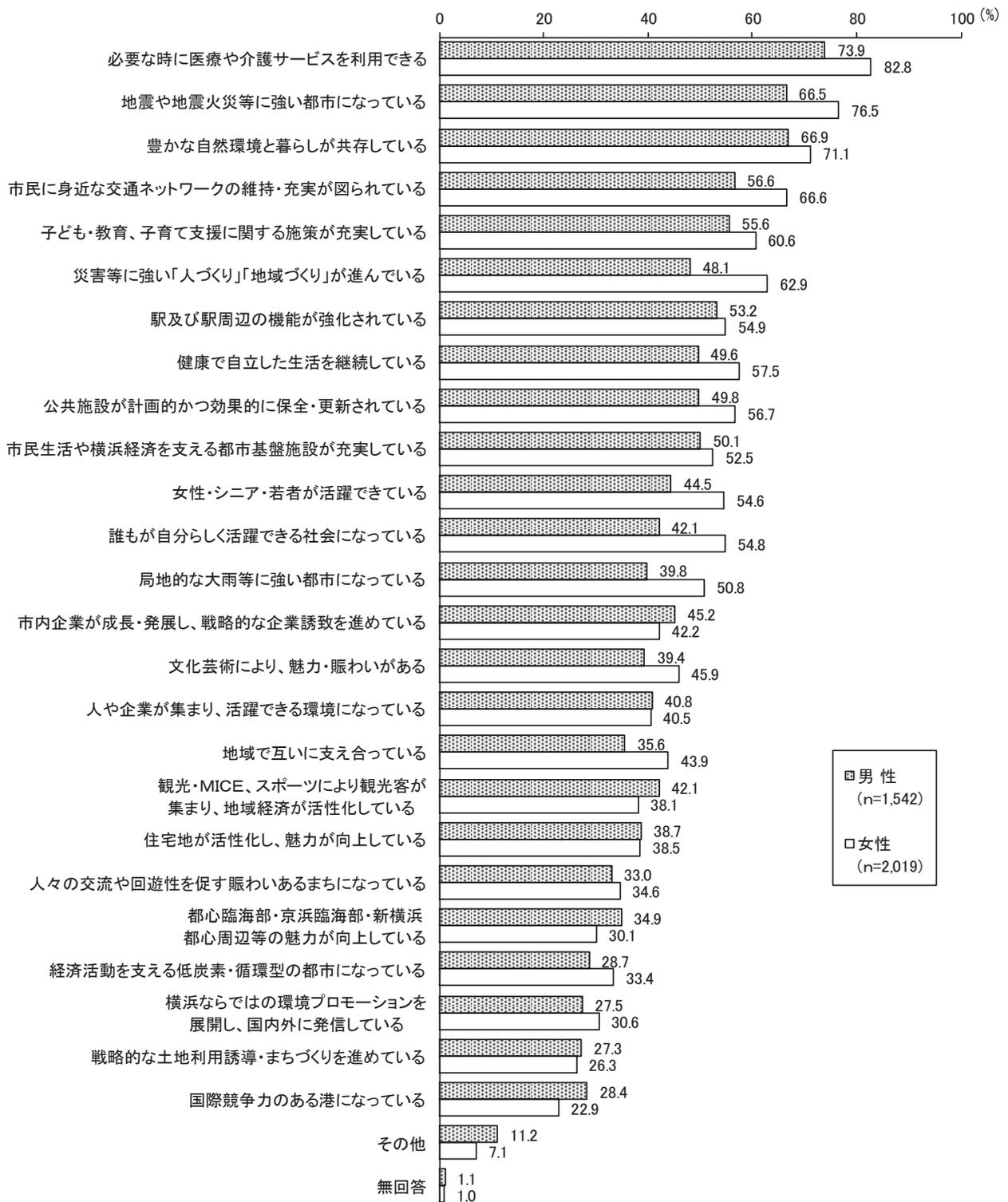
図2-1 具体的に「そうなってほしい」と思うもの〔全体〕（複数回答）



「必要な時に医療や介護サービスを利用できる」、「地震や地震火災等に強い都市になっている」、「豊かな自然環境と暮らしが共存している」などは女性の方が高い

男女別にみると、「必要な時に医療や介護サービスを利用できる」、「地震や地震火災等に強い都市になっている」、「豊かな自然環境と暮らしが共存している」など上位項目は女性の方が高くなっている。一方、「市内企業が成長・発展し、戦略的な企業誘致を進めている」、「観光・MICE、スポーツにより観光客が集まり、地域経済が活性化している」、「都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等の魅力が向上している」などでは、男性の方が高くなっている。

図 2-2 具体的に「そうなってほしい」と思うもの〔男女別〕（複数回答）



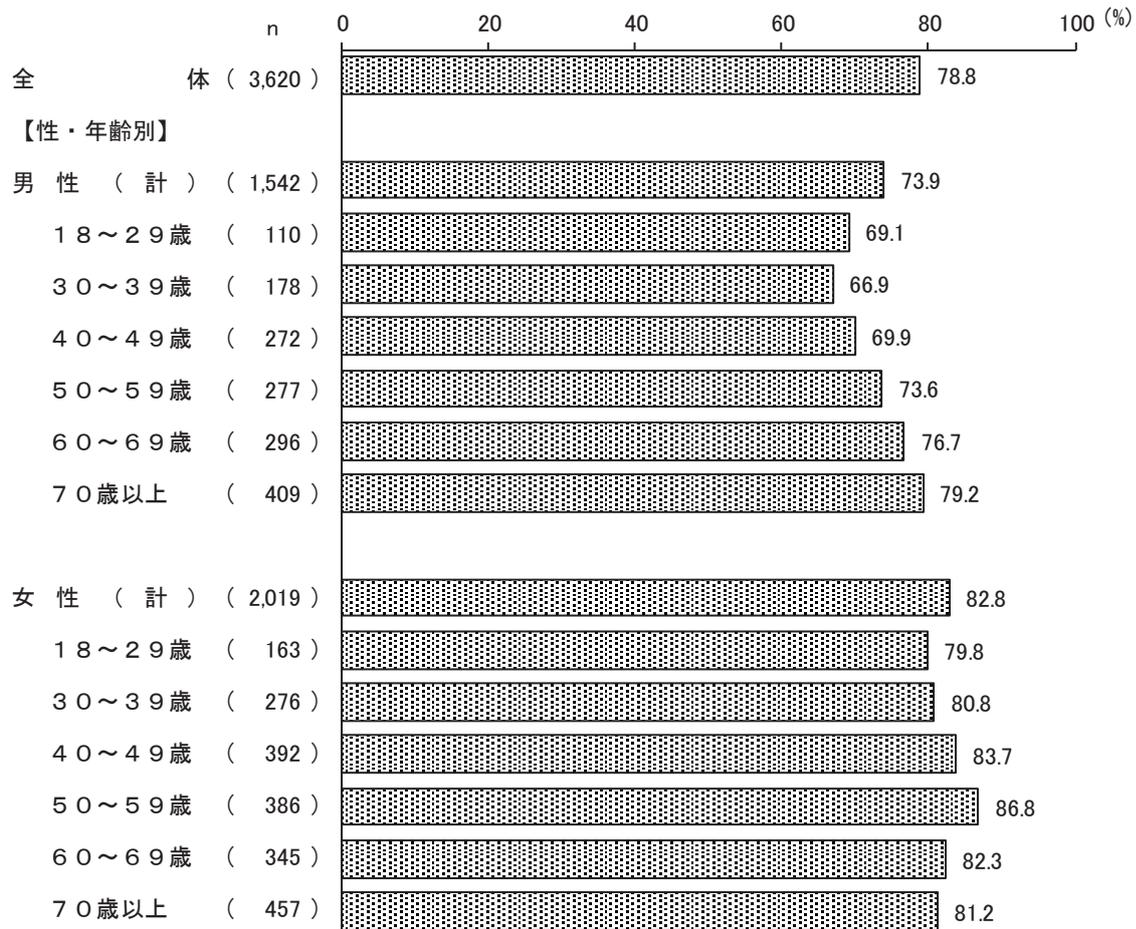
当設問の回答上位 8 項目について、次ページ以降に性・年齢別、区別の分析を掲載する。

(1-1) 必要な時に医療や介護サービスを利用できる [性・年齢別]

女性 50 歳代が 8 割半ばで最も高い

「必要な時に医療や介護サービスを利用できる」について、性・年齢別にみると、女性 50 歳代 (86.8%) が 8 割半ばで全年代を通じて最も高くなっている。男性では 30 歳代 (66.9%) が 6 割半ばと、他の年代にくらべやや低くなっている。

図 2-3 必要な時に医療や介護サービスを利用できる [性・年齢別] (複数回答)

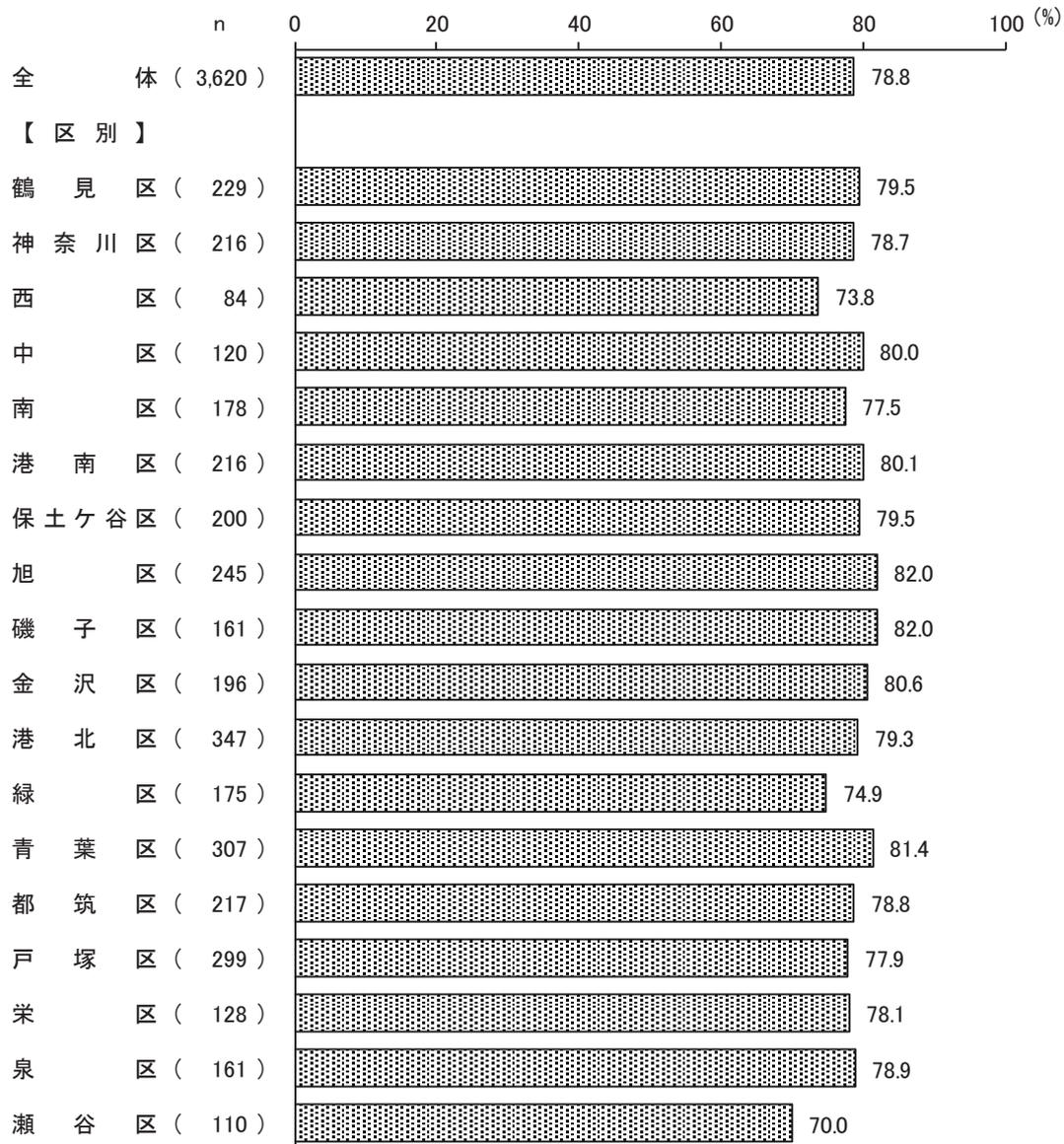


(1-2) 必要な時に医療や介護サービスを利用できる [区別]

旭区・磯子区が同率で最も高い

「必要な時に医療や介護サービスを利用できる」について、区別にみると、旭区・磯子区（ともに82.0%）が同率で最も高くなっている。青葉区（81.4%）、金沢区（80.6%）、港南区（80.1%）、中区（80.0%）で8割を超えた。

図2-4 必要な時に医療や介護サービスを利用できる [区別] (複数回答)

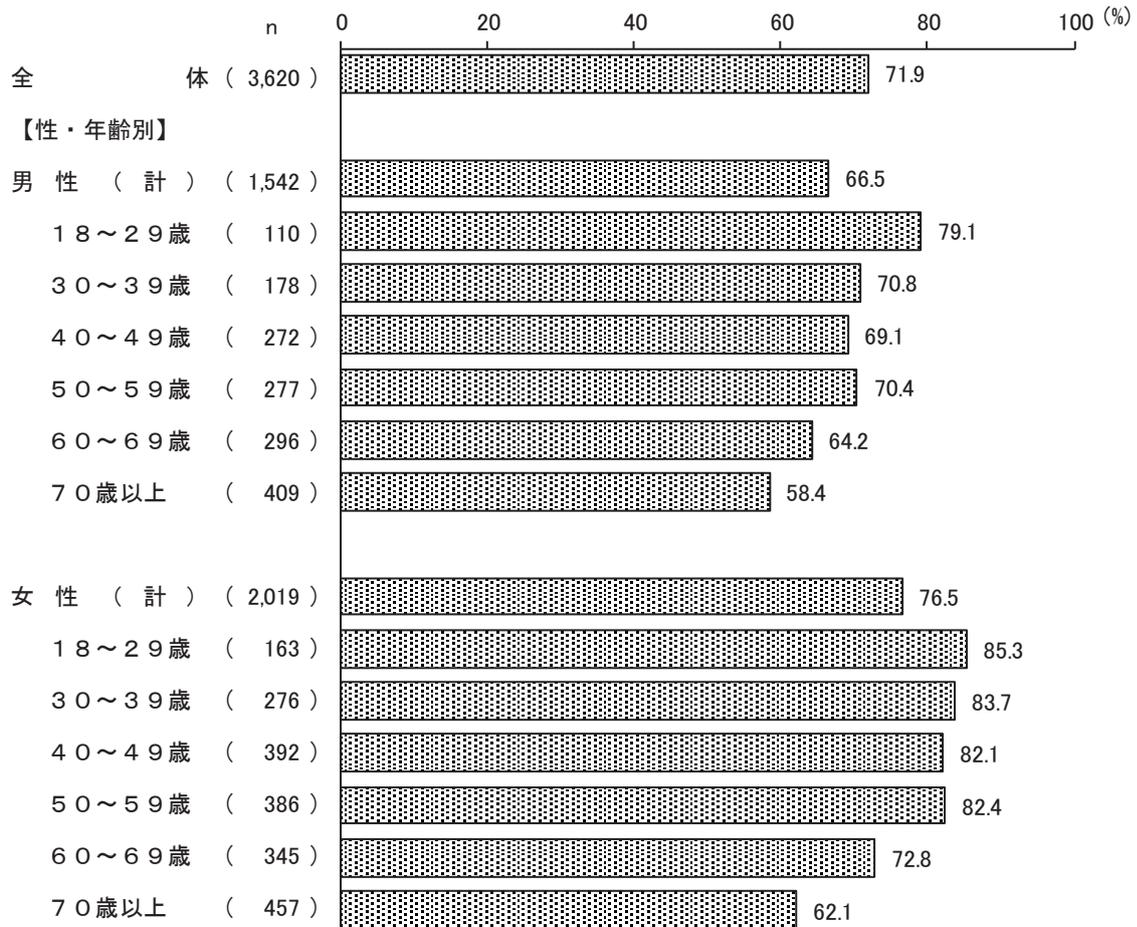


(2-1) 地震や地震火災等に強い都市になっている [性・年齢別]

男女ともおおむね若い年代ほど割合が高い

「地震や地震火災等に強い都市になっている」について、性・年齢別にみると、女性 18～29 歳 (85.3%) で 8 割半ばと男女全年代を通じて最も高くなっている。男女ともおおむね若い年代ほど割合が高い傾向となっている。

図 2-5 地震や地震火災等に強い都市になっている [性・年齢別] (複数回答)

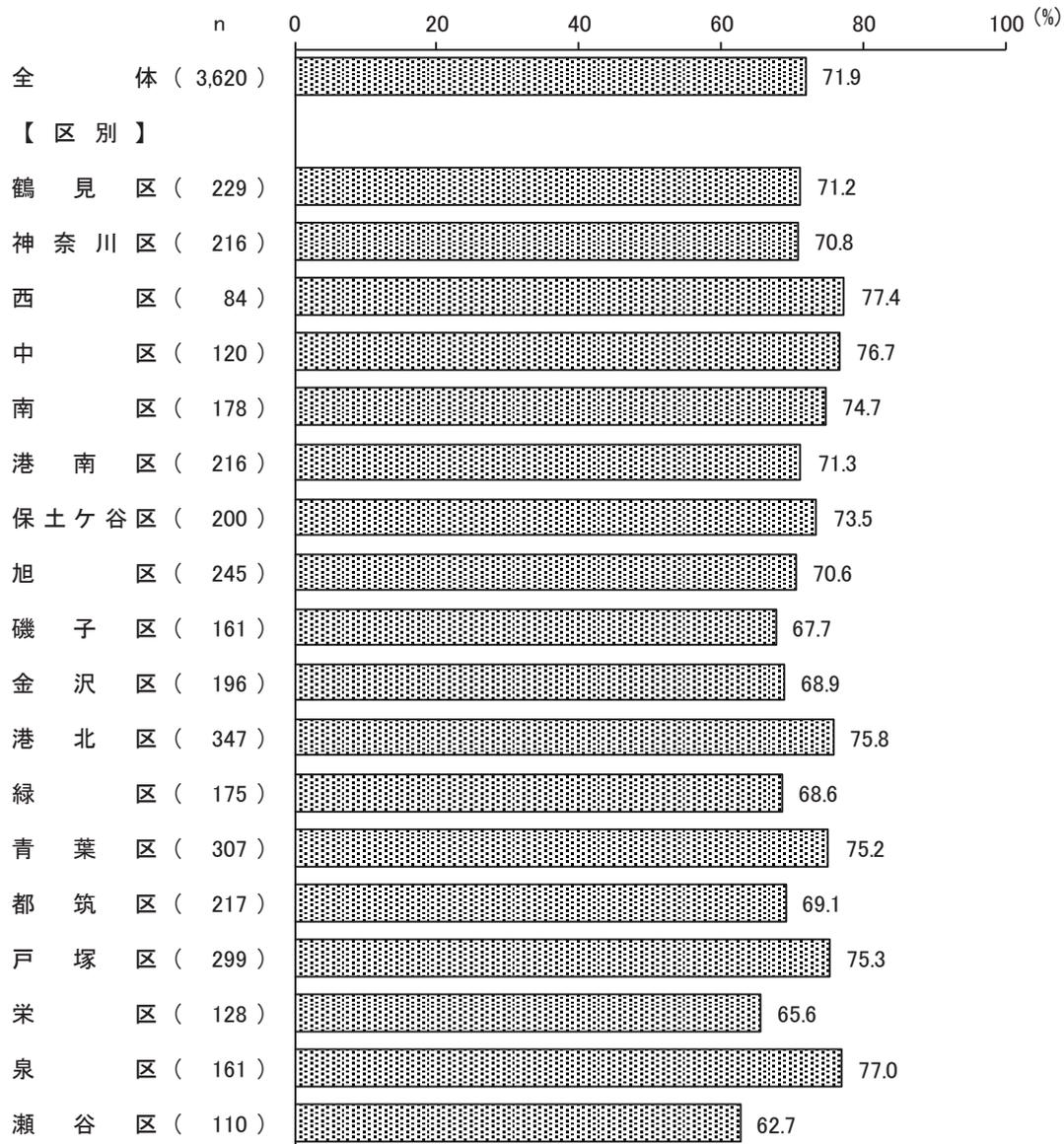


(2-2) 地震や地震火災等に強い都市になっている [区別]

西区が最も高い

「地震や地震火災等に強い都市になっている」について、区別にみると、西区 (77.4%) が最も高く、次いで泉区 (77.0%)、中区 (76.7%)、港北区 (75.8%)、戸塚区 (75.3%)、青葉区 (75.2%) となっている。

図2-6 地震や地震火災等に強い都市になっている [区別] (複数回答)

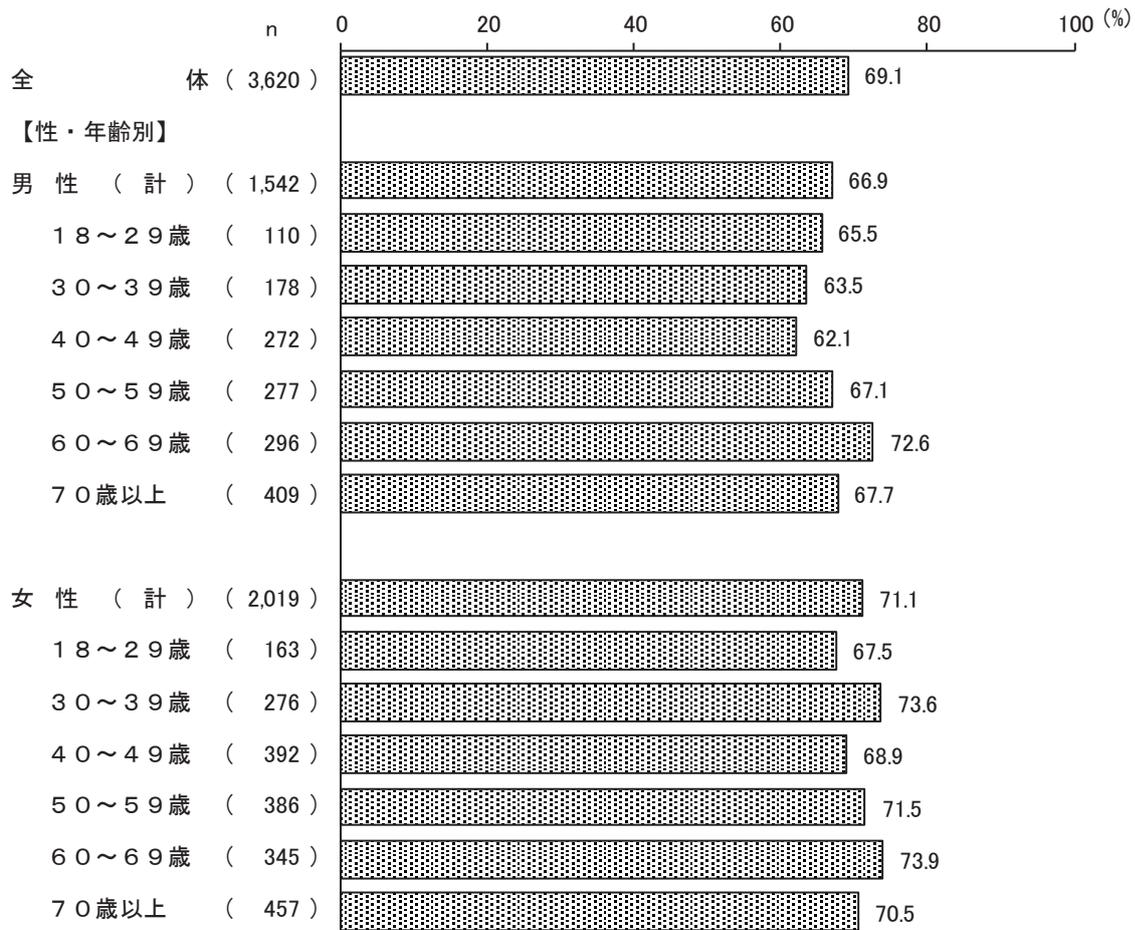


(3-1) 豊かな自然環境と暮らしが共存している [性・年齢別]

女性 60 歳代が最も高い

「豊かな自然環境と暮らしが共存している」について、性・年齢別にみると、女性 60 歳代 (73.9%) が男女全年代を通じ最も高く、次いで女性 30 歳代 (73.6%)、男性 60 歳代 (72.6%) となっている。

図 2-7 豊かな自然環境と暮らしが共存している [性・年齢別] (複数回答)

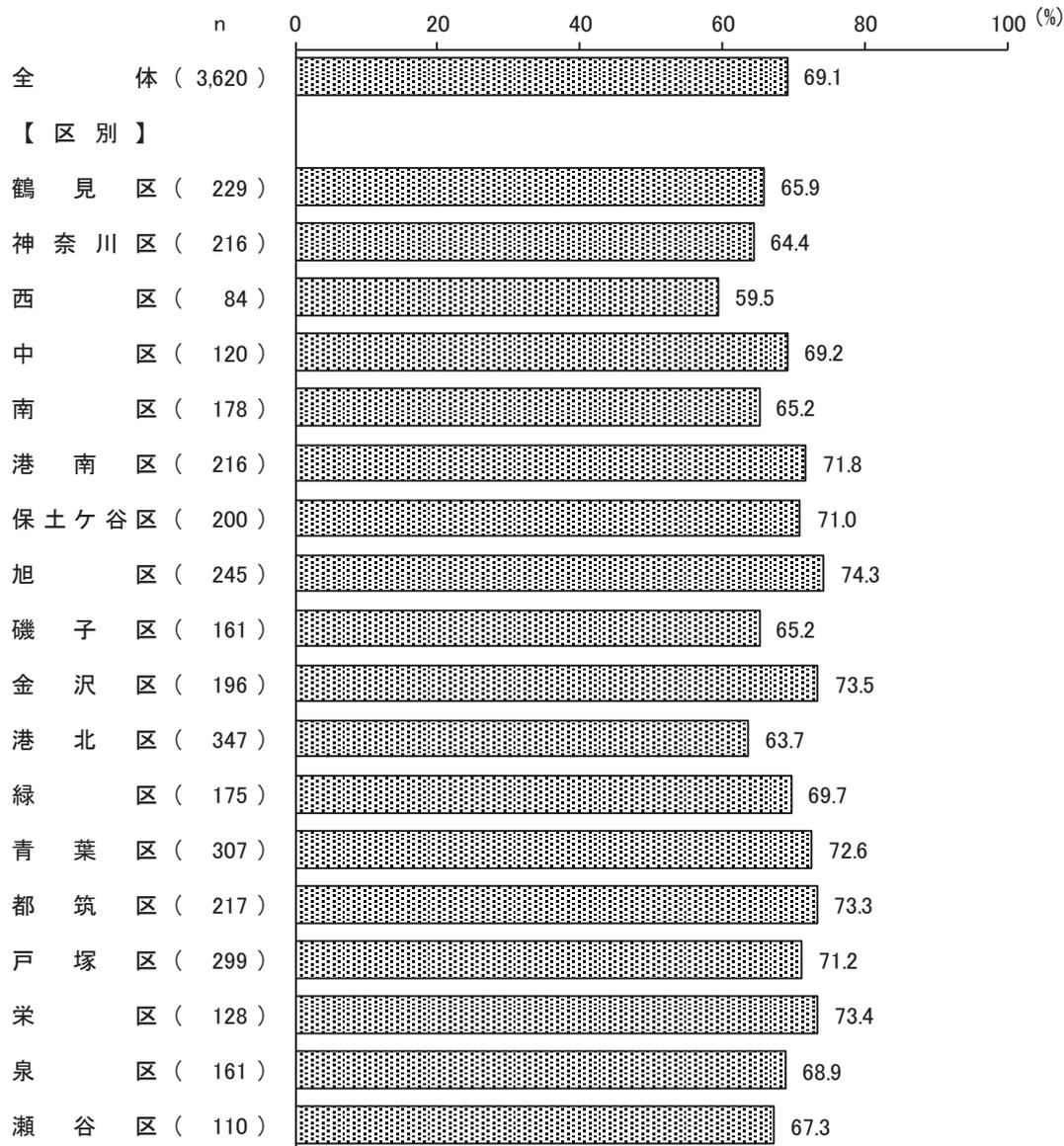


(3-2) 豊かな自然環境と暮らしが共存している [区別]

旭区が7割半ばで最も高い

「豊かな自然環境と暮らしが共存している」について、区別にみると、旭区（74.3%）が7割半ばで最も高く、次いで金沢区（73.5%）、栄区（73.4%）、都筑区（73.3%）となっている。また、西区（59.5%）が5割台と低くなっている。

図2-8 豊かな自然環境と暮らしが共存している [区別] (複数回答)

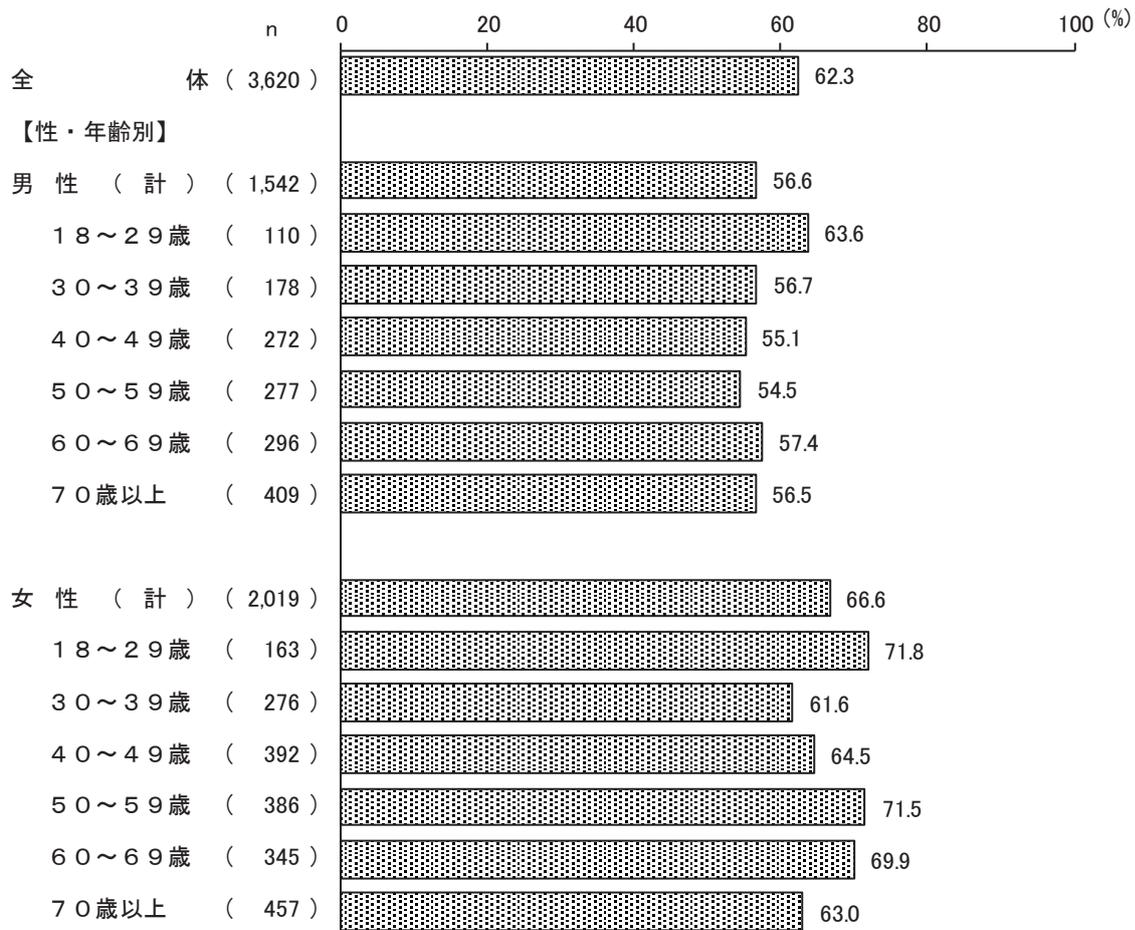


(4-1) 市民に身近な交通ネットワークの維持・充実が図られている [性・年齢別]

女性 18～29 歳、50 歳代が 7 割を超えて高い

「市民に身近な交通ネットワークの維持・充実が図られている」について、性・年齢別にみると、女性 18～29 歳 (71.8%)、50 歳代 (71.5%) が 7 割を超えて高くなっている。男性では、18～29 歳 (63.6%) が 6 割を超えて高い。

図 2-9 市民に身近な交通ネットワークの維持・充実が図られている [性・年齢別] (複数回答)

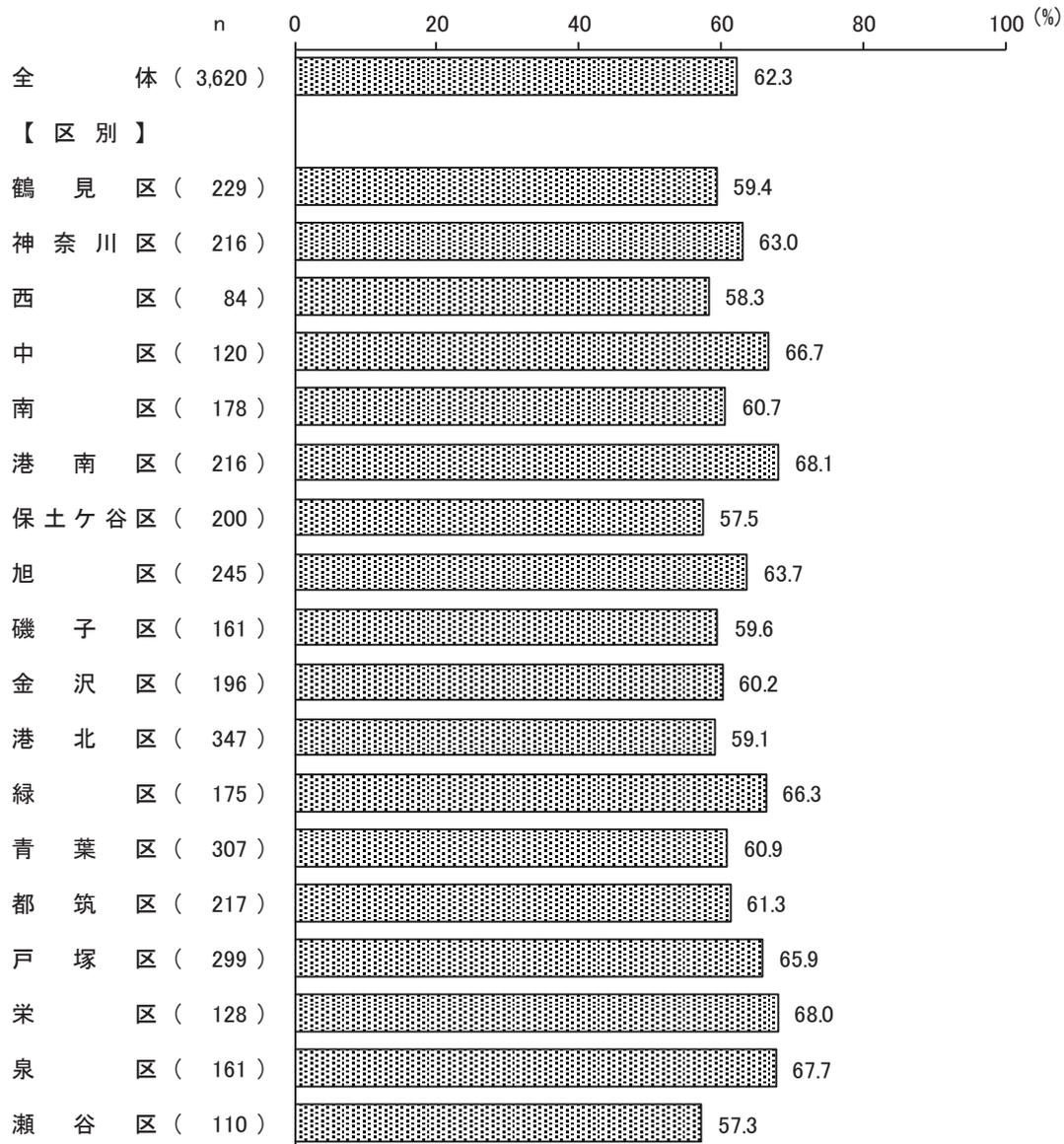


(4-2) 市民に身近な交通ネットワークの維持・充実が図られている [区別]

港南区、栄区が高い

「市民に身近な交通ネットワークの維持・充実が図られている」について、区別にみると、港南区(68.1%)が最も高く、次いで栄区(68.0%)、泉区(67.7%)、中区(66.7%)、緑区(66.3%)となっている。

図2-10 市民に身近な交通ネットワークの維持・充実が図られている [区別] (複数回答)

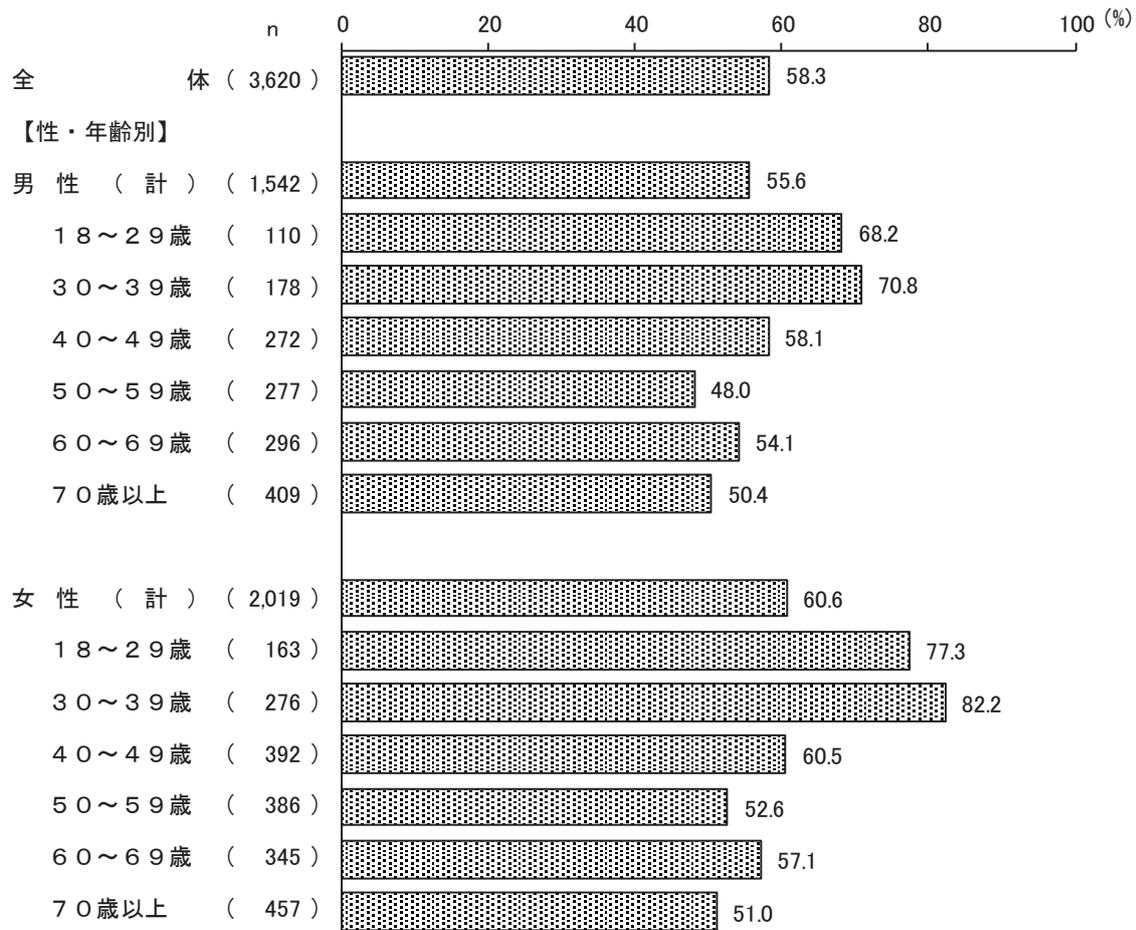


(5-1) 子ども・教育、子育て支援に関する施策が充実している [性・年齢別]

女性 30 歳代が 8 割を超えて最も高い

「子ども・教育、子育て支援に関する施策が充実している」について、性・年齢別にみると、女性 30 歳代 (82.2%) が男女全年代を通じ最も高く、次いで女性 18~29 歳 (77.3%) となっている。男性では、30 歳代 (70.8%) が 7 割を超えて高い。

図 2-11 子ども・教育、子育て支援に関する施策が充実している [性・年齢別] (複数回答)

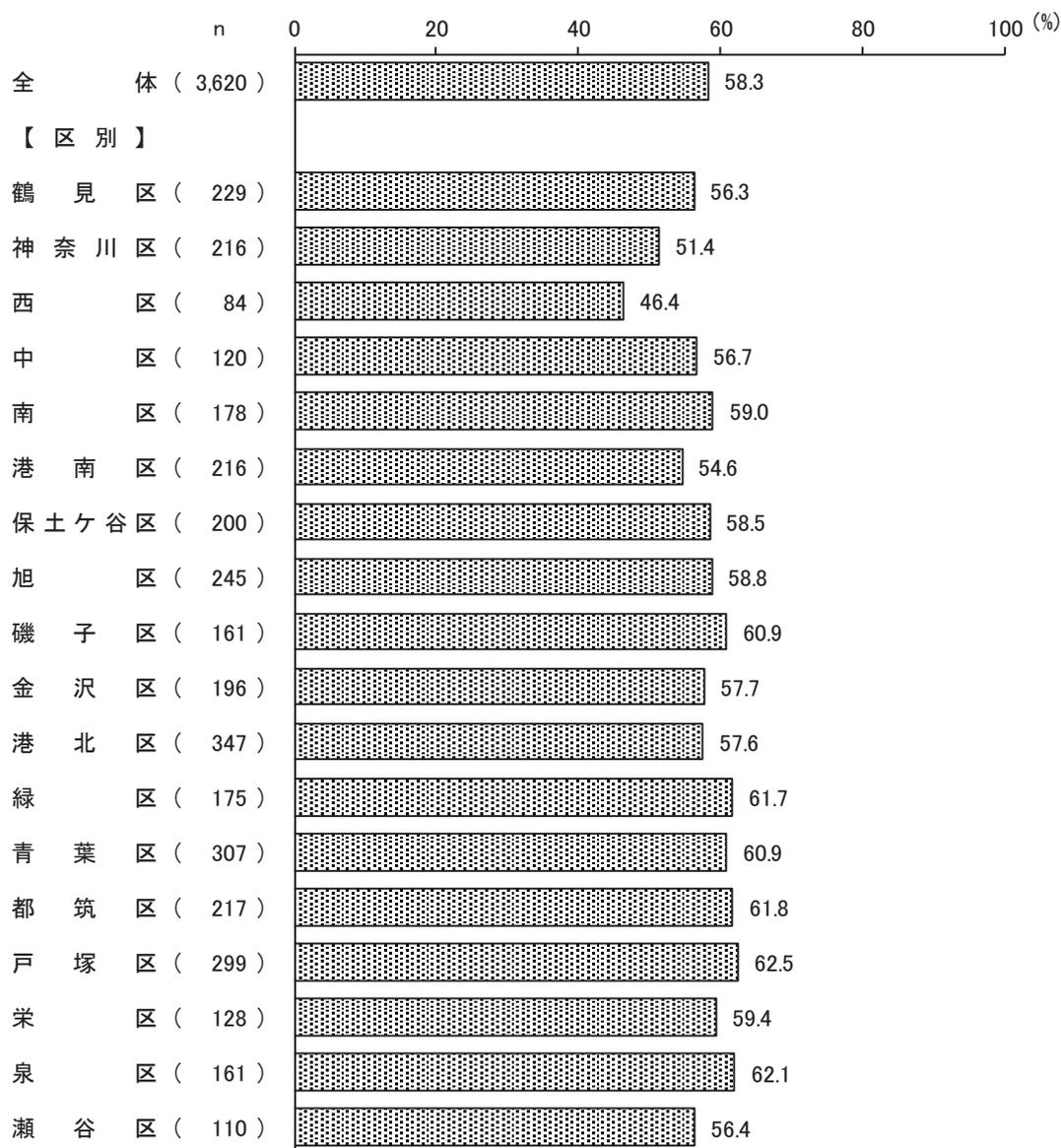


(5-2) 子ども・教育、子育て支援に関する施策が充実している [区別]

戸塚区が最も高い

「子ども・教育、子育て支援に関する施策が充実している」について、区別にみると、戸塚区(62.5%)が最も高く、次いで泉区(62.1%)、都筑区(61.8%)、緑区(61.7%)、磯子区・青葉区(ともに60.9%)となっている。また、西区(46.4%)が4割半ばと低くなっている。

図2-12 子ども・教育、子育て支援に関する施策が充実している [区別] (複数回答)

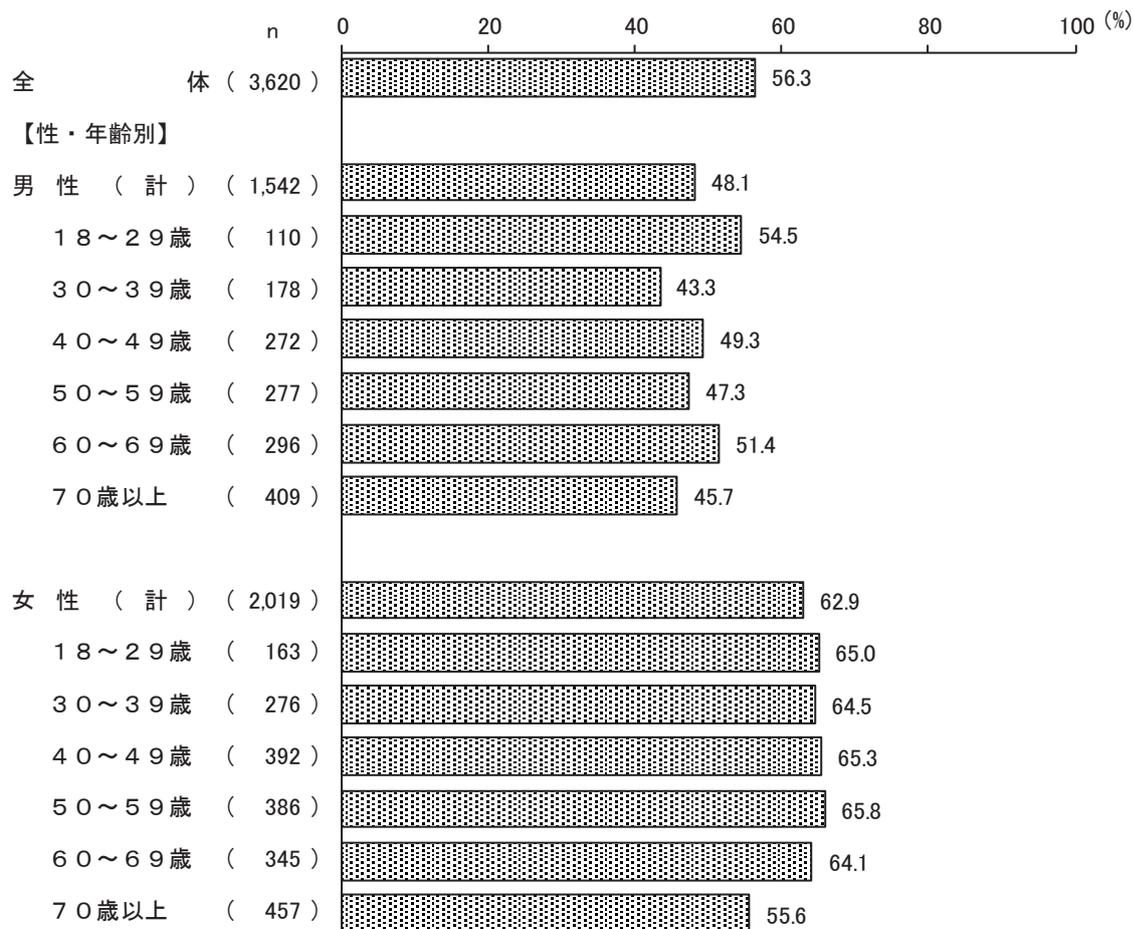


(6-1) 災害等に強い「人づくり」「地域づくり」が進んでいる [性・年齢別]

女性 50 歳代が最も高い

「災害等に強い「人づくり」「地域づくり」が進んでいる」について、性・年齢別にみると、女性 50 歳代 (65.8%) が男女全年代を通じ最も高く、次いで女性 40 歳代 (65.3%)、18~29 歳 (65.0%) となっている。男性では、18~29 歳 (54.5%) が 5 割半ばと高くなっている。

図 2-13 災害等に強い「人づくり」「地域づくり」が進んでいる [性・年齢別] (複数回答)

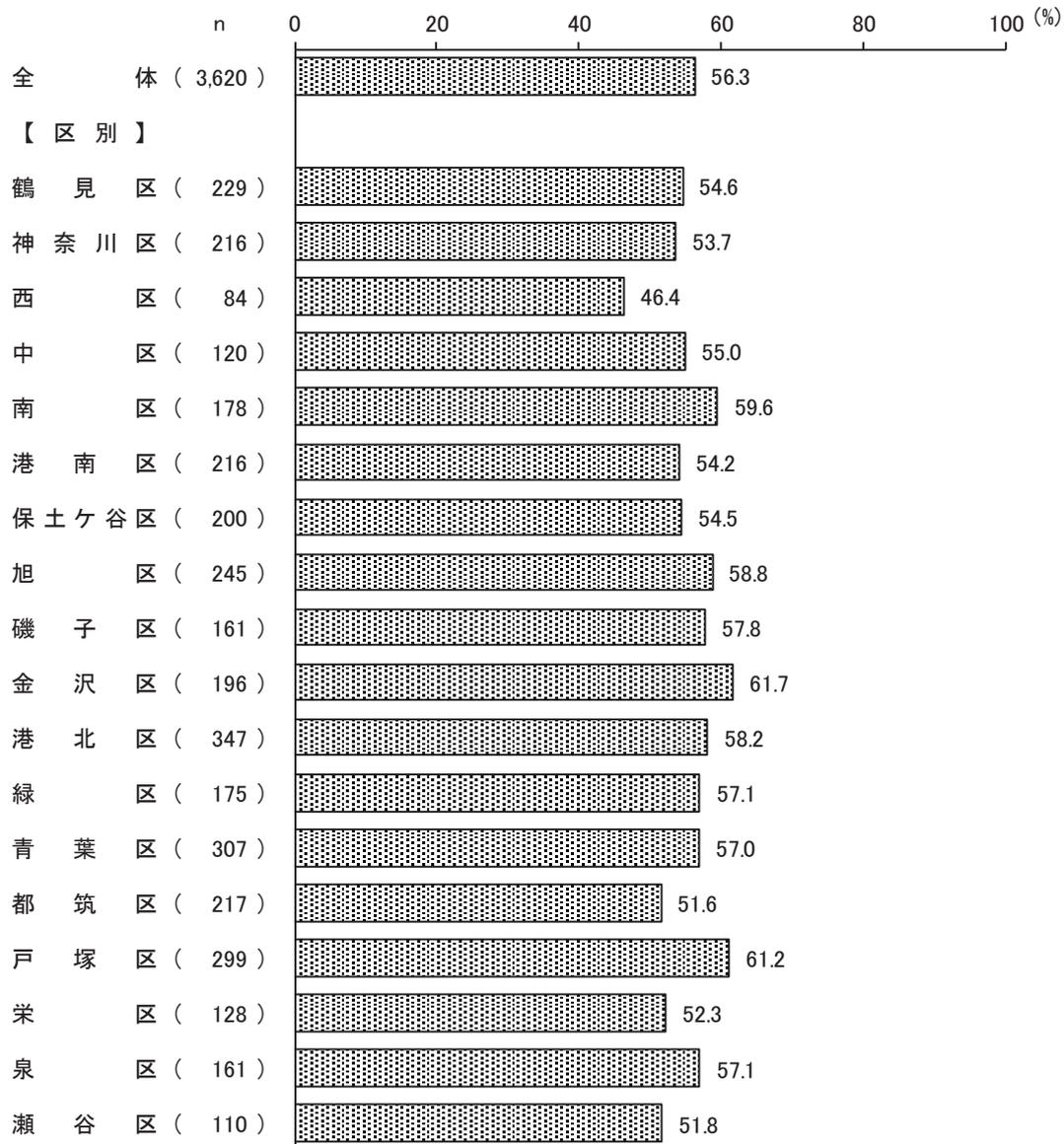


(6-2) 災害等に強い「人づくり」「地域づくり」が進んでいる [区別]

金沢区、戸塚区が6割を超えて高い

「災害等に強い「人づくり」「地域づくり」が進んでいる」について、区別にみると、金沢区(61.7%)、戸塚区(61.2%)が6割を超えて高くなっている。また、西区(46.4%)が4割台と低くなっている。

図2-14 災害等に強い「人づくり」「地域づくり」が進んでいる [区別] (複数回答)

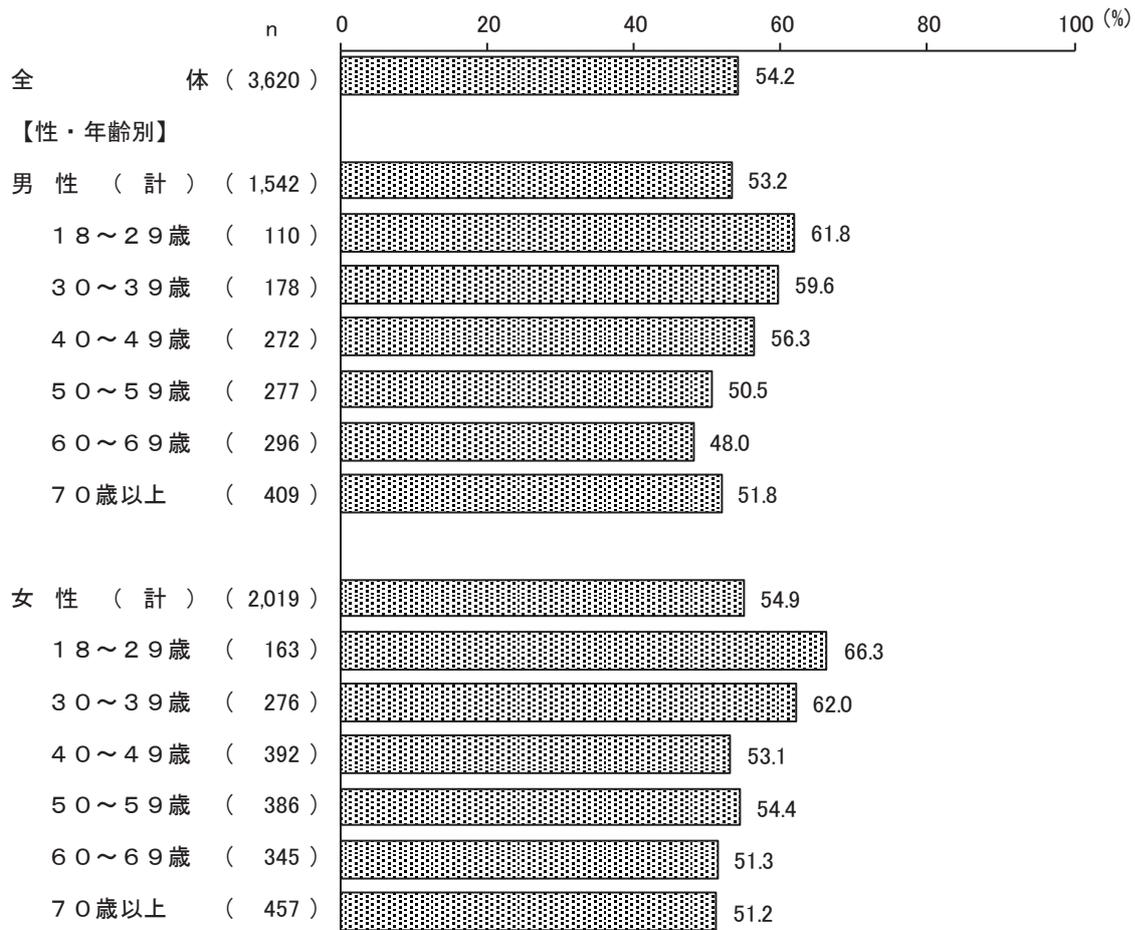


(7-1) 駅及び駅周辺の機能が強化されている [性・年齢別]

女性 18~29 歳が 6 割半ばで最も高い

「駅及び駅周辺の機能が強化されている」について、性・年齢別にみると、女性 18~29 歳 (66.3%) が 6 割半ばで男女全年代を通じ最も高く、次いで女性 30 歳代 (62.0%) となっている。男性では、18~29 歳 (61.8%) が 6 割を超えて高い。

図 2-15 駅及び駅周辺の機能が強化されている [性・年齢別] (複数回答)

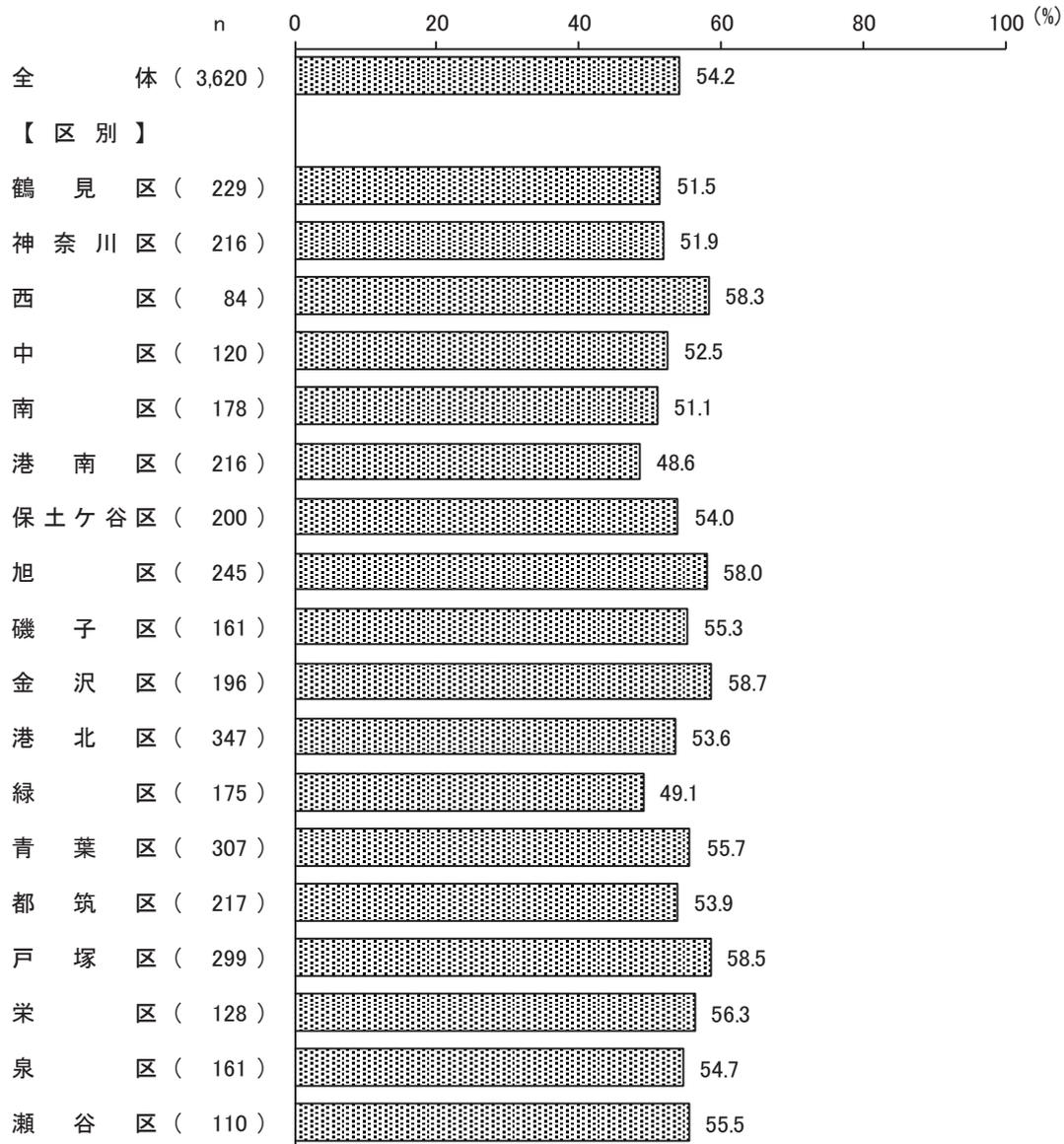


(7-2) 駅及び駅周辺の機能が強化されている [区別]

金沢区が最も高い

「駅及び駅周辺の機能が強化されている」について、区別にみると、金沢区 (58.7%) が最も高く、次いで戸塚区 (58.5%)、西区 (58.3%)、旭区 (58.0%) となっている。

図 2-16 駅及び駅周辺の機能が強化されている [区別] (複数回答)

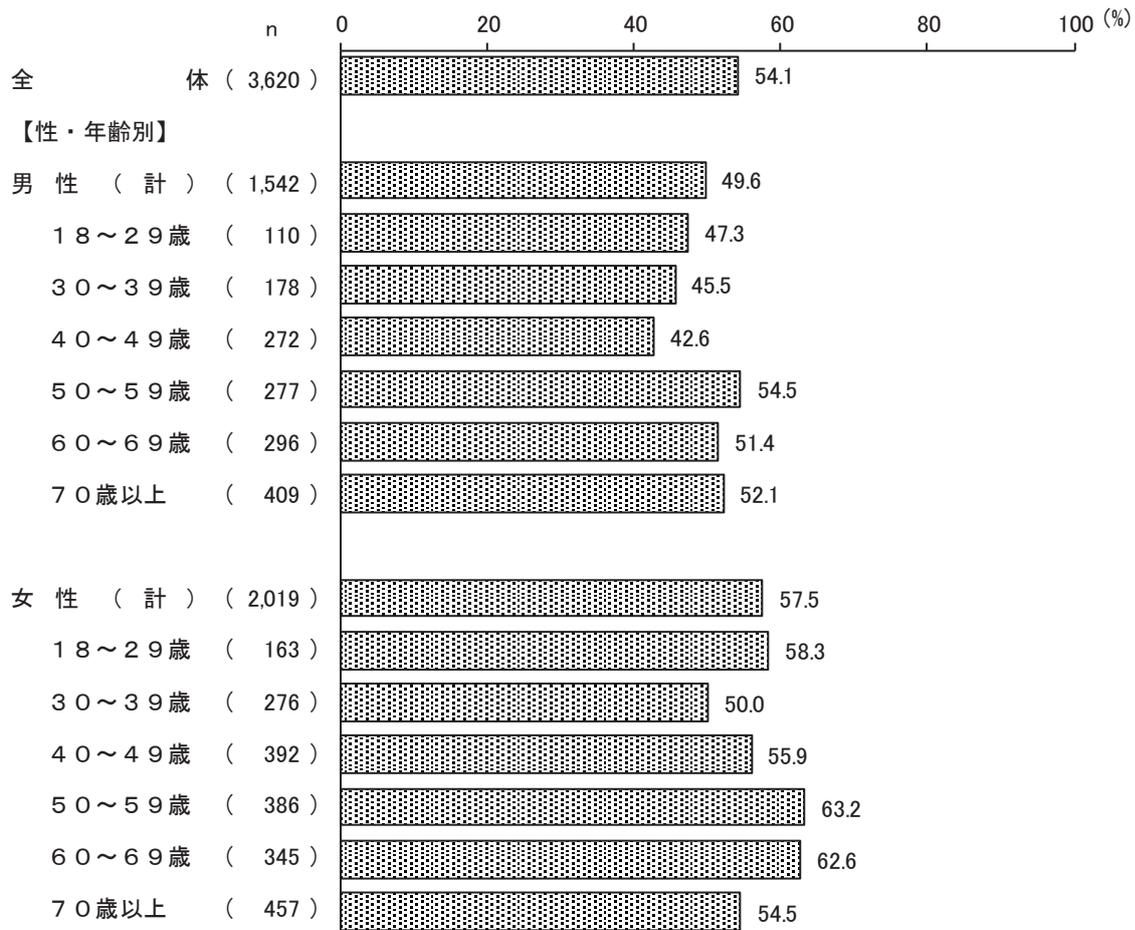


(8-1) 健康で自立した生活を継続している [性・年齢別]

女性 50 歳代、60 歳代で 6 割を超える

「健康で自立した生活を継続している」について、性・年齢別にみると、女性 50 歳代 (63.2%)、60 歳代 (62.6%) が 6 割を超えて高くなっている。男性では、40 歳代 (42.6%) が 4 割前半と低くなっている。

図 2-17 健康で自立した生活を継続している [性・年齢別] (複数回答)

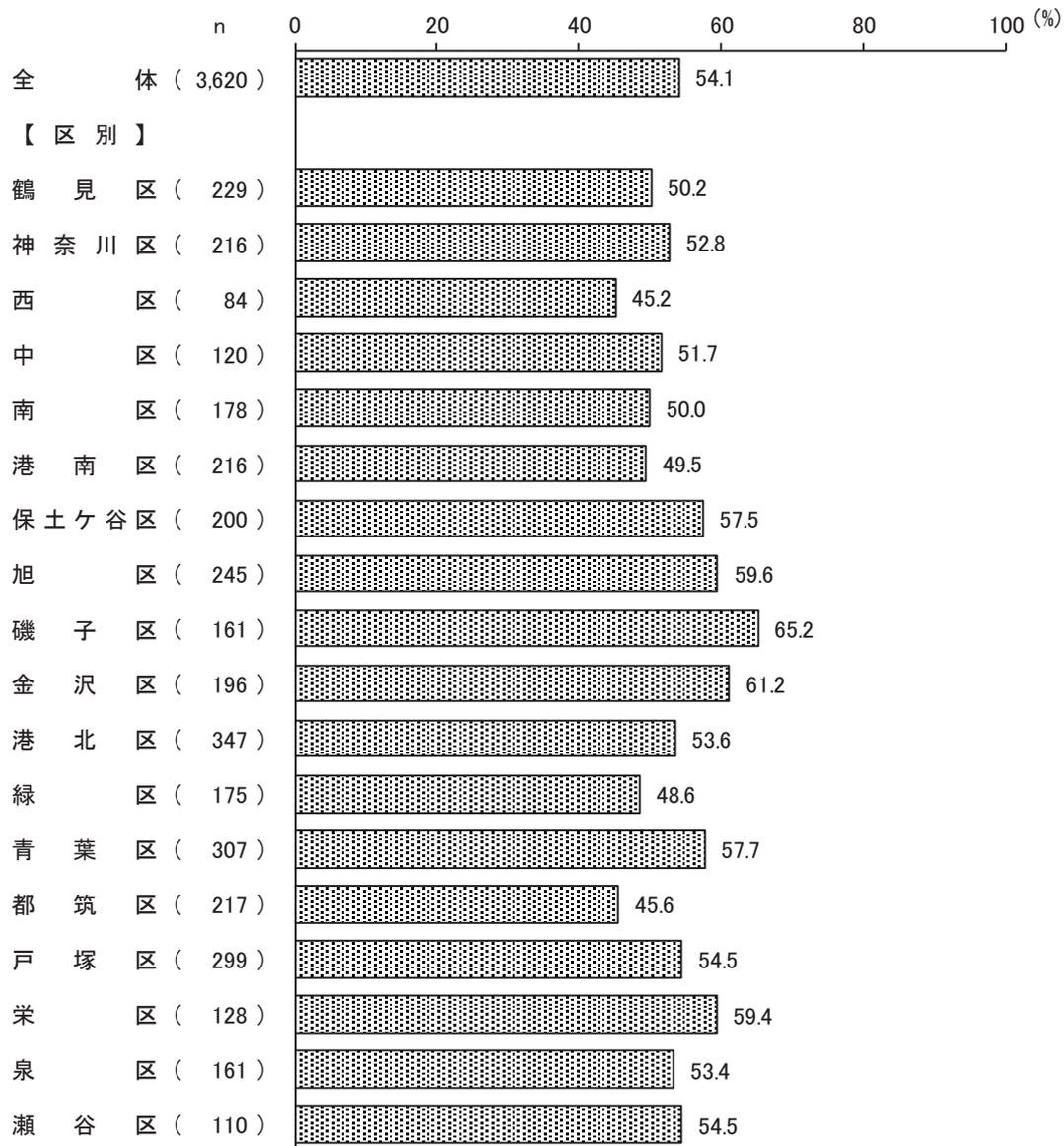


(8-2) 健康で自立した生活を継続している [区別]

磯子区が最も高い

「健康で自立した生活を継続している」について、区別にみると、磯子区(65.2%)が最も高く、次いで金沢区(61.2%)、旭区(59.6%)、栄区(59.4%)となっている。

図2-18 健康で自立した生活を継続している [区別] (複数回答)



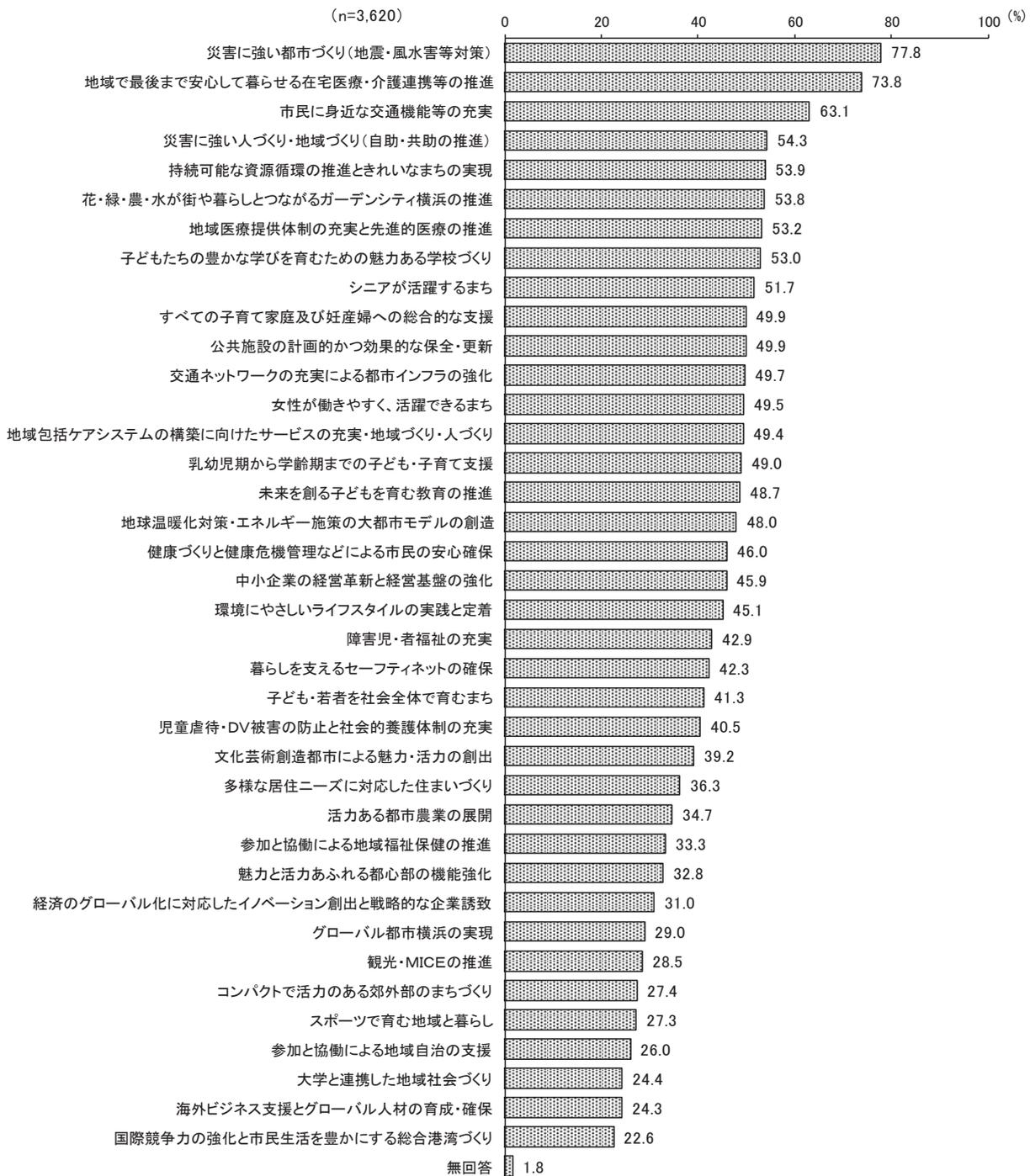
3. 市が取り組むべきだと思うもの

問3 前ページまででお答えいただいた「なっしてほしい未来のまち」を実現するために、横浜市が取り組んでいくといいと思うものは次のうちのどれですか。以下の「新たな中期計画の基本的方向」の38の政策のうち、取り組むべきだと思うものすべてに○をつけてください。

「災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策）」が1位

横浜市が取り組んでいくといいと思うものについて聞いたところ、「災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策）」（77.8%）が7割半ばで最も高く、次いで「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」（73.8%）となっており、この2項目が7割を超えている。以下、「市民に身近な交通機能等の充実」（63.1%）が6割台、「災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進）」（54.3%）、「持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの実現」（53.9%）、「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」（53.8%）、「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」（53.2%）、「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」（53.0%）、「シニアが活躍するまち」（51.7%）が5割台で続いている。

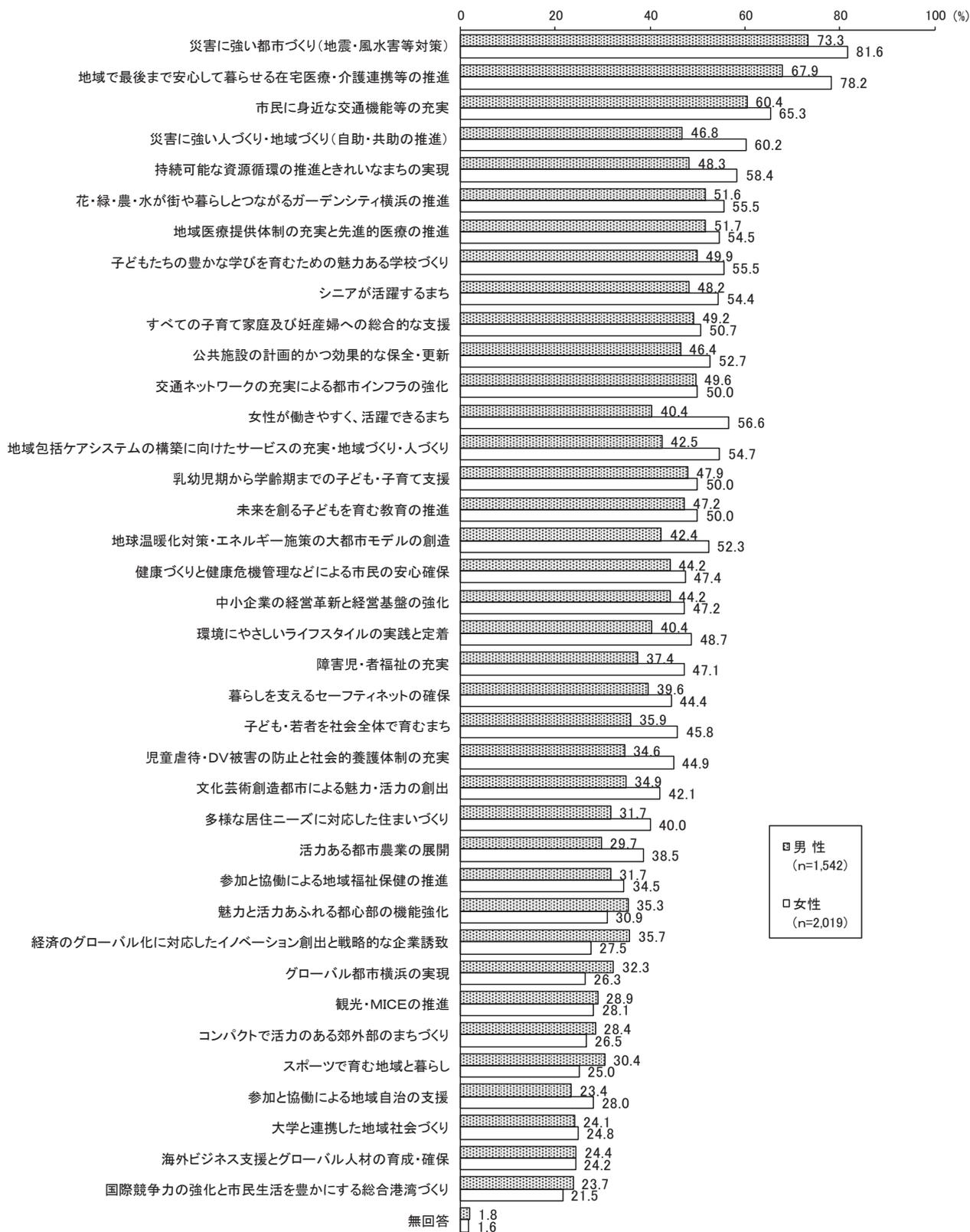
図3-1 市が取り組むべきだと思うもの [全体] (複数回答)



「災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策）」、「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」、「市民に身近な交通機能等の充実」などは女性の方が高い

男女別にみると、「災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策）」、「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」、「市民に身近な交通機能等の充実」などの上位項目をはじめ、女性の方が割合が高い項目が多くなっている。男性の方が割合が高い項目としては、「魅力と活力あふれる都心部の機能強化」、「経済のグローバル化に対応したイノベーション創出と戦略的な企業誘致」、「グローバル都市横浜の実現」などとなっている。

図3-2 市が取り組むべきだと思うもの〔男女別〕（複数回答）



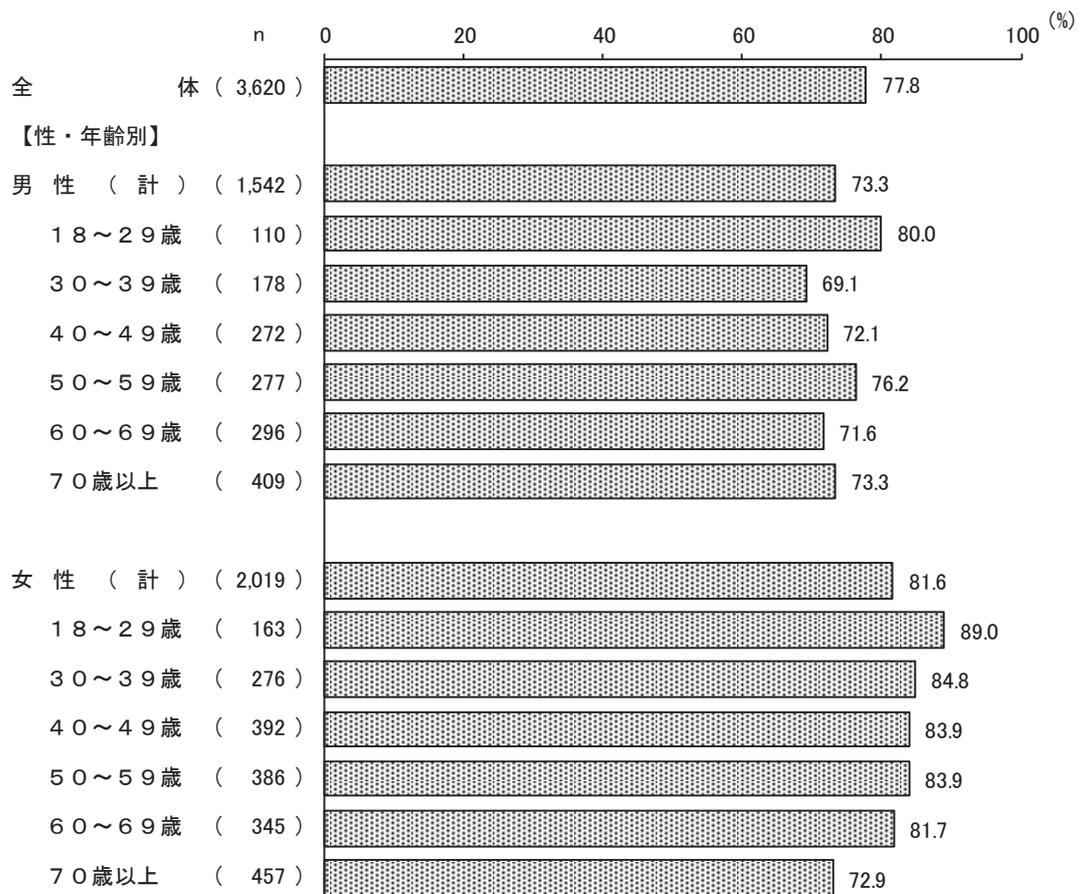
当設問の回答上位8項目について、次ページ以降に性・年齢別、区別の分析を掲載する。

(1-1) 災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策） [性・年齢別]

女性 18～29 歳が 9 割近くで最も高い

「災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策）」について、性・年齢別にみると、女性 18～29 歳（89.0%）が 9 割近くで男女全年代を通じ最も高くなっている。男性では、18～29 歳（80.0%）が 8 割と高くなっている。

図 3-3 災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策） [性・年齢別]（複数回答）

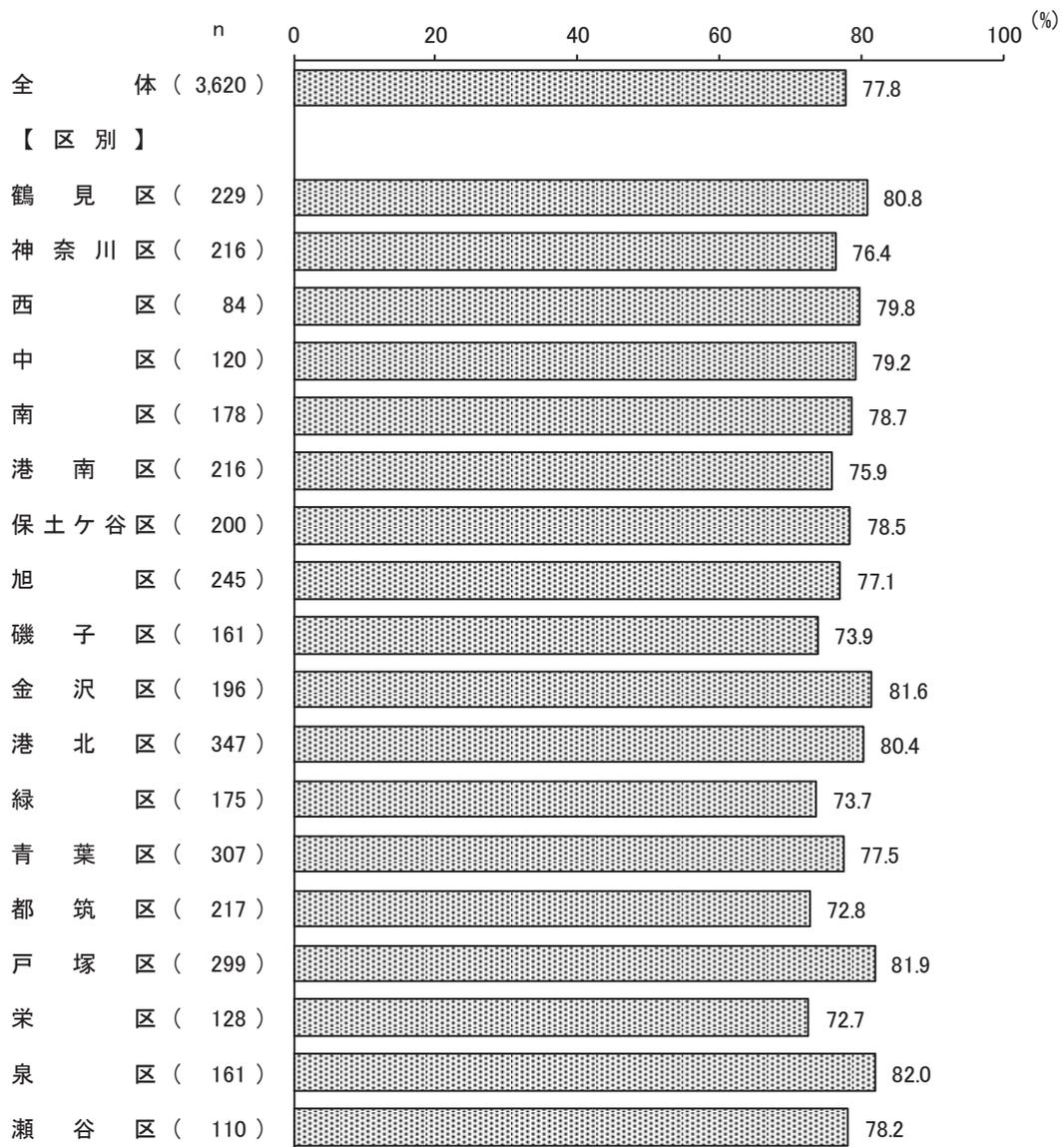


(1-2) 災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策） [区別]

泉区が最も高い

「災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策）」について、区別にみると、泉区（82.0%）が最も高く、次いで戸塚区（81.9%）、金沢区（81.6%）、鶴見区（80.8%）、港北区（80.4%）となっている。

図3-4 災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策） [区別]（複数回答）

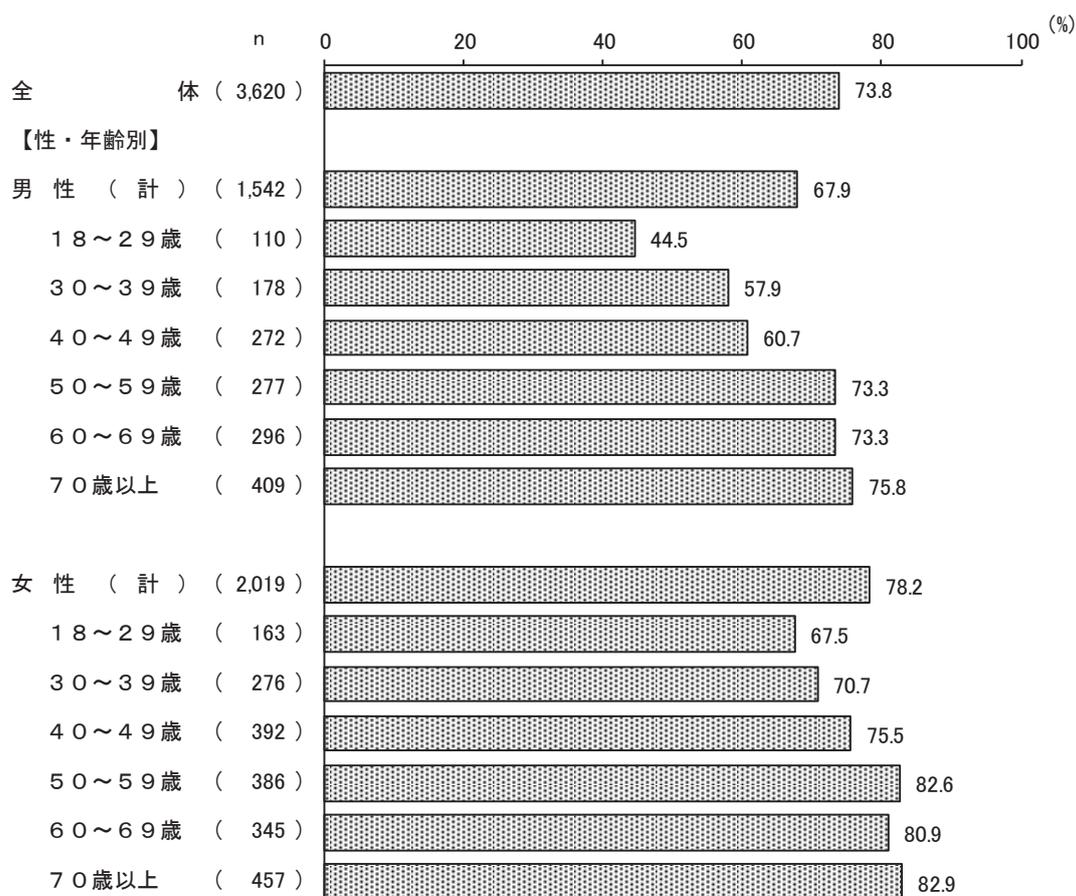


(2-1) 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進 [性・年齢別]

男女ともおおむね年代が高いほど割合が高い

「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」について、性・年齢別にみると、女性 70 歳以上 (82.9%) で男女全年代を通じて最も高くなっている。また、男女ともおおむね年代が高いほど割合が高い傾向となっている。

図 3-5 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進 [性・年齢別] (複数回答)

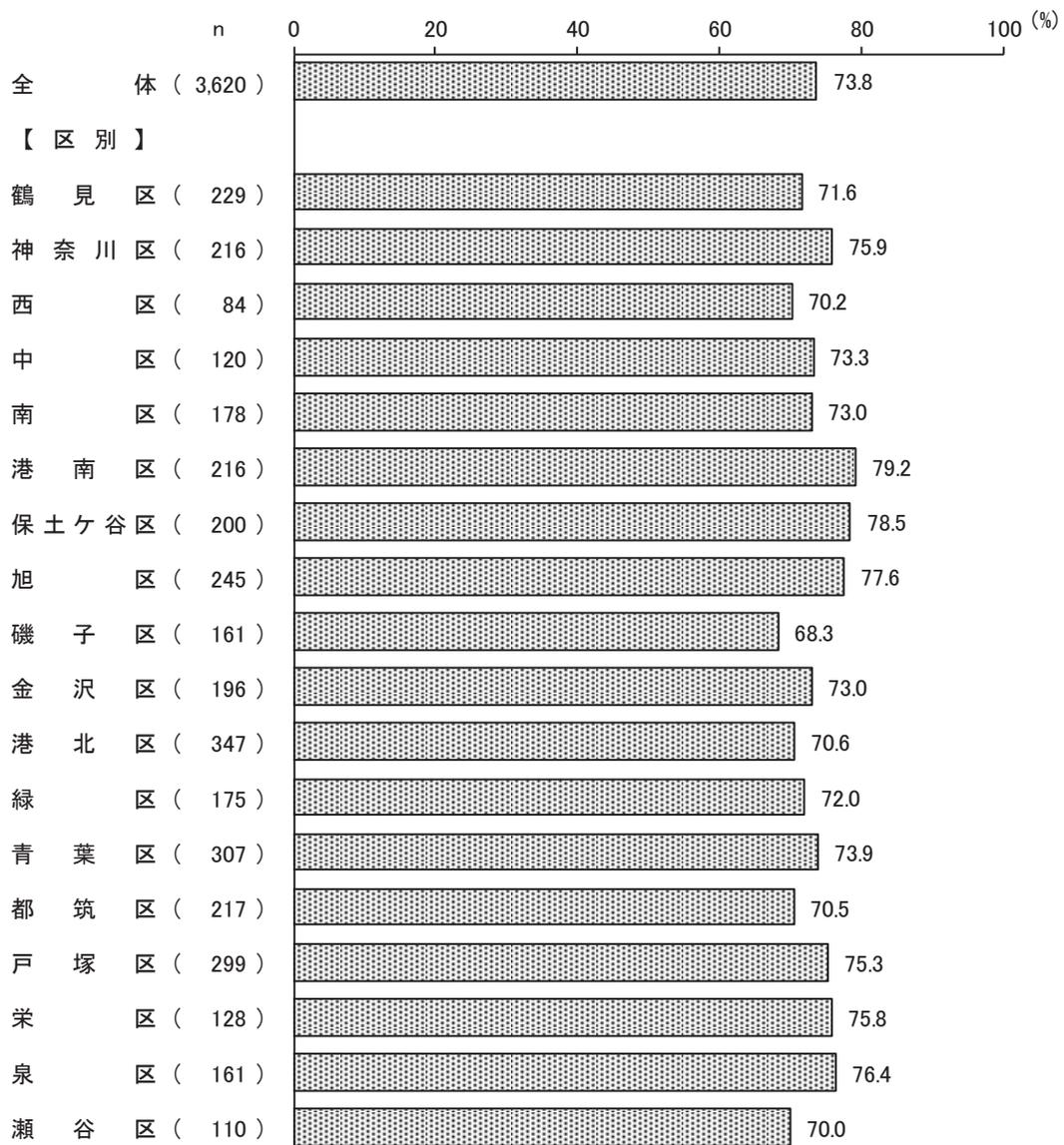


(2-2) 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進 [区別]

港南区が最も高い

「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進」について、区別にみると、港南区（79.2%）が最も高く、次いで保土ヶ谷区（78.5%）、旭区（77.6%）、泉区（76.4%）、神奈川区（75.9%）、栄区（75.8%）、戸塚区（75.3%）となっている。

図3-6 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進 [区別] (複数回答)

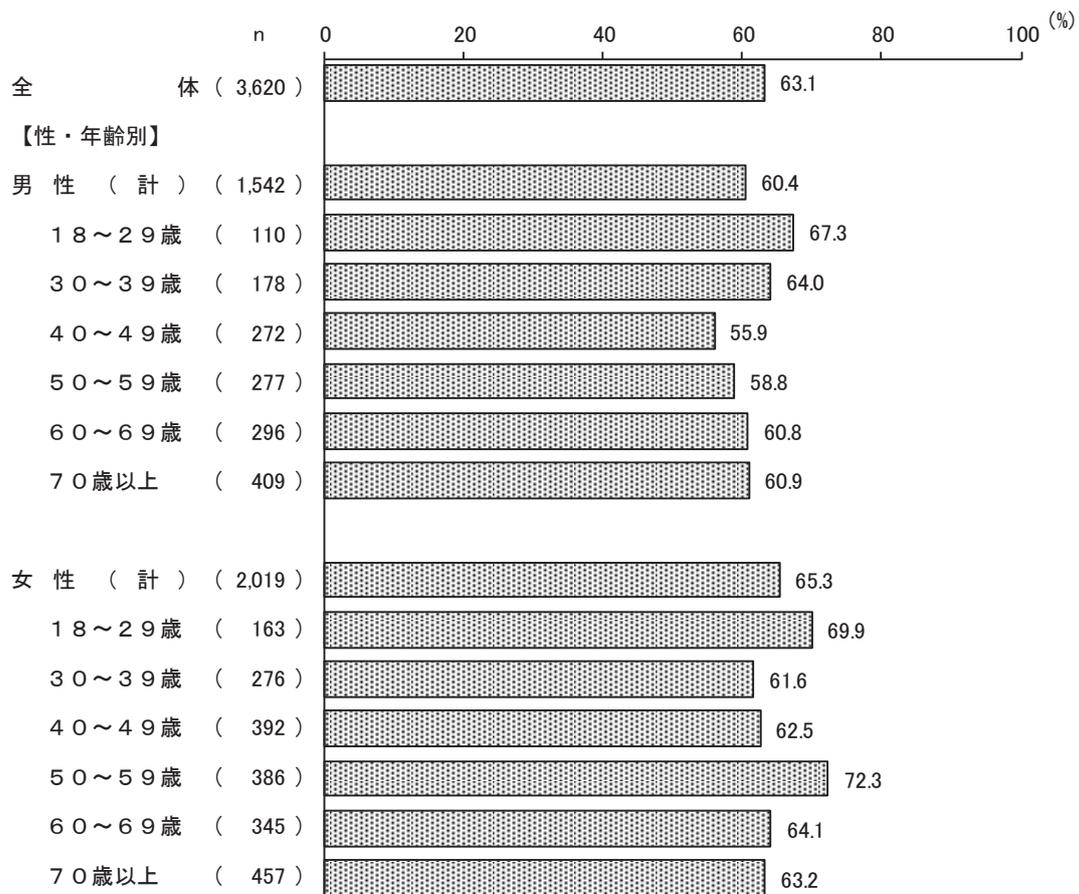


(3-1) 市民に身近な交通機能等の充実 [性・年齢別]

女性 50 歳代が 7 割を超えて最も高い

「市民に身近な交通機能等の充実」について、性・年齢別にみると、女性 50 歳代 (72.3%) が 7 割を超えて男女全年代を通じ最も高くなっている。男性では、40 歳代 (55.9%) が 5 割半ばとやや低くなっている。

図 3-7 市民に身近な交通機能等の充実 [性・年齢別] (複数回答)

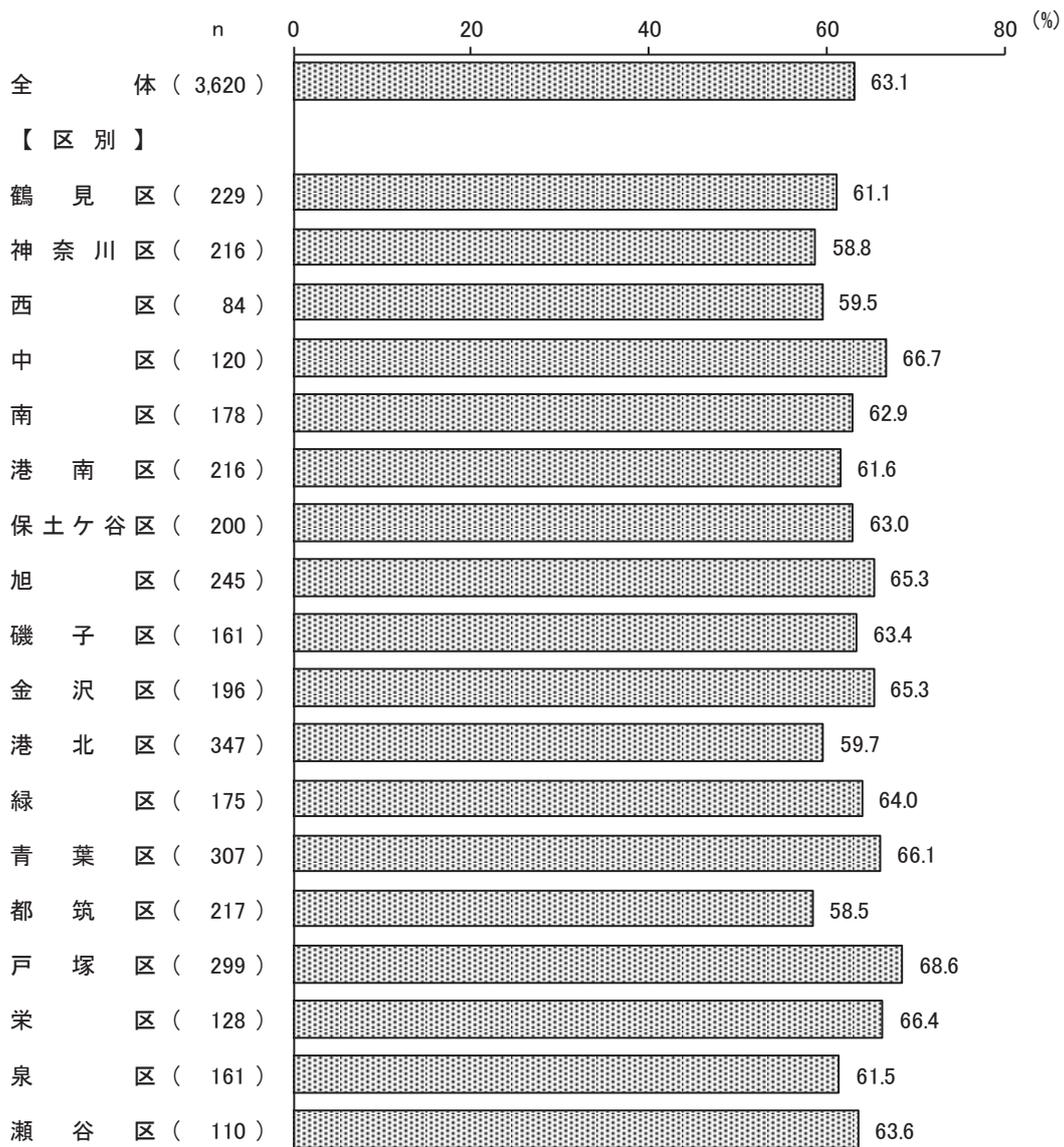


(3-2) 市民に身近な交通機能等の充実 [区別]

戸塚区が最も高い

「市民に身近な交通機能等の充実」について、区別にみると、戸塚区（68.6%）が最も高く、次いで中区（66.7%）、栄区（66.4%）、青葉区（66.1%）、旭区・金沢区（ともに65.3%）となっている。

図3-8 市民に身近な交通機能等の充実 [区別] (複数回答)

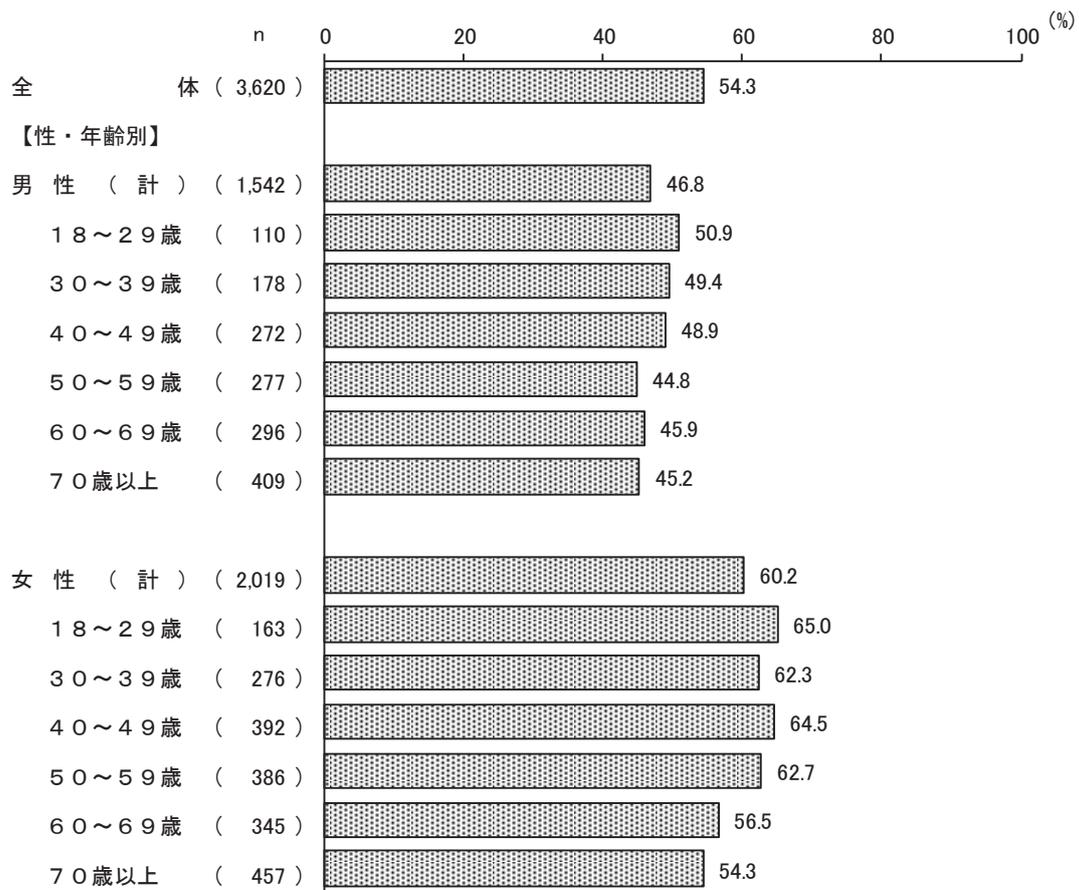


(4-1) 災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進） [性・年齢別]

女性 18～29 歳が最も高い

「災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進）」について、性・年齢別にみると、女性 18～29 歳（65.0%）が男女全年代を通じ最も高くなっている。男性では、18～29 歳（50.9%）が 5 割を超えて高い。

図 3-9 災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進） [性・年齢別]（複数回答）

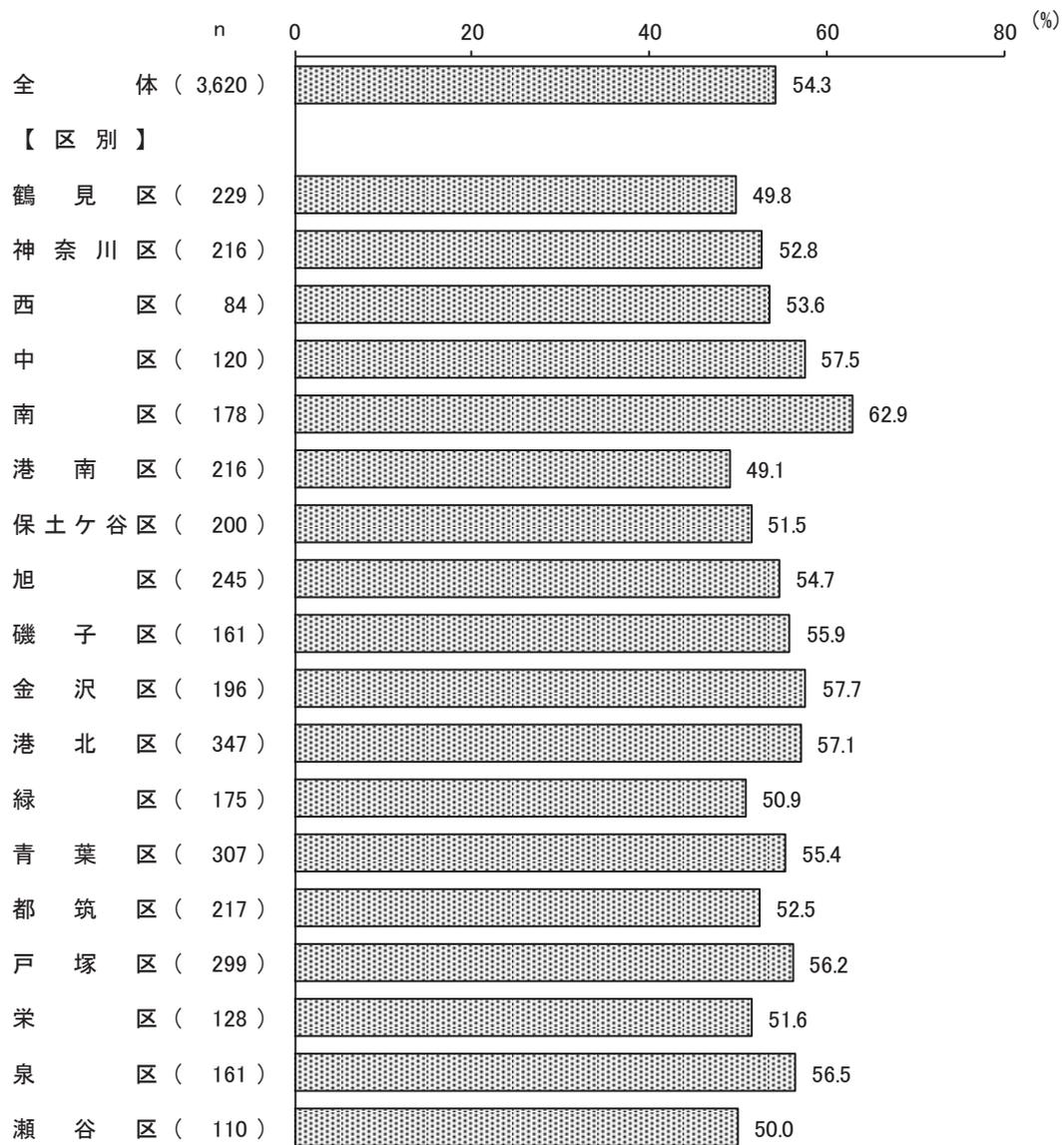


(4-2) 災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進） [区別]

南区が6割を超えて最も高い

「災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進）」について、区別にみると、南区（62.9%）が6割を超えて最も高く、次いで金沢区（57.7%）、中区（57.5%）、港北区（57.1%）となっている。

図3-10 災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進） [区別]（複数回答）

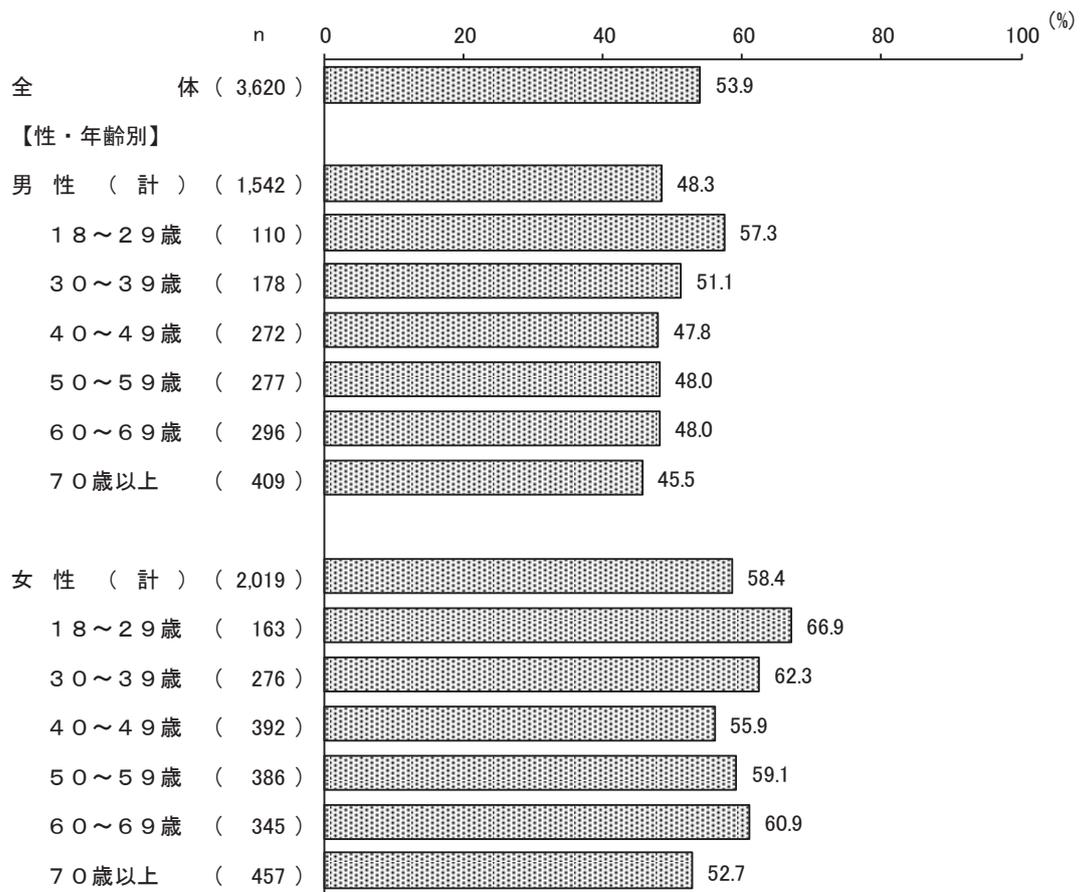


(5-1) 持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの実現 [性・年齢別]

女性 18～29 歳が 6 割半ばで最も高い

「持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの実現」について、性・年齢別にみると、女性 18～29 歳 (66.9%) が 6 割半ばで男女全年代を通じ最も高くなっている。男性では、18～29 歳 (57.3%) が 5 割半ばで最も高い。

図 3-11 持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの実現 [性・年齢別] (複数回答)

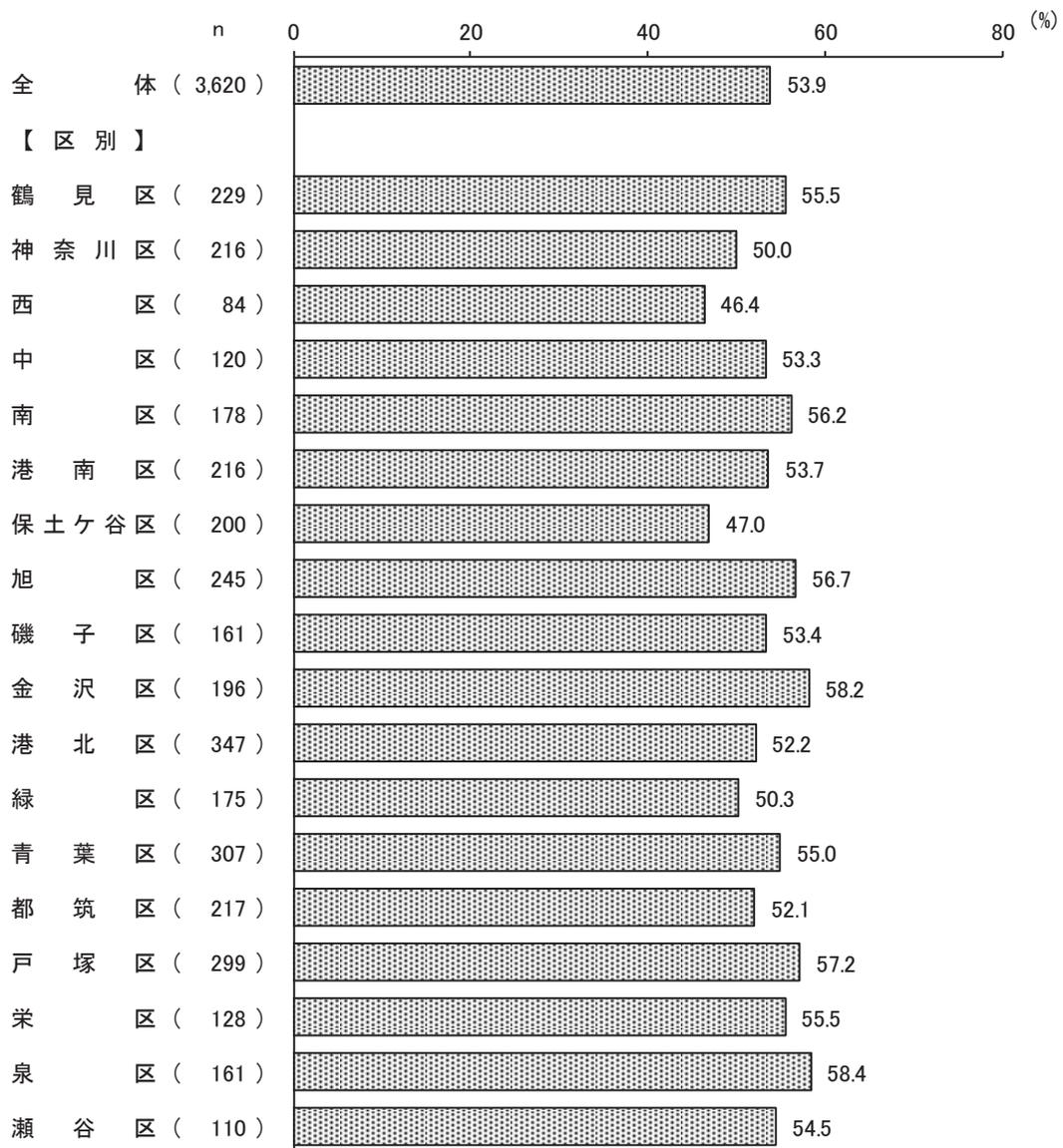


(5-2) 持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの実現 [区別]

泉区が最も高い

「持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの実現」について、区別にみると、泉区（58.4%）が最も高く、次いで金沢区（58.2%）、戸塚区（57.2%）となっている。

図3-12 持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの実現 [区別]（複数回答）

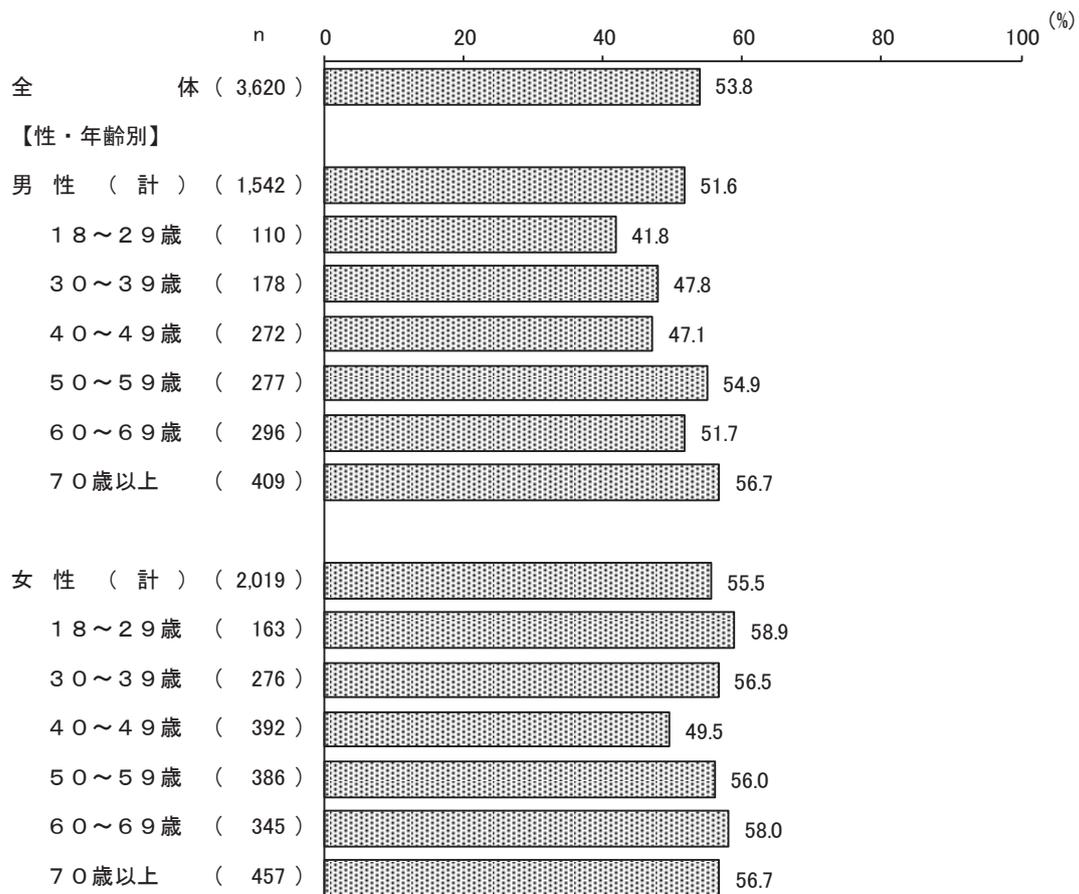


(6-1) 花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進 [性・年齢別]

女性 18～29 歳、60 歳代が 6 割近くで高い

「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」について、性・年齢別にみると、女性 18～29 歳 (58.9%)、60 歳代 (58.0%) が 6 割近くで高くなっている。男性では、18～29 歳 (41.8%) が 4 割前半と低くなっている。

図 3-13 花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進 [性・年齢別] (複数回答)

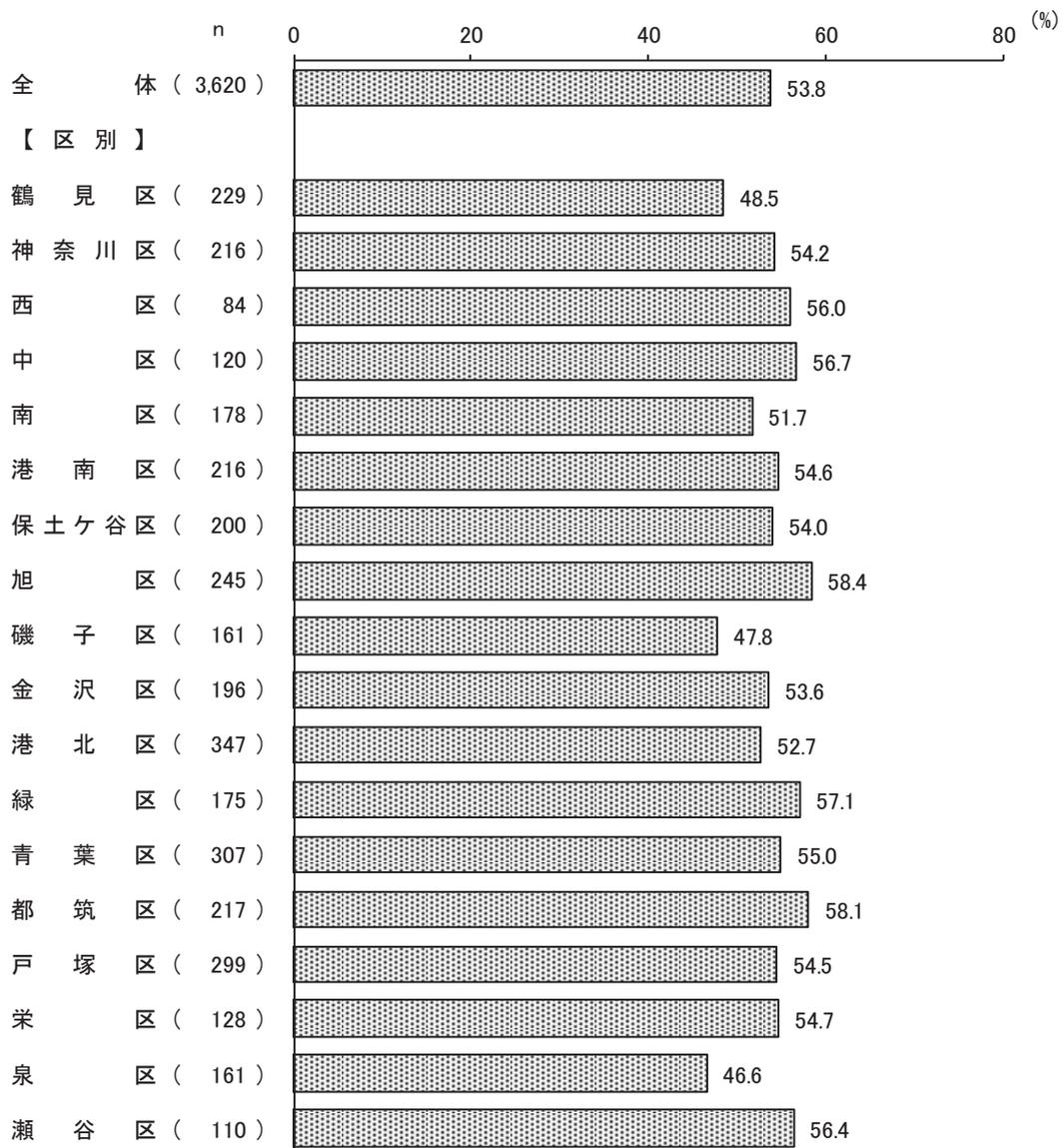


(6-2) 花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進 [区別]

旭区が最も高い

「花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進」について、区別にみると、旭区(58.4%)が6割近くで最も高く、次いで都筑区(58.1%)、緑区(57.1%)、中区(56.7%)、瀬谷区(56.4%)、西区(56.0%)となっている。

図3-14 花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進 [区別] (複数回答)

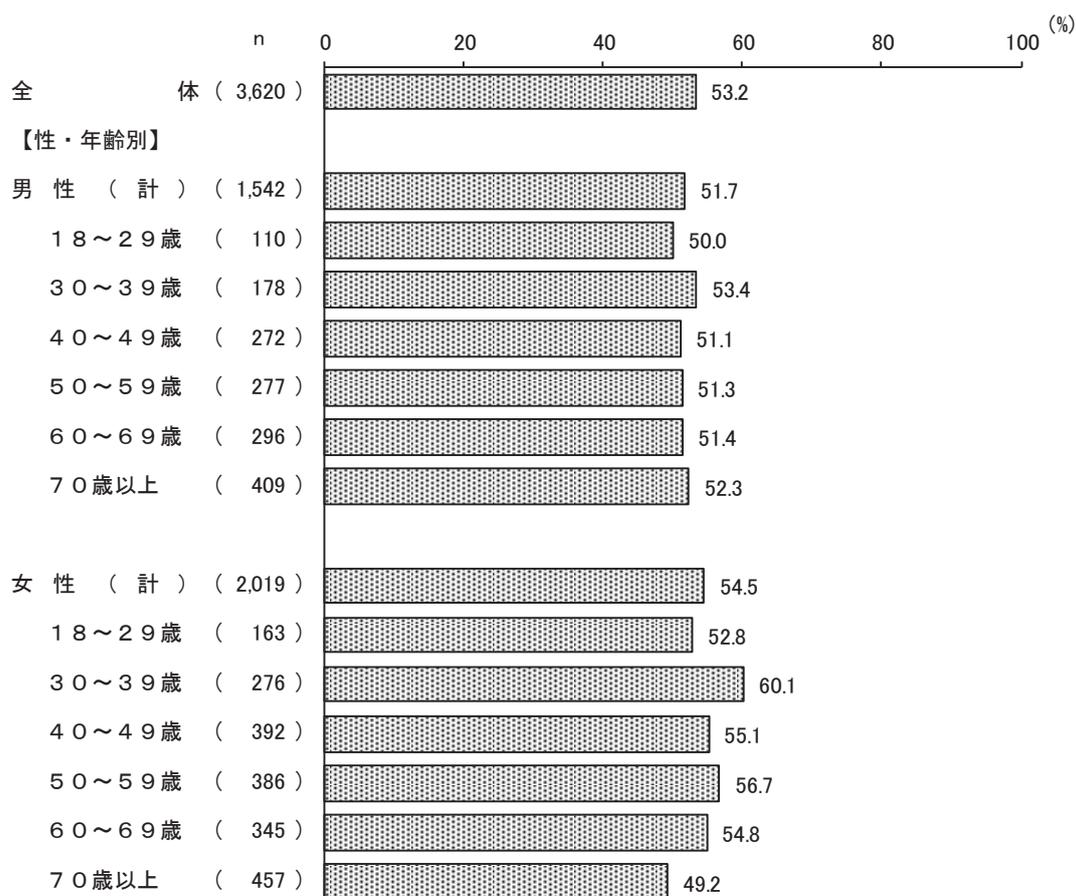


(7-1) 地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進 [性・年齢別]

女性 30 歳代が 6 割を超えて最も高い

「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」について、性・年齢別にみると、女性 30 歳代 (60.1%) が 6 割を超えて男女全年代を通じて最も高くなっている。また、女性 70 歳以上 (49.2%) が 4 割台とやや低くなっている。

図 3-15 地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進 [性・年齢別] (複数回答)

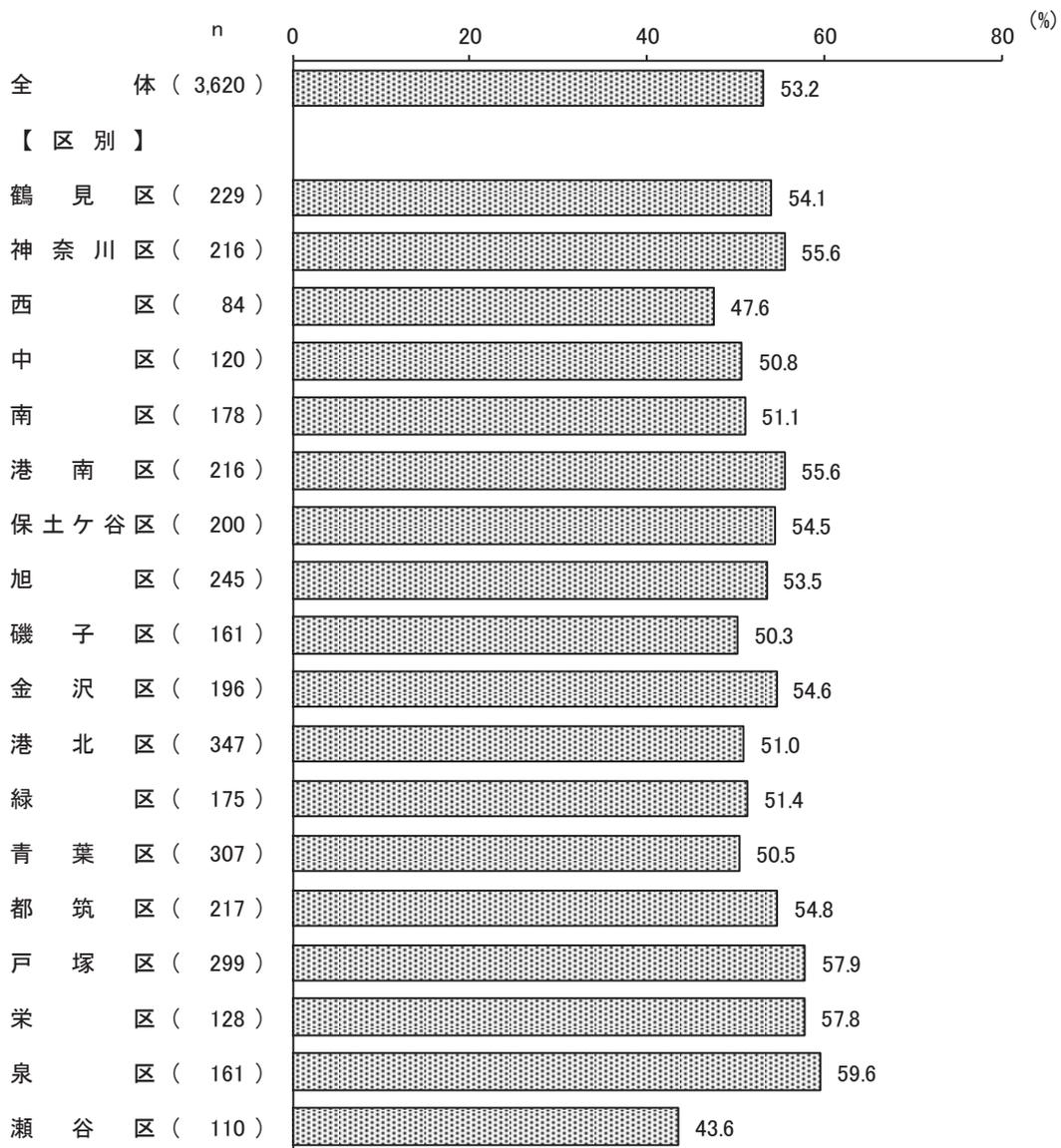


(7-2) 地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進 [区別]

泉区が6割近くで高い

「地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進」について、区別にみると、泉区（59.6%）が6割近くで最も高く、次いで戸塚区（57.9%）、栄区（57.8%）となっている。

図3-16 地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進 [区別]（複数回答）

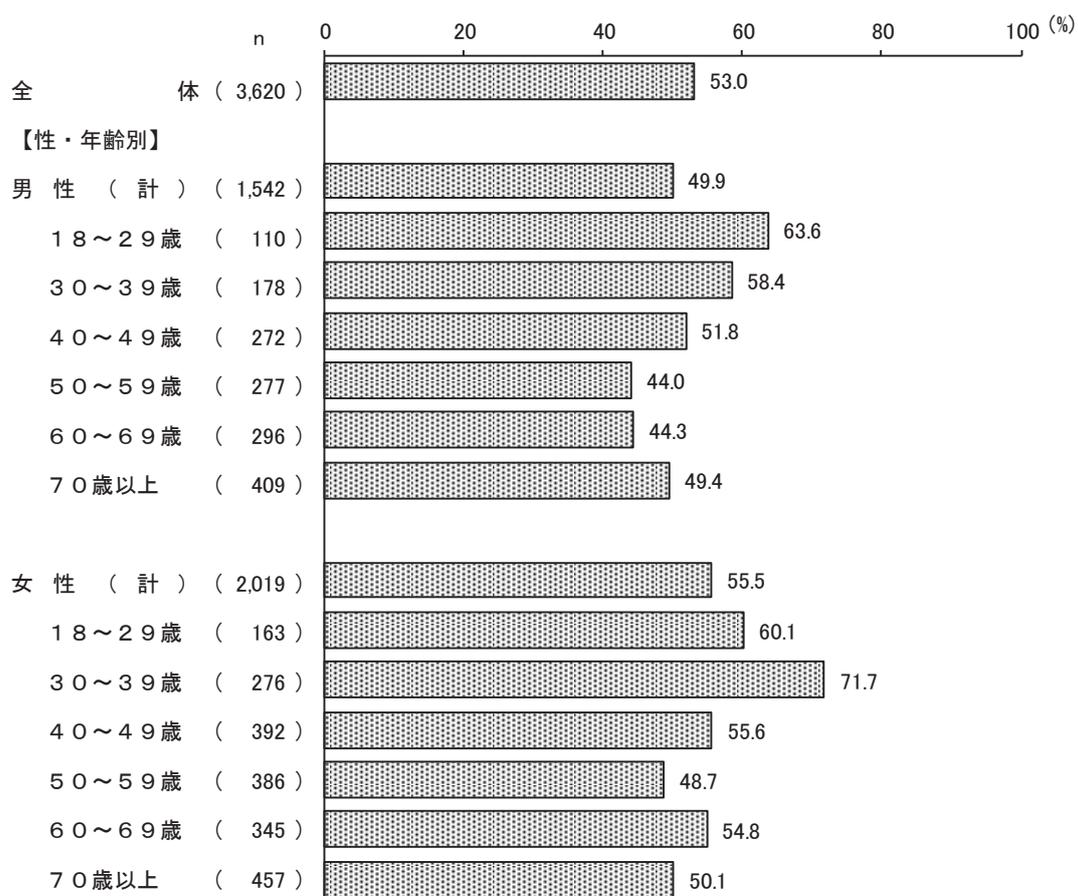


(8-1) 子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり [性・年齢別]

女性 30 歳代が 7 割を超えて最も高い

「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」について、性・年齢別にみると、女性 30 歳代 (71.7%) が 7 割を超えて男女全年代を通じ最も高くなっている。男性では、18~29 歳 (63.6%) が 6 割を超えて高くなっている。

図 3-17 子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり [性・年齢別] (複数回答)

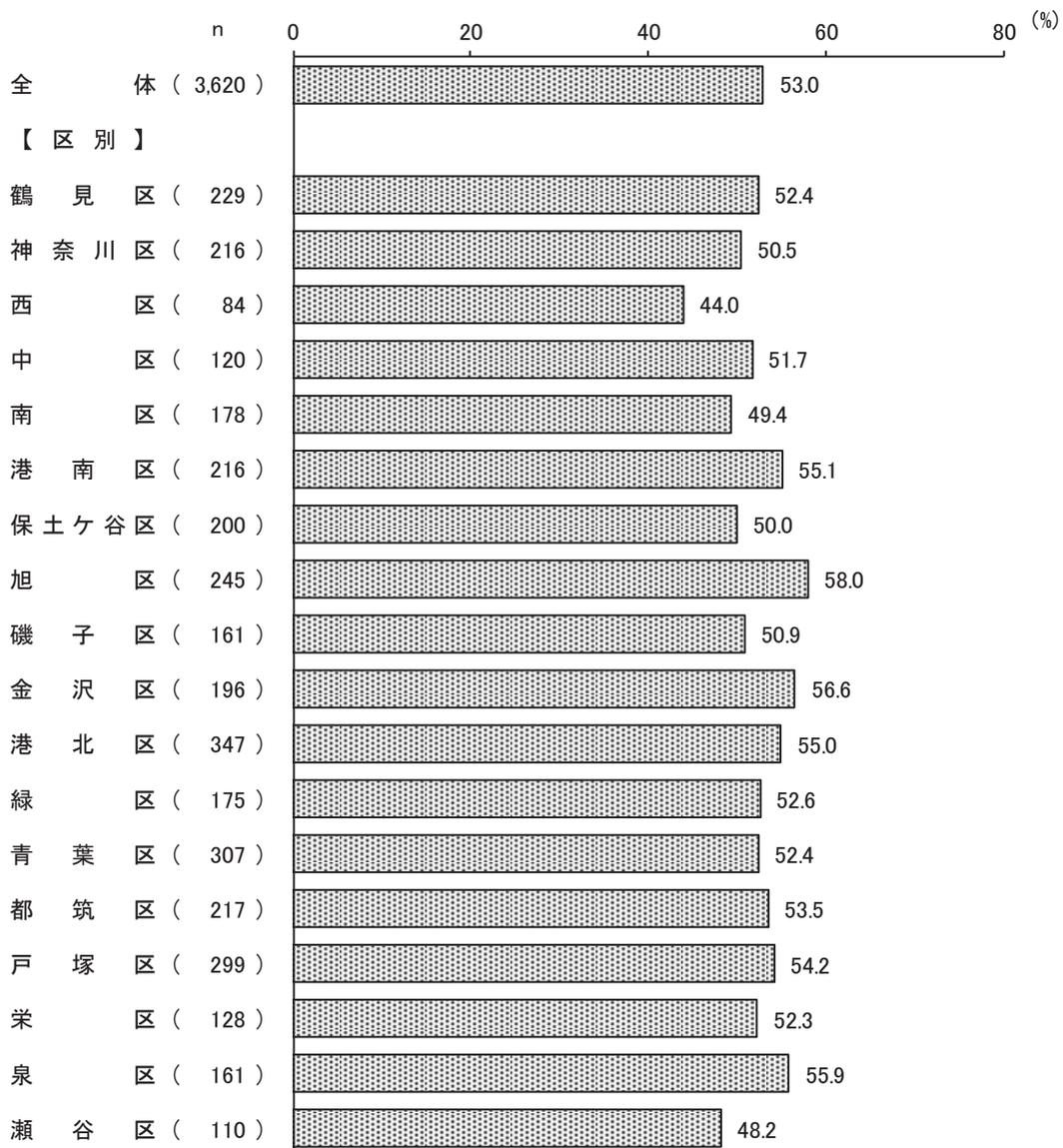


(8-2) 子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり [区別]

旭区が6割近くで最も高い

「子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり」について、区別にみると、旭区（58.0%）が6割近くで最も高く、次いで金沢区（56.6%）、泉区（55.9%）、港南区（55.1%）、港北区（55.0%）となっている。

図3-18 子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり [区別]（複数回答）



Ⅲ 青少年調査の結果

Ⅲ. 青少年調査の結果

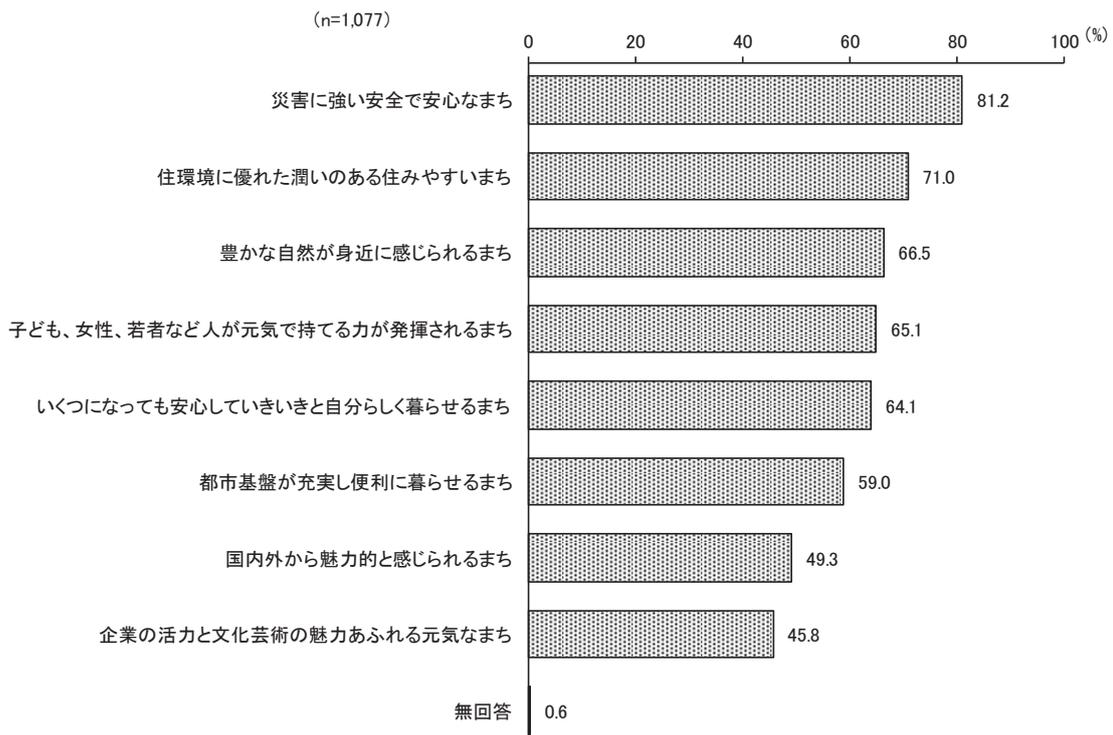
1. 未来の横浜の姿

問1 『新たな中期計画の基本的方向』では、以下の8つの「未来の横浜の姿」をお示ししています。それぞれのまちのすがたについて「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。（いくつでも）

「災害に強い安全で安心なまち」が1位

中学生・高校生の世代の人に「そうなってほしい」と思う未来の横浜の姿について聞いたところ、「災害に強い安全で安心なまち」（81.2%）が8割を超え最も高く、次いで「住環境に優れた潤いのある住みやすいまち」（71.0%）が7割台となっている。以下、「豊かな自然が身近に感じられるまち」（66.5%）、「子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち」（65.1%）、「いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち」（64.1%）が6割台、「都市基盤が充実し便利に暮らせるまち」（59.0%）が5割台、「国内外から魅力的と感じられるまち」（49.3%）、「企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち」（45.8%）が4割台で続いている。

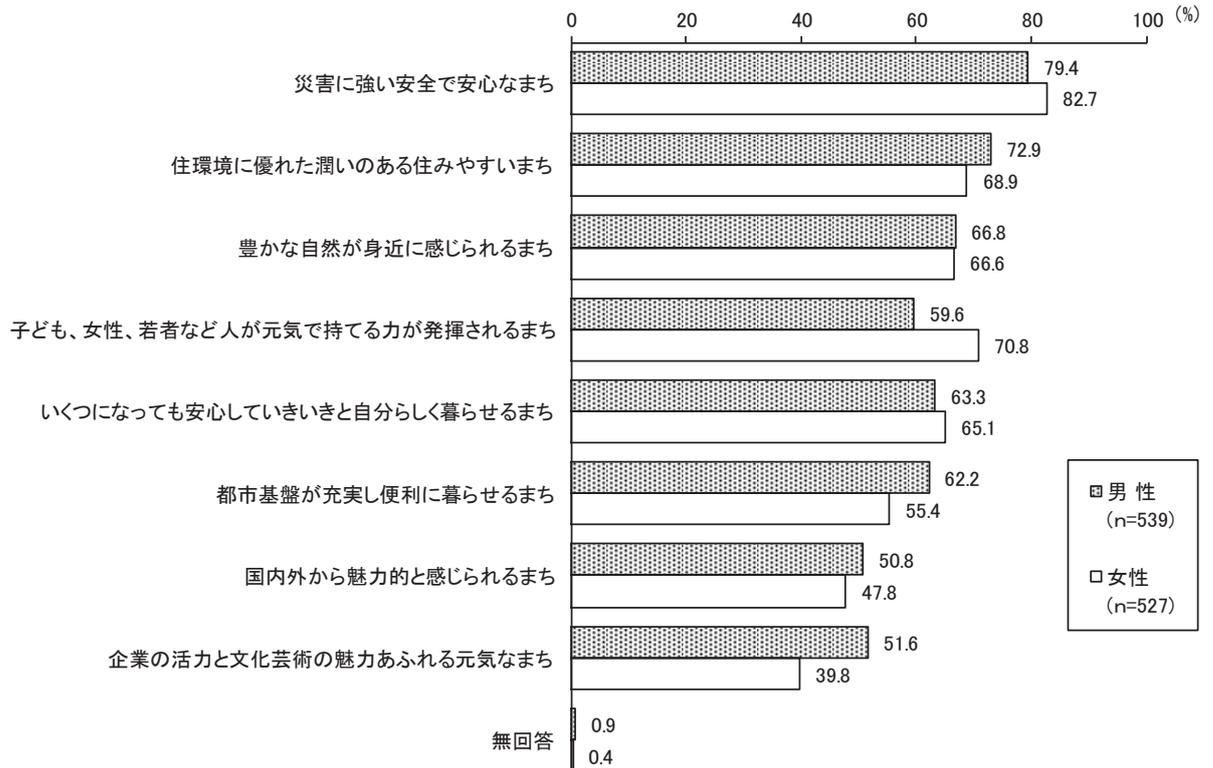
図4-1 未来の横浜の姿 [全体]（複数回答）



「災害に強い安全で安心なまち」、「子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち」、「いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち」は女性で高い

男女別にみると、「災害に強い安全で安心なまち」、「子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち」、「いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち」は女性で高く、「住環境に優れた潤いのある住みやすいまち」、「都市基盤が充実し便利に暮らせるまち」、「国内外から魅力的と感じられるまち」、「企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち」は男性で高くなっている。

図4-2 未来の横浜の姿 [男女別] (複数回答)

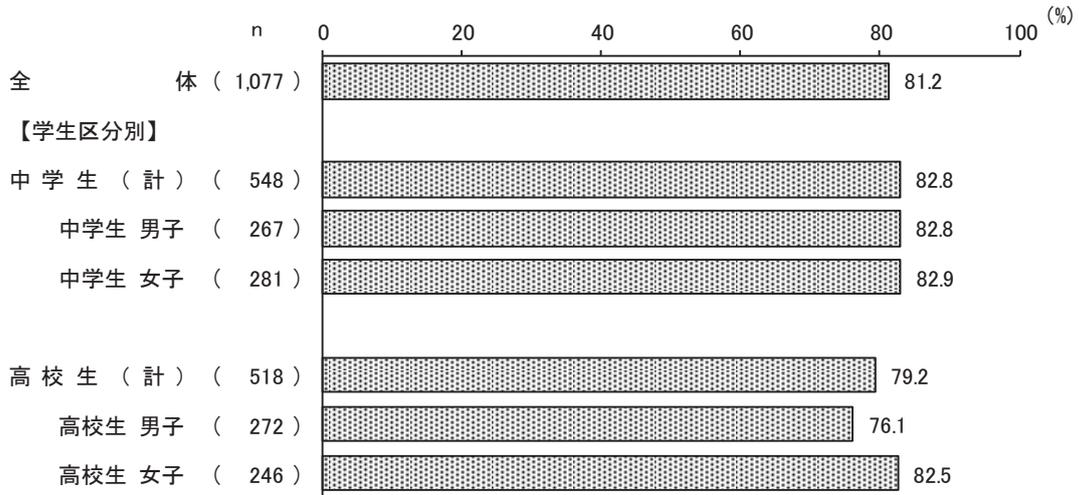


(1) 災害に強い安全で安心なまち [学生区分別]

高校生男子が他に比べやや低い

「災害に強い安全で安心なまち」について、学生区分別にみると、高校生男子（76.1%）が他に比べやや低くなっている。

図 4-3 災害に強い安全で安心なまち [学生区分別] (複数回答)

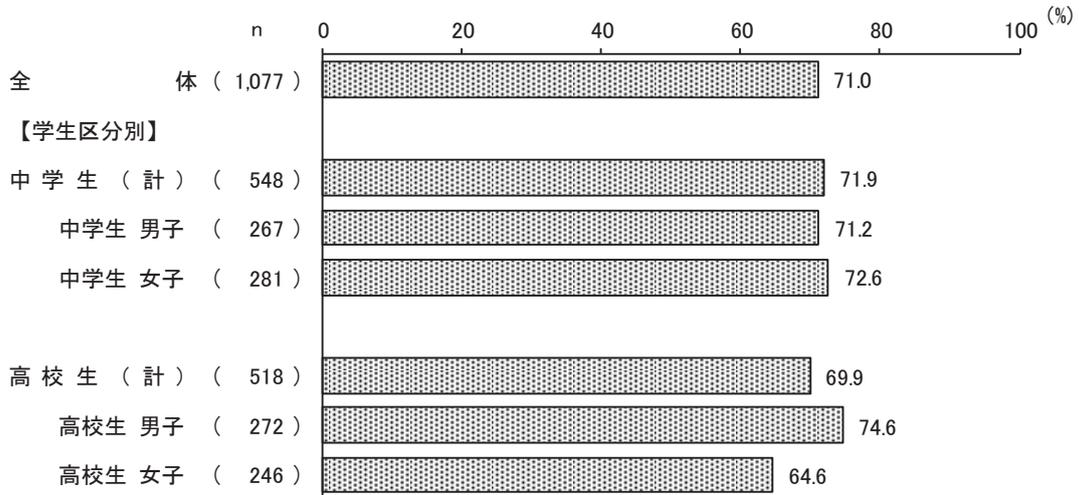


(2) 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち [学生区分別]

高校生女子が他に比べやや低い

「住環境に優れた潤いのある住みやすいまち」について、学生区分別にみると、高校生女子(64.6%)が他に比べやや低くなっている。

図4-4 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち [学生区分別] (複数回答)

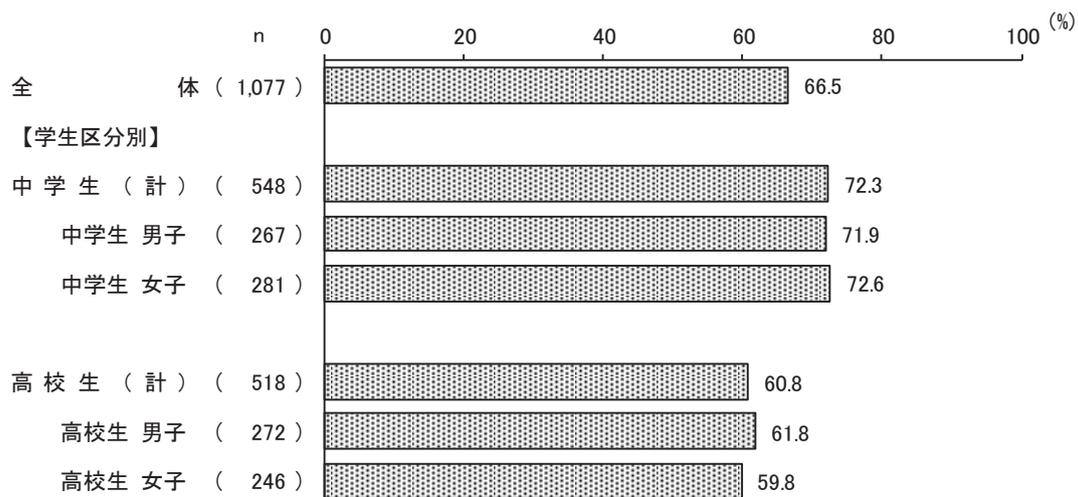


(3) 豊かな自然が身近に感じられるまち [学生区分別]

中学生は7割台、高校生は6割前後

「豊かな自然が身近に感じられるまち」について、学生区分別にみると、中学生は男女とも7割台、高校生は男女とも6割前後と、中学生と高校生で差がみられる。

図4-5 豊かな自然が身近に感じられるまち [学生区分別] (複数回答)

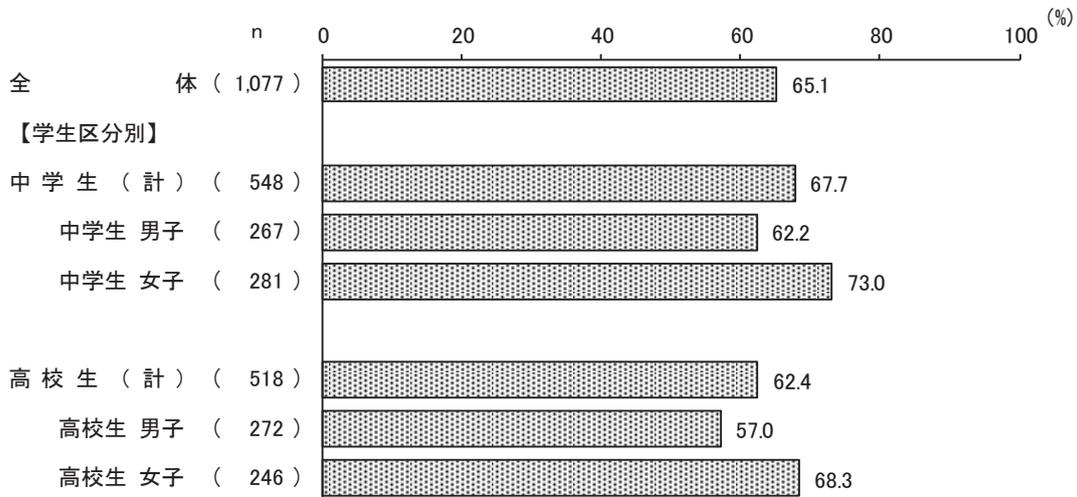


(4) 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち [学生区分別]

中高生ともに女子が高い

「子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち」について、学生区分別にみると、中高生ともに男子より女子で割合が高く、中学生女子（73.0%）は7割を超えている。

図4-6 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち [学生区分別]（複数回答）

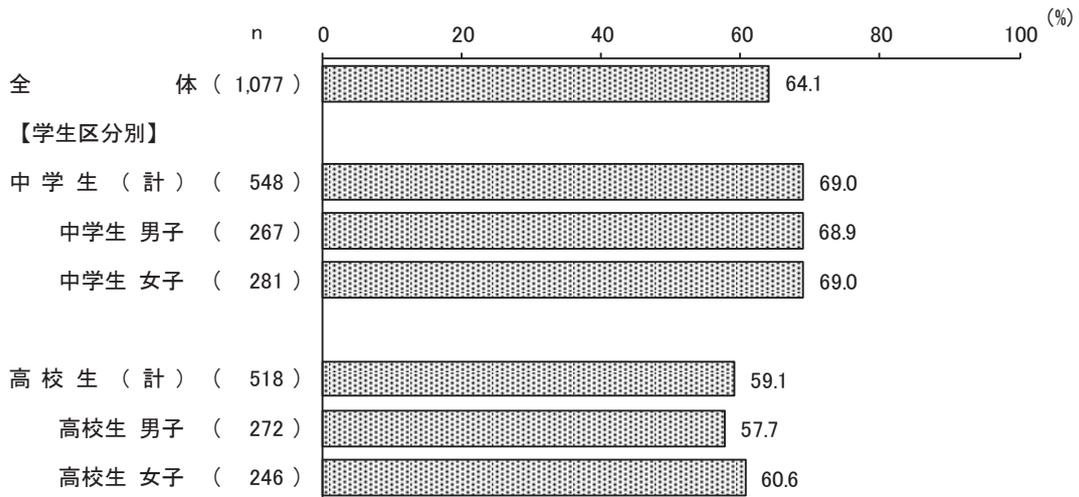


(5) いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち [学生区分別]

中学生は7割弱、高校生は6割前後

「いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち」について、学生区分別にみると、中学生は男女とも7割弱、高校生は男女とも6割前後と、中学生と高校生で差がみられる。

図4-7 いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち [学生区分別] (複数回答)

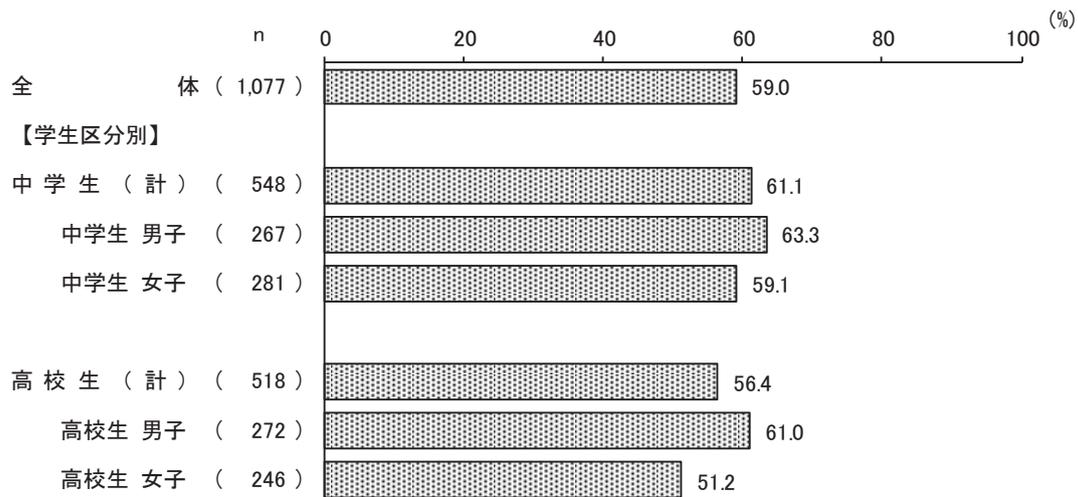


(6) 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち[学生区分別]

中高生ともに男子が高い

「都市基盤が充実し便利に暮らせるまち」について、学生区分別にみると、中高生ともに女子より男子で割合が高くなっている。

図4-8 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち [学生区分別] (複数回答)

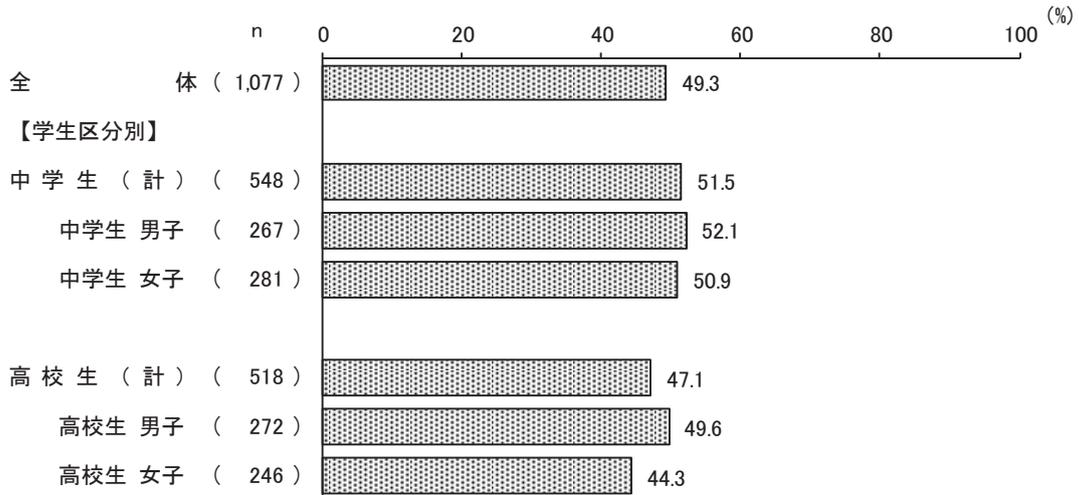


(7) 国内外から魅力的と感じられるまち〔学生区分別〕

高校生女子が他に比べやや低い

「国内外から魅力的と感じられるまち」について、学生区分別にみると、高校生女子（44.3%）が他に比べやや低くなっている。

図4-9 国内外から魅力的と感じられるまち〔学生区分別〕（複数回答）

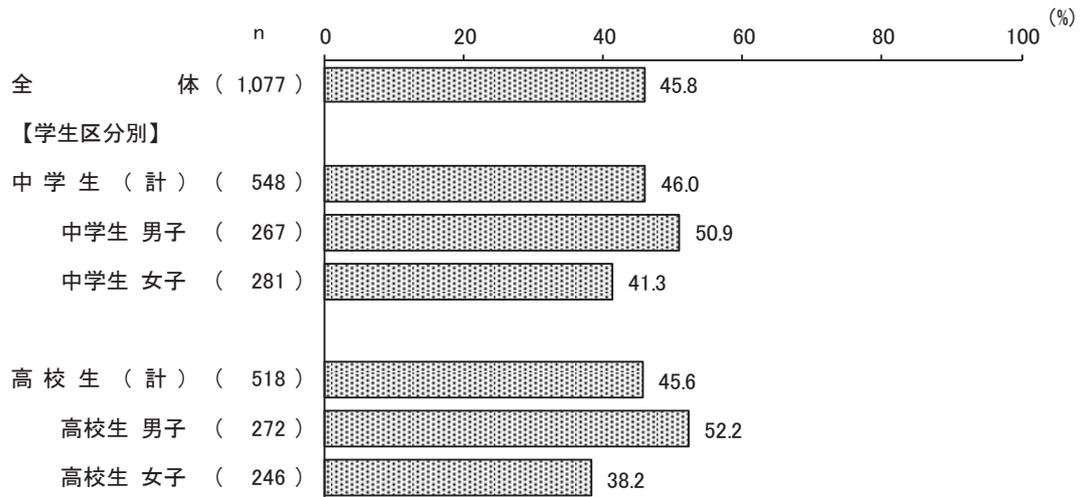


(8) 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち [学生区分別]

中高生ともに男子が高い

「企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち」について、学生区分別にみると、中高生ともに女子より男子で割合が高くなっている。

図4-10 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち [学生区分別] (複数回答)



IV 調査票・単純集計結果

IV. 調査票・単純集計結果

(1) 一般調査 [単位：％，基数(N)表記のないものはN=3,620]

『未来の横浜』を一緒に 描いていきましょう！

～「未来の横浜」アンケート～

日ごろから、横浜市のご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。これは、平成 30 年度からの4年間の市の中期計画の考え方や骨子をお示したもので、今年の秋ごろの計画策定に向けて、検討を進めてまいります。

この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、「新たな中期計画の基本的方向」の未来のまちの姿やこれから必要となる取組などについて皆さまの考えをおたずねします。

回答は 10 分程度で終わる簡潔なものですので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

横浜市政策局

<記入にあたってのお願い>

- ① このアンケートは市内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為抽出した 1 万人の方にお送りしています。
- ② アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
- ③ このアンケートは、封筒の宛名のご本人様にご回答ください。(ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。)
- ④ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向」概要版や、**横浜市**のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向」も必要に応じてご覧ください。(http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2018-/))
- ⑤ 回答の統計的結果や自由回答で記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。
- ⑥ 個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理します。
- ⑦ ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、**平成 30 年 2 月 19 日(月)**までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

◆調査主体:横浜市 政策局 政策部 政策課 (〒231-0017 横浜市中区港町 1 丁目 1 番地)

電 話 671-2197 (平日 8 : 45~17 : 15)

◆調査実施:一般社団法人輿論科学協会 (〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4 丁目 8 番 6 号)

電 話 0120-279-939 [担当:松岡] (平日 10 : 00~17 : 30)

電子メール matsuka@yoron-kagaku.or.jp

未来の横浜は、どんなまちになったらいいと思いますか？

問1 『新たな中期計画の基本的方向』では、以下の8つの「未来の横浜の姿」をお示ししています。それぞれのまちのすがたについて「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。(いくつでも)

○はこの欄に記入してください。

1 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち

記入欄
55.7

力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現

企業集積の強みやオープンイノベーションの推進、文化芸術、観光・MICE(国際会議、展示会などのビジネスイベント)、スポーツの力により、新たな価値・産業・賑わいを創出します。

2 豊かな自然が身近に感じられるまち

記入欄
67.8

花と緑にあふれる環境先進都市

花と緑あふれるガーデンシティ横浜を市民・企業との連携により展開するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)やパリ協定(地球温暖化対策に関する国際的な協定)の視点を踏まえた環境政策で世界をリードし、自然共生と経済発展を実現します。

豊かな暮らしのためには、中小企業を含め、元気な横浜経済でなければいけないね。花やみどりがあふれる風景、身近なところで農体験ができたり、きれいな川や海があるなど、豊かな環境を将来に引き継いでいくことも大切だね。



5 国内外から魅力的と感じられるまち

記入欄
46.8

成長と活力を生み出す都心部のまちづくり

横浜の成長をけん引するエリア(都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等)の魅力をより一層向上させ、国内外から人や企業が集い活力を生み出す都心部を実現します。

6 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち

記入欄
78.1

誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部のまちづくり

駅周辺の機能強化、自然豊かで良好な住環境、それらをつなぐ地域交通の充実などにより、誰もが愛着を持ち、「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部を実現します。

横浜の顔である美しい港や、緑あふれる住宅地など、地域の特色をいかして、世界中から人や企業が集まるまち、暮らしたいと思われるまちになるといいな。



3 いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち

記入欄
78.7

超高齢社会への挑戦

超高齢社会への挑戦として、いつまでも健康で生きがいを実感し、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる地域社会を実現します。

4 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち

記入欄
70.4

未来を創る多様な人づくり

子育て・教育環境の充実や、女性・シニア・若者の活躍支援など、横浜の未来を創るあらゆる人への投資を推進し、ポテンシャルを存分に発揮できる都市を実現します。



少子高齢化が進むなかでは、女性・若者・シニアの活躍がまちを元気にするんだね。そのためには、市民一人ひとりが健康でいきいきと暮らせる地域づくりが重要になるね。

7 災害に強い安全で安心なまち

記入欄
82.0

災害に強い安全で安心な都市の実現

防災・減災機能を備えた都市づくり、災害に強い人づくり・地域づくりを進め、市民の生命と財産を守る、災害に強い安全で安心な都市を実現します。

8 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち

記入欄
63.4

市民生活と経済活動を支える都市基盤の実現

道路・鉄道・港湾などの都市インフラの充実、公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新を進め、将来にわたり市民生活と経済活動を支える都市基盤を実現します。

(無回答 4.1)



新しい道路や鉄道を整備すると便利になるけど、これまでに整備した公共施設を保全することも大切なんだ。それと、大きな災害に負けない都市をつくるのとあわせて、みんなで防災・減災に取り組んでいくことが、安心と安全につながるんだ。

『新たな中期計画の基本的方向』の表現を一部変更しています。

1 未来のまちの姿について

問2 前ページの未来のまちの姿について、もう少し詳しくお伺いします。以下のそれぞれの中から、具体的に「そうなってほしい」と思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

数字に○をつけてください。

【企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち】

- 43.5 市内企業が成長・発展し、戦略的な企業誘致を進めている
- 43.3 文化芸術により、魅力・賑わいがある
- 39.8 観光・MICE、スポーツにより観光客が集まり、地域経済が活性化している

【豊かな自然が身近に感じられるまち】

- 69.1 豊かな自然環境と暮らしが共存している
- 31.2 経済活動を支える低炭素・循環型の都市になっている
- 29.3 横浜ならではの環境プロモーションを展開し、国内外に発信している

【いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち】

- 40.2 地域で互いに支え合っている
- 54.1 健康で自立した生活を継続している
- 78.8 必要な時に医療や介護サービスを利用できる

【国内外から魅力的と感じられるまち】

- 32.3 都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等の魅力が向上している
- 40.6 人や企業が集まり、活躍できる環境になっている
- 34.0 人々の交流や回遊性を促す賑わいあるまちになっている

【住環境に優れた潤いのある住みやすいまち】

- 54.2 駅及び駅周辺の機能が強化されている
- 38.4 住宅地が活性化し、魅力が向上している
- 62.3 市民に身近な交通ネットワークの維持・充実が図られている
- 26.7 戦略的な土地利用誘導・まちづくりを進めている

【子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち】

- 58.3 子ども・教育、子育て支援に関する施策が充実している
- 50.0 女性・シニア・若者が活躍できている
- 49.3 誰もが自分らしく活躍できる社会になっている

【災害に強い安全で安心なまち】

- 71.9 地震や地震火災等に強い都市になっている
- 45.9 局地的な大雨等に強い都市になっている
- 56.3 災害等に強い「人づくり」「地域づくり」が進んでいる

【都市基盤が充実し便利に暮らせるまち】

- 51.5 市民生活や横浜経済を支える都市基盤施設が充実している
- 25.4 国際競争力のある港になっている
- 53.5 公共施設が計画的かつ効果的に保全・更新されている

8.9 その他（具体的に： _____）

（無回答 1.1）

2 未来のまちを実現するために必要な取組について

問3 前ページまででお答えいただいた「なっしてほしい未来のまち」を実現するために、横浜市が取り組んでいくといいと思うものは次のうちのどれですか。以下の「新たな中期計画の基本的方向」の38の政策のうち、取り組むべきだと思うものすべてに○をつけてください。

数字に○をつけてください。

問3-1 【力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現】

- 45.9 中小企業の経営革新と経営基盤の強化
- 31.0 経済のグローバル化に対応したイノベーション創出と戦略的な企業誘致
- 24.3 海外ビジネス支援とグローバル人材の育成・確保
- 29.0 グローバル都市横浜の実現
- 39.2 文化芸術創造都市による魅力・活力の創出
- 28.5 観光・MICEの推進
- 27.3 スポーツで育む地域と暮らし
- 24.4 大学と連携した地域社会づくり

問3-2 【花と緑にあふれる環境先進都市】

- 53.8 花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進
- 48.0 地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創造
- 53.9 持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの実現
- 45.1 環境にやさしいライフスタイルの実践と定着
- 34.7 活力ある都市農業の展開

問3-3 【超高齢社会への挑戦】

- 33.3 参加と協働による地域福祉保健の推進
- 46.0 健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保
- 49.4 地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり
- 73.8 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進
- 53.2 地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進

問 3 - 4 【人が、企業が集い躍動するまちづくり】

- 32.8 魅力と活力あふれる都心部の機能強化
- 63.1 市民に身近な交通機能等の充実
- 27.4 コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり
- 36.3 多様な居住ニーズに対応した住まいづくり

問 3 - 5 【未来を創る多様な人づくり】

- 49.9 すべての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援
- 49.0 乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援
- 48.7 未来を創る子どもを育む教育の推進
- 53.0 子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり
- 49.5 女性が働きやすく、活躍できるまち
- 51.7 シニアが活躍するまち
- 41.3 子ども・若者を社会全体で育むまち
- 40.5 児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実
- 42.9 障害児・者福祉の充実
- 42.3 暮らしを支えるセーフティネットの確保
- 26.0 参加と協働による地域自治の支援

問 3 - 6 【未来を創る強靱な都市づくり】

- 77.8 災害に強い都市づくり（地震・風水害等対策）
- 54.3 災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進）
- 49.7 交通ネットワークの充実による都市インフラの強化
- 22.6 国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり
- 49.9 公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新

（無回答 1.8）

問4 あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿や、その他未来に向けて横浜市が取り組んでいく必要があると思う取組があればご自由にお書きください。

3 あなたご自身についてお伺いします。

最後に、あなたご自身についてお伺いします。調査結果を分析する際に用いますので、ご協力よろしくお願ひします。答えにくい質問は答えなくて結構です。

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

42.6 男性	56.0 女性	(無回答 1.4)
---------	---------	-----------

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

0.7 18～19 歳	18.3 40～49 歳	24.3 70 歳以上
6.8 20～29 歳	18.5 50～59 歳	(無回答 1.0)
12.6 30～39 歳	17.8 60～69 歳	

F 3 あなたは、現在どちらの区にお住まいですか。(○は1つ)

6.3 鶴見区	5.5 保土ヶ谷区	8.5 青葉区
6.0 神奈川区	6.8 旭区	6.0 都筑区
2.3 西区	4.4 磯子区	8.3 戸塚区
3.3 中区	5.4 金沢区	3.5 栄区
4.9 南区	9.6 港北区	4.4 泉区
6.0 港南区	4.8 緑区	3.0 瀬谷区 (無回答 0.9)

F 4 今のお住まいにはいつごろから住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

10.5 1970 年以前 (昭和 45 年以前)	20.7 2001～2010 年 (平成 13～22 年)
12.3 1971～1980 年 (昭和 46～55 年)	14.3 2011～2015 年 (平成 23～27 年)
12.8 1981～1990 年 (昭和 56～平成 2 年)	8.6 2016 年以降 (平成 28 年以降)
19.5 1991～2000 年 (平成 3～12 年)	(無回答 1.2)

F 5 あなたが通勤・通学以外のお出かけや移動でよく使う交通手段は次のうちどれですか。(○は1つ)

4.6 徒歩のみ	25.7 車・バイク	1.0 その他
6.8 自転車	55.7 電車・バス	(無回答 6.2)

F 6 最寄りの鉄道駅からご自宅までの時間は、徒歩にしてどのくらいになりますか。次のうちから選んでください。(○は1つ)

9.4 5分未満	50.4 5分～15分未満	38.5 15分以上
(無回答 1.7)		

F 7 お住まいの最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれですか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、ふだん利用している路線名でお答えください。(○は1つ)

注：どの路線に含まれるのか判断がつかないようなターミナル駅（例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など）が最寄り駅の場合は、ふだん利用している路線名でお答えください。それでもわからない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。

11.0 東海道線・横須賀線	16.1 市営地下鉄線（ブルーライン・グリーンライン）
6.2 横浜線（東神奈川～長津田）	0.9 南武線
8.6 東横線	0.6 金沢シーサイドライン
8.9 田園都市線・こどもの国線	0.2 鶴見線
5.3 京浜東北線（横浜～鶴見）	0.9 みなとみらい線
7.5 根岸線（横浜～大船）	0.9 その他・駅名
11.1 京浜急行線	(具体的に)
14.0 相鉄線（本線・いずみ野線）	0.2 わからない
(無回答 7.4)	

F 8 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

29.7 はい	69.5 いいえ	(無回答 0.9)
---------	----------	-----------

F 8 - 1 F 8で「2」と答えた方のみお答えください。[N=2,515]

あなたのお生まれは次のどちらですか。(○は1つ)

14.9 横浜市以外の神奈川県	83.5 神奈川県以外	(無回答 1.6)
-----------------	-------------	-----------

F 9 あなたは現住所の前に住んでいたところがありますか。(○は1つ)

90.6 はい	7.8 いいえ	(無回答 1.6)
---------	---------	-----------

F 9 - 1 **F 9で「1」と答えた方のみお答えください。** [N=3, 278]

あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

26.0	今お住まいの区内の別の場所	9.7	東京都区部
32.9	横浜市内の別の区	2.4	東京都区部を除く東京都内
13.1	神奈川県内の他市町村	12.5	その他 (無回答 3.3)

F 9 - 2 **F 9で「1」と答えた方のみお答えください。** [N=3, 278]

あなたが、今のお住まいに引っ越した主な理由は何ですか。

(○は1つ)

2.0	進学・独立など自分の転機のため	38.3	自宅の購入や住み替えのため
11.9	結婚・出産・介護など家族のため	2.0	特別な理由はない
5.5	就職・転職・転勤など仕事のため	7.0	その他 (無回答 33.5)

F 10 あなたは、今住んでいるまちにこれからも住み続けたいと思いますか。

(○は1つ)

55.2	住み続けたい	7.3	どちらかといえば転居したい
23.4	どちらかといえば住み続けたい	3.3	転居したい
7.7	わからない		(無回答 3.1)

F 10 - 1 **F 10で「4」または「5」と答えた方のみお答えください。** [N=386]

もし、今のお住まいから転居するとしたら、横浜市内ですか。

(○は1つ)

31.9	横浜市内	41.7	横浜市外	26.4	わからない
					(無回答 0.0)

F 10 - 1 - 1 **F 10 - 1で「1」と答えた方のみお答えください。** [N=123]

もし、今のお住まいから転居するとしたら、現在のお住まいの近くを希望しますか。(○は1つ)

33.3	希望する	48.0	こだわらない	14.6	わからない
					(無回答 4.1)

F 10 - 2 - 1 **F 10 - 1で「2 横浜市外」と答えた方のみお答えください。**

転居したい主な理由は何ですか。(○は1つ) [N=161]

6.8	進学・独立など自分の転機のため	20.5	自宅の購入や住み替えのため
11.2	結婚・出産・介護など家族のため	8.1	特別な理由はない
9.3	就職・転職・転勤など仕事のため	42.2	その他 (無回答 1.9)

F10-2-2 **F10-1で「2 横浜市外」と答えた方のみお答えください。**

もし、横浜市外に転居する場合、どこに転居したいですか。

(○は1つ) [N=161]

5.0	川崎市	3.7	東京都区部を除く東京都内
18.0	川崎市を除く県内の他市町村	34.2	そのほかの道府県
27.3	東京都区部	6.8	わからない
(無回答 5.0)			

F11 あなたは現在、結婚していますか。(○は1つ)

71.5	している	23.2	していない	(無回答 5.2)
------	------	------	-------	-----------

F11-1 **F11で「1」と答えた方のみお答えください。** [N=2,589]

あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

40.3	している	57.4	していない	(無回答 2.3)
------	------	------	-------	-----------

F12 あなたに18歳以下のお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの年齢にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、お答えください。

(○はいくつでも)

43.4	子どもはいない	5.9	13~15歳 (中学生)
9.8	0~5歳 (小学校入学前)	6.1	16~18歳
9.5	6~12歳 (小学生)	(無回答 32.9)	

F13 あなたの家族形態は、次の中のどれにあたりますか。同居している方のみで当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

10.2	ひとり暮らし	6.0	3世代
26.5	夫婦のみ	3.0	その他
49.0	親と子 (2世代)	(無回答 5.3)	

F14 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

46.2	一戸建て (持家)	28.0	マンション・共同住宅 (持家)	1.3	その他
1.7	一戸建て (借家)	19.1	マンション・共同住宅 (借家)		
(無回答 3.7)					

F14-1 **F14で「1 一戸建て (持家)」と答えた方のみお答えください。**

2030年頃までにお住まいを建て替える予定はありますか。

(○は1つ) [N=1,672]

4.5	はい	65.0	いいえ	30.0	わからない
(無回答 0.5)					

F15 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものを1つお答えください。(○は1つ)

6.3 自営業	(農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)
5.6 管理職	(会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)
9.3 専門技術職	(勤務医師、研究所研究員、技師など)
18.9 事務職	(事務職、営業職、教員など)
14.6 現業職	(生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)
2.5 学生	→ F16におすすみください。 勤務地・通学先などの質問があります。
23.5 専業主婦・主夫	→ アンケートは以上です。 ご協力ありがとうございました。
13.0 その他	

(無回答 6.2)

F16 から F18 は、F15 で「1 自営業」「2 管理職」「3 専門技術職」「4 事務職」「5 現業職」「6 学生」と答えた方にお聞きします。それ以外の方は、回答は不要です。

F16 あなたの勤務地・通学先は横浜市内にありますか。複数ある場合は、主な勤務地・通学先でお答えください。(○は1つ) [N=2,073]

54.3 はい	43.6 いいえ	(無回答 2.1)
---------	----------	-----------

F16-1 F16 で「2」と答えた方にお聞きします。[N=903]

あなたの勤務地・通学先はどこにありますか。複数ある場合は、主な勤務地・通学先でお答えください。(○は1つ)

27.6 神奈川県内の他市町村	5.4 東京都区部を除く東京都	0.8 埼玉県
63.0 東京都区部	0.6 千葉県	1.9 その他

(無回答 0.8)

F17 あなたの普段の通勤・通学時間(片道)はどのくらいですか。(○は1つ) [N=2,073]

30.3 30分未満	59.0 30分～1時間30分未満	6.8 1時間30分以上
------------	-------------------	--------------

(無回答 3.8)

F18 あなたの普段の主な通勤・通学手段は次のうちどれですか。(○は1つ) [N=2,073]

7.9 徒歩のみ	16.0 車・バイク	1.9 その他
5.7 自転車	64.0 電車・バス	(無回答 4.5)

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

『未来の横浜』を一緒に 描いていきましょう！

～「未来の横浜」アンケート～

宛名のご本人様にご回答いただきますよう、お願いします。

保護者の方へ

日ごろから、横浜市の取組にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。これは、平成 30 年度からの4年間の市の中期計画の方向性をお示したものです。

この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の 3,000 名の方を無作為抽出して「新たな中期計画の基本的方向」の未来の横浜の姿についてアンケートを実施します。(18 歳以上の方から無作為抽出した 1 万人の方にも未来の横浜の姿に関するアンケートを実施しています。)

宛名の方に、ご回答いただきますよう、ご協力をお願いします。

ご本人様へ

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。ここで描いている未来の横浜の姿について、近い将来、社会で活躍する皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の 3,000 名の方にアンケートを実施します。

回答は 10 分程度で終わる簡潔なものですので、お忙しい中恐れ入りますが、ご協力をお願いします。

横浜市政策局

◆調査主体:横浜市 政策局 政策部 政策課 (〒231-0017 横浜市中区港町 1 丁目 1 番地)

電話 671-2197 (平日 8 : 45~17 : 15)

◆調査実施:一般社団法人輿論科学協会 (〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4 丁目 8 番 6 号)

電話 0120-279-939 [担当:松岡] (平日 10 : 00~17 : 30)

電子メール matsuoaka@yoron-kagaku.or.jp

◎ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、平成 30 年 2 月 19 日(月)までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

＜記入にあたってのお願い＞

- ⑧ アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
- ⑨ このアンケートは、封筒の宛名のご本人様にご回答ください。（ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。）
- ⑩ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向」概要版や、**横浜市のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向」**も必要に応じてご覧ください。（<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2018-/>）
- ⑪ 回答の統計的結果や自由回答で記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。
- ⑫ 個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理します。

1 あなたご自身についておたずねします。

あなたご自身についておたずねします。統計上、必要なものですので、ご協力をお願いします。

F 1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

50.0 男性	48.9 女性	(無回答 1.0)
---------	---------	-----------

F 2 あなたの年齢をお答えください。（○は1つ）

1.9 12歳	15.6 16歳	(無回答 0.8)
17.5 13歳	16.0 17歳	
16.8 14歳	14.8 18歳	
16.6 15歳		

→F 2 - 1 F 2で「4 15歳」とお答えの方へのみおたずねします。[N=179]

あなたは、中学生ですか。（○は1つ）

89.4 はい	10.6 いいえ	(無回答 0.0)
---------	----------	-----------

F 3 あなたは、どちらの区にお住まいですか。(○は1つ)

6.4 鶴見区	6.5 金沢区
5.4 神奈川区	8.3 港北区
2.6 西区	5.7 緑区
3.6 中区	12.3 青葉区
3.7 南区	7.1 都筑区
5.5 港南区	7.3 戸塚区
5.2 保土ヶ谷区	3.3 栄区
5.6 旭区	4.4 泉区
3.3 磯子区	3.0 瀬谷区

(無回答 0.8)

F 4 ご自宅の最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれですか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、ふだん利用している路線名でお答えください。(○は1つ)

注：どの路線に含まれるのか判断がつかないようなターミナル駅（例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など）が最寄り駅の場合は、ふだん利用している路線名でお答えください。それでもわからない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。

9.2 東海道線・横須賀線
8.8 横浜線（東神奈川～長津田）
7.4 東横線
12.2 田園都市線・こどもの国線
4.1 京浜東北線（横浜～鶴見）
6.8 根岸線（横浜～大船）
12.5 京浜急行線
13.3 相鉄線（本線・いずみ野線）
17.7 市営地下鉄線（ブルーライン・グリーンライン）
0.9 南武線
0.7 金沢シーサイドライン
0.4 鶴見線
0.8 みなとみらい線
0.6 その他・駅名（具体的に)
0.3 わからない

(無回答 4.3)

アンケートは、次のページに続きます。

未来の横浜は、どんなまちになったらいいと思いますか？

問1 『新たな中期計画の基本的方向』では、以下の8つの「未来の横浜の姿」をお示ししています。それぞれのまちのすがたについて「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。(いくつでも)

○はこの欄に記入してください。

1 企業の活力と文化芸術の魅力あふれる元気なまち

記入欄
45.8

力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現

企業集積の強みやオープンイノベーションの推進、文化芸術、観光・MICE(国際会議、展示会などのビジネスイベント)、スポーツの力により、新たな価値・産業・賑わいを創出します。

2 豊かな自然が身近に感じられるまち

記入欄
66.5

花と緑にあふれる環境先進都市

花と緑あふれるガーデンシティ横浜を市民・企業との連携により展開するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)やパリ協定(地球温暖化対策に関する国際的な協定)の視点を踏まえた環境政策で世界をリードし、自然共生と経済発展を実現します。

豊かな暮らしのためには、中小企業を含め、元気な横浜経済でなければいけないね。花やみどりがあふれる風景、身近なところで農体験ができたり、きれいな川や海があるなど、豊かな環境を将来に引き継いでいくことも大切だね。



5 国内外から魅力的と感じられるまち

記入欄
49.3

成長と活力を生み出す都心部のまちづくり

横浜の成長をけん引するエリア(都心臨海部・京浜臨海部・新横浜都心周辺等)の魅力をより一層向上させ、国内外から人や企業が集い活力を生み出す都心部を実現します。

6 住環境に優れた潤いのある住みやすいまち

記入欄
71.0

誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部のまちづくり

駅周辺の機能強化、自然豊かで良好な住環境、それらをつなぐ地域交通の充実などにより、誰もが愛着を持ち、「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部を実現します。

横浜の顔である美しい港や、緑あふれる住宅地など、地域の特色をいかして、世界中から人や企業が集まるまち、暮らしたいと思われるまちになるといいな。



3 いくつになっても安心していきいきと自分らしく暮らせるまち

記入欄
64.1

超高齢社会への挑戦

超高齢社会への挑戦として、いつまでも健康で生きがいを実感し、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる地域社会を実現します。

4 子ども、女性、若者など人が元気で持てる力が発揮されるまち

記入欄
65.1

未来を創る多様な人づくり

子育て・教育環境の充実や、女性・シニア・若者の活躍支援など、横浜の未来を創るあらゆる人への投資を推進し、ポテンシャルを存分に発揮できる都市を実現します。



少子高齢化が進むなかでは、女性・若者・シニアの活躍がまちを元気にするんだね。そのためは、市民一人ひとりが健康でいきいきと暮らせる地域づくりが重要になるね。

7 災害に強い安全で安心なまち

記入欄
81.2

災害に強い安全で安心な都市の実現

防災・減災機能を備えた都市づくり、災害に強い人づくり・地域づくりを進め、市民の生命と財産を守る、災害に強い安全で安心な都市を実現します。

8 都市基盤が充実し便利に暮らせるまち

記入欄
59.0

市民生活と経済活動を支える都市基盤の実現

道路・鉄道・港湾などの都市インフラの充実、公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新を進め、将来にわたり市民生活と経済活動を支える都市基盤を実現します。

(無回答 0.6)



新しい道路や鉄道を整備すると便利になるけど、これまでに整備した公共施設を保全することも大切なんだ。それと、大きな災害に負けない都市をつくるのとあわせて、みんなで防災・減災に取り組んでいくことが、安心と安全につながるんだ。

『新たな中期計画の基本的方向』の表現を一部変更しています。

問2 あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿について、ご自由にお書きください。

<hr/>

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

